Jpn J Rehabil Med 第10回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 プログラム集

第10回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会

会 期 2026年10月29日(木)～31日(土)

会 場 パシフィコ横浜 会議センター

会 長 川手 信行
昭和医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 主任教授

至誠一貫

～まことのみんなの幸いのために～

キーワードは

挑 超 調

リハビリテーション医学は、
何に挑み、如何に超え、どの様に調和するのか



プログラム集



A型ボツリヌス毒素製剤

薬価基準収載

毒薬 | 生物由来製品 | 処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

ボトックス注用 50単位 100単位

BOTOX for injection

※「警告」、「禁忌」、「効能又は効果」、「効能又は効果に関連する注意」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する注意」等については、電子添文をご参照ください。

グラクソ・スミスクライン株式会社
東京都港区赤坂1-8-1

製造販売元［文献請求先及び問い合わせ先］
TEL:0120-561-007（9:00～17:45／土日祝日及び当社休業日を除く）
https://jp.gsk.com

PM-JP-OBT-JRNA-250001
作成年月2025年2月

第10回
日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
プログラム集

メインテーマ

至誠一貫
～まことのみんなの幸いのために～

キーワード
挑 超 調
リハビリテーション医学は、
何に挑み、如何に超え、どの様に調和するのか

会長　川手 信行

昭和医科大学医学部 リハビリテーション医学講座

会　期	現地開催：2026年10月29日（木）～10月31日（土） オンデマンド配信： 2026年11月18日（水）～12月18日（金）
会　場	パシフィコ横浜　会議センター

目　次

会長挨拶 …… S7

タイムテーブル …… S8

関連会合 …… S16

会場へのアクセス …… S17

会場配置図 …… S18

参加者へのお知らせとお願い …… S20

学術集会における「専門医共通講習会」の受講証明について …… S25

学術集会における「指導医講習会」の受講証明について …… S27

「生涯教育研修」の単位認定について …… S28

日本リハビリテーション医学会以外の単位について …… S31

単位取得が可能な講演一覧 …… S35

演者・座長へのお知らせとお願い …… S41

ハンズオンセミナー …… S44

学術集会プログラム …… S47

第10回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会

会長
川手　信行

顧問
水間　正澄

幹事
永井　隆士

実行委員長
杉山みづき

実行委員（企画担当）

笠井　史人	依田　光正	橋本　圭司	真野　英寿	正岡　智和
和田　真一	神山　一行	仲保　　徹	高橋　忠志	渡部　喬之
本島　直之	松本美由季			

実行委員

飯田　　守	望月　　碧	渋谷　貴子	武藤　祐汰	佐久間香那
星　瑛里子	石渡　有沙	塩山　峻介	樽田　美穂	深澤　美葉
中山　麻理	西田　　悠	小島　大和	山内　智喜	野村　花江
吉田百合香	根間　映寿	河野　嘉人	後藤　大輔	金子　由実
神宮　理人	松原　真穂			

プログラム委員

青木　隆明	青柳陽一郎	青山　公紀	青山　朋樹	赤星　和人
浅野　由美	安保　雅博	甘井　　努	尼子　雅敏	新井　祐志
荒川　英樹	安藤　厚生	安藤　　隆	井口　陽子	池上　章太
池口　良輔	池田　　聡	池田　真一	池永　康規	池渕　充彦
池邉顕嗣朗	石亀　綾奈	石川　愛子	石田由佳子	泉　　仁
井手　　睦	伊藤　　修	伊藤　倫之	稲垣　有佐	稲次美樹子
井上　英則	今井　幸恵	今井　晋二	入澤　　寛	岩佐　沙弥
殷　　祥洙	植木　昭彦	植木　美乃	上田　貴代	上田　健人
上野　竜一	植村　　修	牛尾　　会	内山　侑紀	梅本　安則
衛藤　誠二	海老原　覚	大串　　幹	大国　生幸	大沢　愛子

大田　哲生　大田　陽一　大高　洋平　大塚　友吉　大仲　功一
大西　康史　大野　一幸　大橋　鈴世　大林　茂　岡﨑　哲也
岡崎　英人　岡田　誠司　岡田　貴士　岡田　恒夫　緒方　徹
緒方　直史　岡野　邦彦　岡本　隆嗣　岡本　秀貴　岡山　悟志
尾川　貴洋　小口　和代　尾崎　健一　尾﨑　敏文　尾﨑　まり
尾関　恩　尾関　保則　越智　光宏　落合　達宏　加賀谷　斉
垣田　真里　鍵山　智子　加来　信広　角田　亘　笠井　史人
笠原　隆　加地　良雄　柏原　一水　粕川　雄司　片桐　伯真
片平　健人　堅山　佳美　勝谷　将史　金井　一男　金内ゆみ子
金田　浩治　金田　好弘　鎌田　聡　上條義一郎　上出　杏里
川上　寿一　川上　途行　川口　謙一　川崎　修平　河﨑　敬
河津　隆三　川手　信行　河村　美穂　菊地　尚久　木谷　彰岐
城戸　顕　木下　翔司　木村　郁夫　木村　慎二　木村　知行
木村　竜太　工藤　大輔　國枝顕二郎　熊谷玄太郎　栗林　環
黒川　陽子　黒木　洋美　黒崎みのり　鴻上　繁　幸田　剣
小金丸聡子　小崎　慶介　御勢　真一　児玉　直俊　児玉　万実
児玉　三彦　小仲　邦　小西　英樹　小林　康孝　小林　恭代
小山　哲男　近藤　国嗣　近藤　健男　近藤　正樹　斉藤　公男
佐伯　覚　早乙女貴子　坂井　孝司　酒井　朋子　酒井　康生
酒井　良忠　寒河江拓盛　佐久間真由美　佐々木信幸　佐々木裕介
佐藤　紀　佐藤　義朝　佐原　亘　沢田光思郎　重信　恵三
重松　孝　篠田　裕介　柴田　斉子　島田　聡史　清水　康裕
清水　如代　下堂薗　恵　上甲　隆敏　白石　裕一　白坂　智英
新藤恵一郎　末永　正機　菅　俊光　須貝　文宣　菅原　英和
杉原　勝宣　杉原　進介　杉山　岳史　杉山みづき　鈴木　聖一
鈴木　禎　鈴木　理恵　角田　賢　関　万成　関　勝
関口麻理子　千田　譲　高岡　徹　髙木　聡　髙窪　祐弥
高橋　和也　高橋　真司　髙橋　真紀　高橋　素彦　高畠　英昭
田口　周　竹内　裕喜　竹川　徹　武原　格　田澤　昌之
田代　桂一　田代　祥一　立川　浩　橘　智弘　田仲　和宏
田中　智香　田中　尚文　谷口　直史　田沼　明　田宮　大也
田村　太資　千葉　春子　中馬　孝容　辻　哲也　津田　英一
坪井麻里佳　鶴川　俊洋　鉄村　信治　寺井　秀富　寺川　晴彦
寺島　宏明　峠　康　土岐　明子　土岐めぐみ　戸田　芙美
鳥取部光司　永井　隆士　永田　智子　中西　徹　永野　聡
永野　靖典　長原　正静　中原　康雄　永房　鉄之　中村　健
中村　智之　永吉美砂子　名護　健　難波　孝礼　南里　悠介
新見　昌央　西　佳子　西郊　靖子　西嶋　一智　西田　佳弘
西谷　江平　西野　誠一　西村　行秀　西山　一成　芳賀　信彦

萩野　哲男　　橋本　光宏　　長谷川千恵子　　羽田　康司　　服部　憲明
濱田　全紀　　林　　哲生　　原　　仁美　　原　　元彦　　原田　理沙
坂野　元彦　　東本　有司　　平尾　昌之　　平岡　　崇　　平野　　哲
廣瀬　大祐　　福岡奈津子　　福田　亜紀　　福田　倫也　　福永　典子
福間　裕子　　藤井　康光　　藤井　良憲　　藤田　彩香　　藤谷　順子
藤原　清香　　藤原　　大　　藤原　俊之　　船越　政範　　降矢　芳子
古川　俊明　　古澤　一成　　風呂谷容平　　堀田富士子　　補永　　薫
堀内　博志　　本田　　透　　前田　博士　　前野　　崇　　牧上久仁子
牧野健一郎　　松浦　大輔　　松浦　哲也　　松岡美保子　　松下　　功
松嶋　康之　　松瀬　博夫　　松永　俊樹　　松林　昌平　　松本　彰紘
松本　憲二　　松本　聡子　　松元　秀次　　松本　　健　　馬庭　壯吉
三浦　靖史　　三上　幸夫　　水野　勝広　　三石　敬之　　光増　　智
三原　雅史　　三村　聡男　　宮越　浩一　　宮村　紘平　　宮本　詩子
宮本　健史　　向井　裕貴　　向野　雅彦　　村岡　香織　　村上　里奈
村上　孝徳　　村田　　淳　　村田　和樹　　村田　顕也　　百崎　　良
森　　憲司　　森　　俊樹　　森泉　茂宏　　森田　光哉　　矢倉　　一
柳　東次郎　　矢吹　省司　　山内　克哉　　山内　利宏　　山口　　健
山口　朋子　　山田　　深　　山田　尚基　　山之内直也　　山本　卓明
油形　公則　　横山　　修　　吉川　　遼　　吉田　　輝　　吉野　　修
依田　光正　　米津　　浩　　若林　秀隆　　和田恵美子　　和田　邦泰
和田　直樹　　和田　　太　　和田　勇治　　渡辺　充伸

（五十音順・敬称略）

会長挨拶

至誠一貫～まことのみんなの幸いのために～



第10回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会　会長
川手 信行
（昭和医科大学医学部 リハビリテーション医学講座）

いよいよ、第10回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会が開幕いたします。

2026年10月29日（木）から31日（土）までの3日間、パシフィコ横浜 会議センターにおいて、節目となる第10回秋季学術集会を開催いたします。この記念すべき学術集会を担当させていただけますことを、昭和医科大学リハビリテーション医学講座のOB・OG、医局員一同、大変光栄に存じます。

本学術集会のテーマは、「**至誠一貫**」です。

「**至誠一貫**」は、私ども昭和医科大学の校訓であり、「医療人として真摯な姿勢を貫き、常に相手の立場に立って、まごころを尽くす」ことを意味します。病気や障害だけを診るのではなく、その人の生命を支え、活動を育み、その人らしい生活へとつないでいくリハビリテーション医学・医療の根底にも、この精神が流れています。

そして、サブテーマとして、「**まことのみんなの幸いのために**」を掲げました。

医学・医療は今、大きな転換点を迎えています。AIをはじめとする新たな技術が急速に発展し、超高齢社会が進む中、医療のあり方そのものが変わろうとしています。このような時代だからこそ、リハビリテーション医学・医療は何を大切にし、何を目指し、どこへ向かうのか。「**まことのみんなの幸いのために**」という言葉を胸に、今こそ、その原点と未来を皆様とともに考えたいと思います。

そのための合言葉が、「**挑・超・調**」です。

新たな課題に果敢に「**挑**」み、これまでの常識や職種、世代、領域の壁を「**超**」え、そして、人と人、医療と生活、先端技術と人間らしさを「**調**」える。

この三つの合言葉に、本学術集会への思いを込めました。

この3日間には、AI、教育、先駆者から若手への継承、多彩な教育講演、シンポジウム、セミナーを用意しています。そこでは、医師と専門職、先駆者と若手、基礎と臨床、急性期から生活期、そして医療・介護・福祉と、多くの人、多くの知、多くの思いが交わります。

「**挑・超・調**」という**3本の縦糸**に、これら**多彩な横糸**が紡ぎ合わさり、今回の学術集会を通じて、鮮やかな**一幅の錦として織り上がる**ことを期待しています。

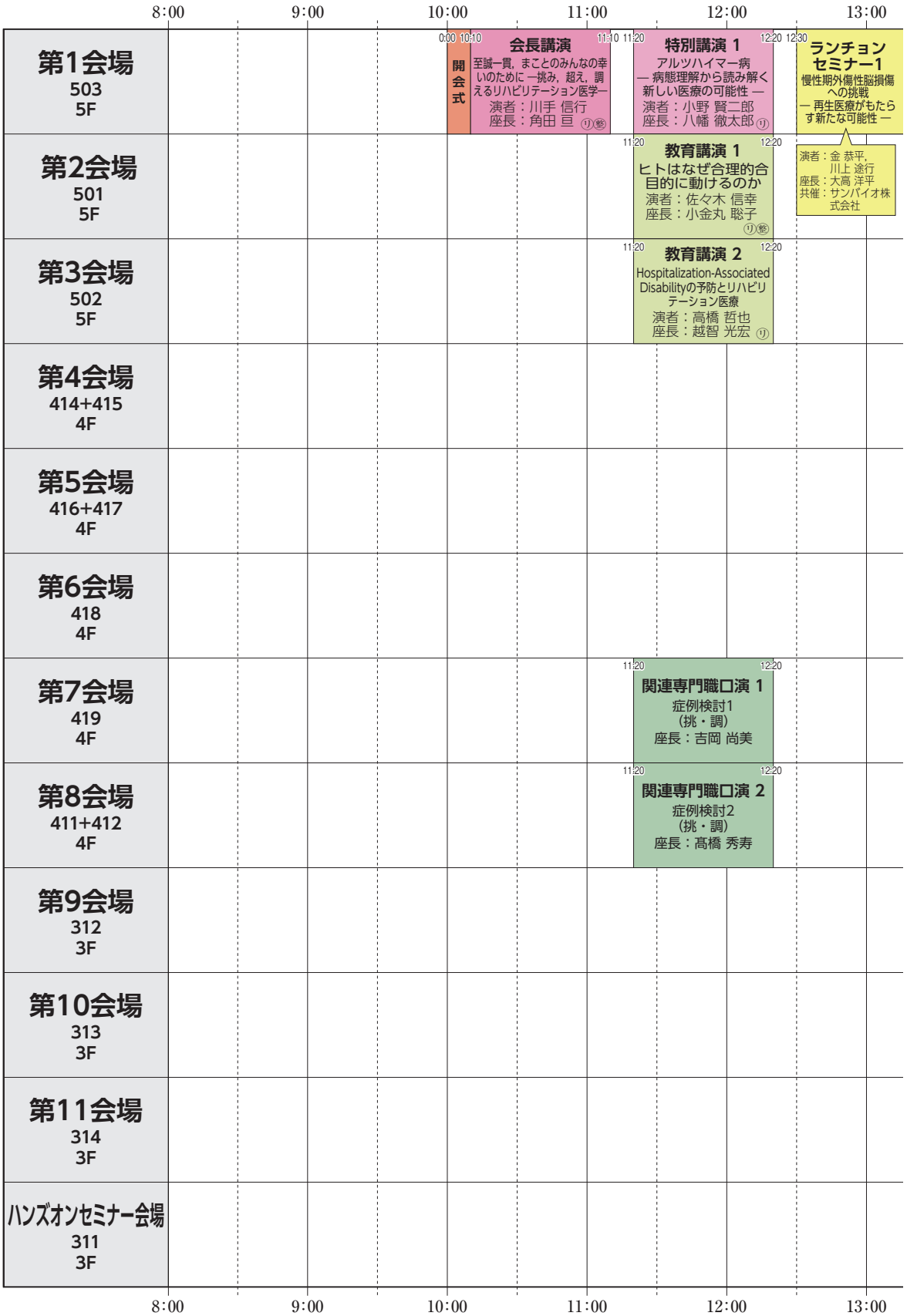
そして、その錦を織り上げるのは、ご参加いただく皆様一人ひとりです。

この3日間、「**リハビリテーション医学は、まことのみんなの幸いのために、何に挑み、何を超え、どのように調えるのか**」を、皆様とともに考え、語り合いたいと思います。

障害児者、高齢者、そしてそのご家族を含むすべての人々の、より良い生命・健康・生活のために――「**至誠一貫～まことのみんなの幸いのために～**」、皆様とともに「**挑み、超え、調える**」**3日間**を創り上げたいと願います。

参加者にとって実りの多い学術集会となるよう、関係者一同鋭意準備を進めて参りますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2026年10月29日（木）／1日目



㊐　日本リハビリテーション医学会　専門医・認定臨床医生涯教育単位対象
㊎　日本整形外科学会　教育研修講演対象(予定)　変更の可能性もございます.
最新の内容は学術集会ホームページをご確認ください.
㊊　日本医師会認定産業医研修会　生涯研修　単位対象



2026年10月30日（金）／2日目



(リ) 日本リハビリテーション医学会　専門医・認定臨床医生涯教育単位対象
(整) 日本整形外科学会　教育研修講演対象(予定)　変更の可能性もございます.
最新の内容は学術集会ホームページをご確認ください.
(産) 日本医師会認定産業医研修会　生涯研修　単位対象



2026年10月31日（土）／3日目

第1会場（503 5F）

特別講演 9
在宅で育つ医療的ケア児の挑・超・調 ― 家族とともにあゆむ医療と支援 ―
演者：中村 知夫
座長：加藤 真介（リ）（整）

特別講演 10
月を目指す医学、地域を支える医学～宇宙医学運用と生活期リハビリテーション医療が拓く未来～
演者：速水 聰
座長：和田 真一（リ）

特別講演 11
次世代につなぐリハビリテーション医学教育－学びの体系化と人材教育－
演者：久保 俊一
座長：安保 雅博（リ）（整）

ランチョンセミナー7
痙縮治療におけるボツリヌス療法の意義と投与筋の優先順位 ～活動と運動学習の観点から～
演者：佐々木 信幸
座長：藤原 俊之
共催：帝人ファーマ株式会社（リ）

第2会場（501 5F）

挑・超・調 企画シンポジウム 12
保険外リハビリテーションの挑・超・調 医師とセラピストの関係
座長：川手 信行，斉藤 秀之（リ）

挑・超・調 企画シンポジウム 13
パラスポーツの挑・超・調
座長：中村 健，藤原 清香（リ）

ランチョンセミナー8
手指リハビリテーション支援ロボットが拓く上肢治療の新時代
演者：内山 侑紀，竹林 崇
座長：平野 哲
共催：FrontAct株式会社（リ）（整）

第3会場（502 5F）

挑・超・調 企画シンポジウム 14
痙縮治療への挑・超・調
座長：勝谷 将史，山口 智史（リ）

合同シンポジウム 6（日本集中治療医学会）
重症患者のリハビリテーション ガイドラインJ-Recip 2027
座長：新見 昌央，笠井 史人（リ）

第4会場（414+415 4F）

教育講演 19
脊髄損傷の摂食嚥下障害 ― 病態理解から新規治療戦略まで ―
演者：山本 五弥子
座長：柴田 斉子（リ）（整）

教育講演 20
運動器疾患に対するリハビリテーション医療―機能回復から活動・参加へ―
演者：宮本 健史
座長：緒方 直史（リ）（整）

教育講演 21
疾患ではなく疾患患者を良くするリハビリテーション治療
演者：西村 行秀
座長：三上 靖夫（リ）

ランチョンセミナー9
COPD患者の呼吸リハビリテーションにおける漢方の役割～補中益気湯の併用効果～
演者：濱田 泰伸
座長：津田 英一
共催：株式会社ツムラ（リ）

第5会場（416+417 4F）

教育講演 24
歩行障害に対する新しいリハビリテーション治療
演者：藤原 俊之
座長：浅見 豊子（リ）（整）

教育講演 25
ケガを防ぎ、最高のパフォーマンスへ ― サッカー現場におけるメディカルサポートの実践 ―
演者：池田 浩
座長：鈴木 朱美（リ）（整）

教育講演 26
救命から機能回復へ！その先にあるもの ― 脳卒中カテーテル治療とリハビリテーション医療の連携 ―
演者：作田 健一
座長：杉山 みづき（リ）

ランチョンセミナー10
AIが拓くリハビリテーション予後予測の新たな可能性
リハビリテーション医療の支援システムとAI予測分析ツールの掛け合わせがもたらす現場変革
（リ）（整）

第6会場（418 4F）

挑・超 あすなろ講演 9
臨床の気づきから始まった挑戦：リハビリテーション診療におけるカルニチン欠乏症
演者：上野 真
座長：下堂薗 恵（リ）

挑・超 あすなろ講演 10
急性期・回復期から生活期へ：持続可能な医療・介護システムの実現に向けて
演者：石田 由佳子
座長：城戸 顕（リ）

専門医共通講習会 7（医療経済（保険医療等））
医療の価値と医療経済 ― 限られた資源をどう活かすか ―
演者：的場 匡亮
座長：根本 明宜（リ）

演者：白坂 智英
小野 圭介
座長：近藤 国嗣
共催：ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社／タック株式会社

第7会場（419 4F）

医師＆専門職 調うセミナー 9
PT・OT・STのキャリアは"創る時代"へ ～経営視点で、組織を動かし、未来を切り拓くセラピストへ～
演者：京藤 聡弘
座長：仲保 徹（リ）

医師＆専門職 調うセミナー 10
最先端テクノロジーを脳卒中後上肢運動障害のリハビリテーション医療にいかに活かすのか
演者：竹林 崇
座長：杉山 みづき（リ）

医師＆専門職 調うセミナー 11
障害歩行の特徴分析：追尾型歩行計測システムによって得た各種歩行障害データの集約解析
演者：河島 則天
座長：正岡 智和（リ）（整）

第8会場（411+412 4F）

一般口演 30
脳血管障害3
（挑・調・超）
座長：植木 美乃

一般口演 31
回復期治療3
（調・挑・超）
座長：衛藤 誠二

一般口演 32
上肢・手指障害
（挑・調）
座長：古澤 義人

第9会場（312 3F）

一般口演 33
関節疾患2
（挑・調）
座長：五十嵐 有紀子

一般口演 34
義肢装具療法2
（超・調）
座長：西嶋 一智

一般口演 35
小児疾患2
（調・挑）
座長：村上 里奈

第10会場（313 3F）

一般口演 38
高次脳機能障害2
（調・挑）
座長：青木 重陽

一般口演 39
摂食嚥下障害4
（調・挑・超）
座長：國枝 顯二郎

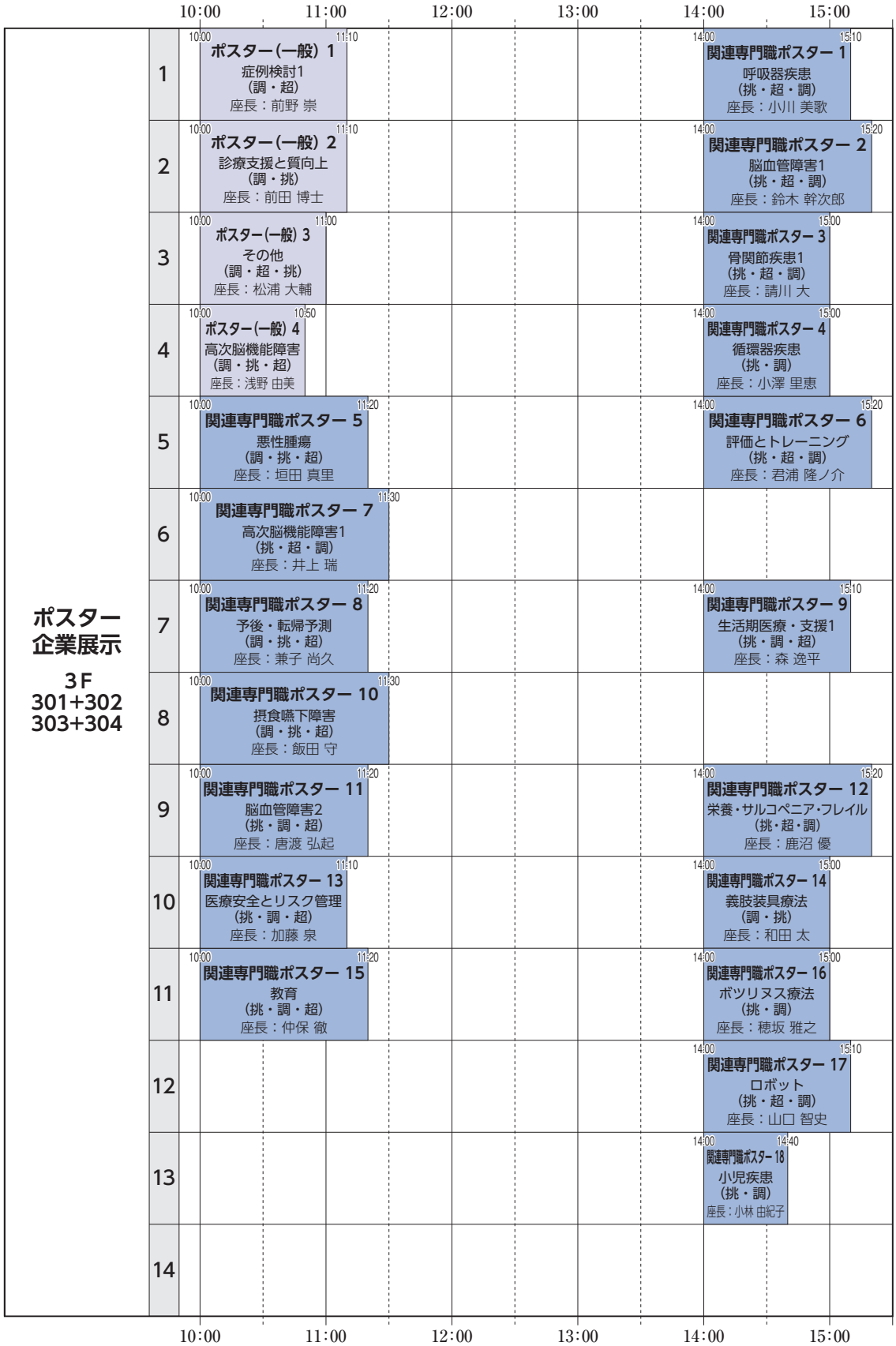
一般口演 40
摂食嚥下障害5
（挑・超）
座長：松嶋 康之

第11会場（314 3F）

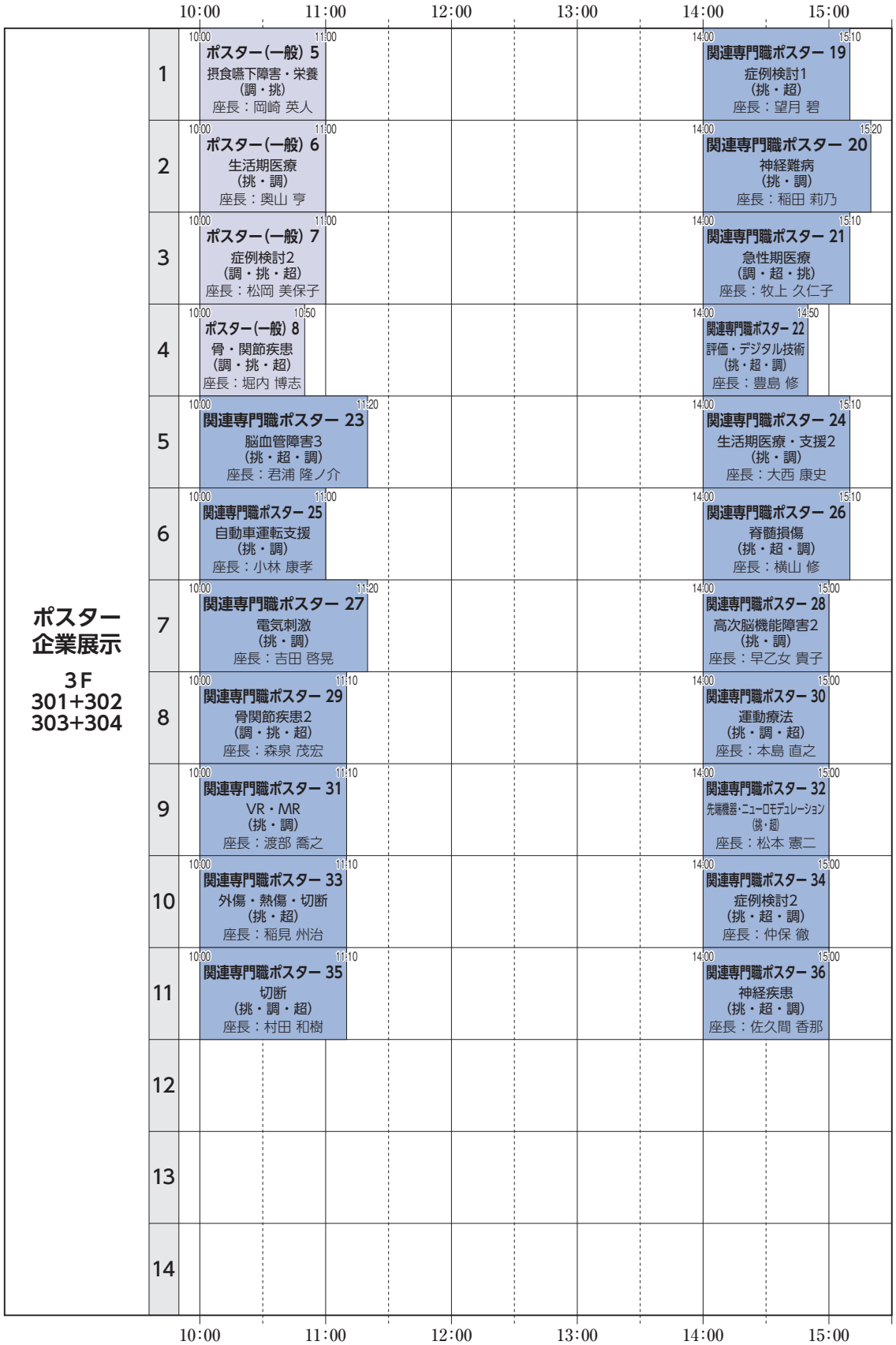
㊮　日本リハビリテーション医学会　専門医・認定臨床医生涯教育単位対象
㊨　日本整形外科学会　教育研修講演対象(予定)　変更の可能性もございます.
最新の内容は学術集会ホームページをご確認ください.
㊧　日本医師会認定産業医研修会　生涯研修　単位対象



2026年10月30日（金）／2日目



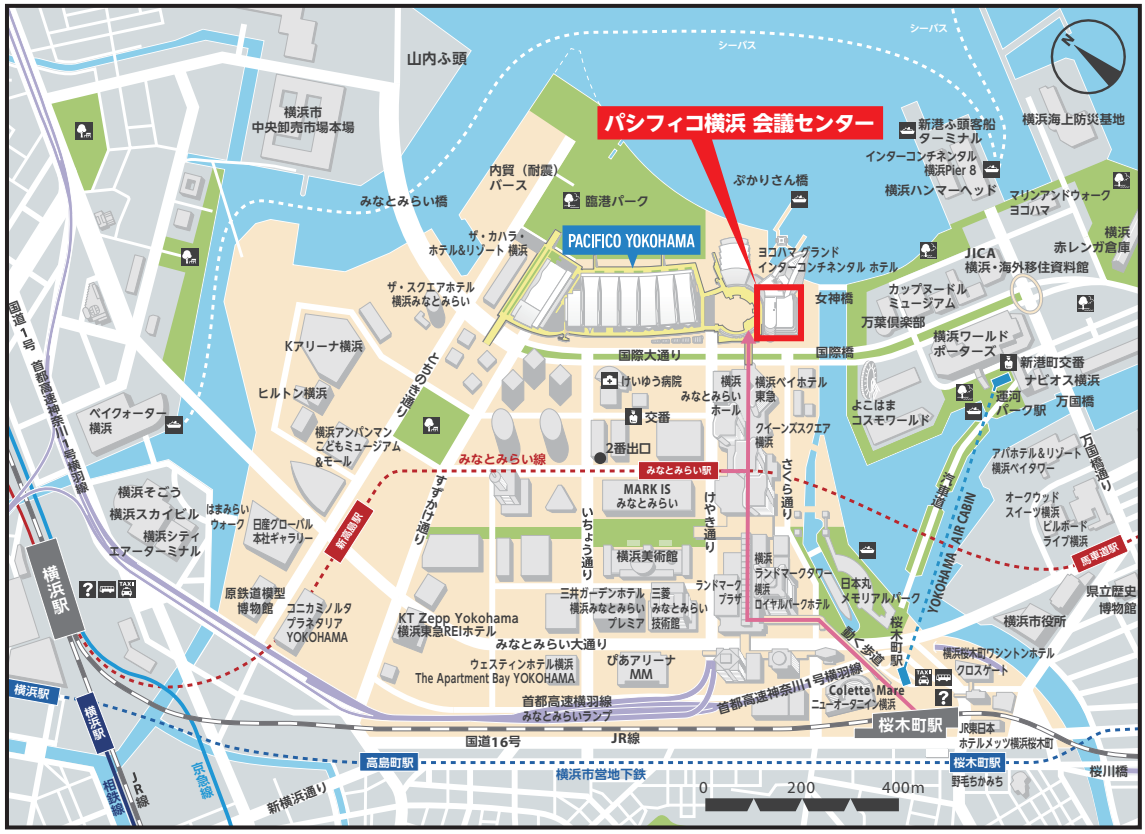
2026年10月31日(土)／3日目



関連会合

会議名	日付	時間	場所
日本急性期リハビリテーション医学会　社員総会	10月29日（木）	18:55 ～ 19:25	パシフィコ横浜 会議センター 5 階　503
日本生活期リハビリテーション医学会　理事会	10月29日（木）	19:35 ～ 20:30	パシフィコ横浜 会議センター 4 階　421

会場へのアクセス



羽田空港
- パシフィコ横浜直通リムジンバス 約40分
- 京浜急行 約24分
- リムジンバス 約30分

成田空港
- リムジンバス 約90分
（「パシフィコ横浜」行きは約110分）
- JR成田エクスプレス約90分

東京駅
- JR東海道線約25分
- JR横須賀線約30分

YCAT → 横浜駅

横浜駅
- タクシー 約10分
- 連節バスベイサイドブルー 約17分

渋谷駅
- 東急東横線 約30分
（みなとみらい線直通）

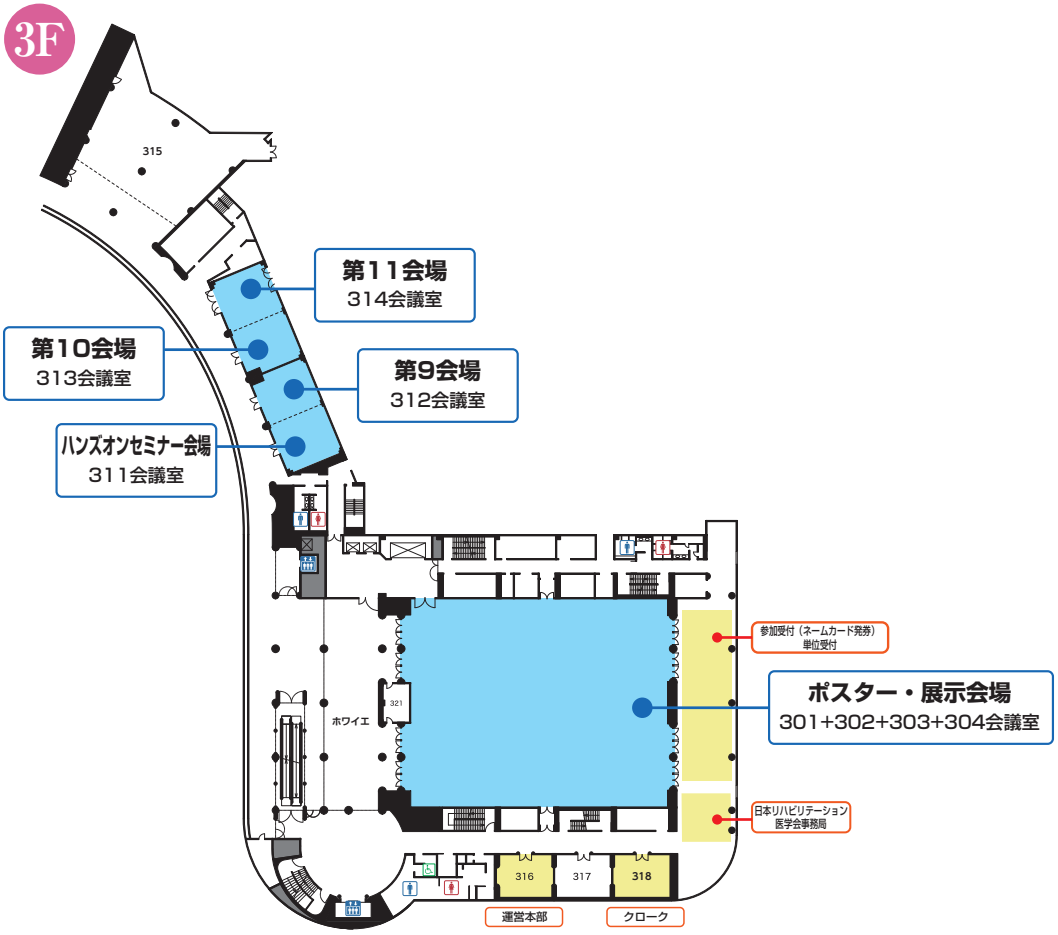
新横浜駅
- JR横浜線 約3分 → 菊名駅 → 東急東横線 約12分
（みなとみらい線直通）
- 横浜市営地下鉄ブルーライン 約15分
- JR横浜線約17分

みなとみらい駅
- 徒歩 約5分

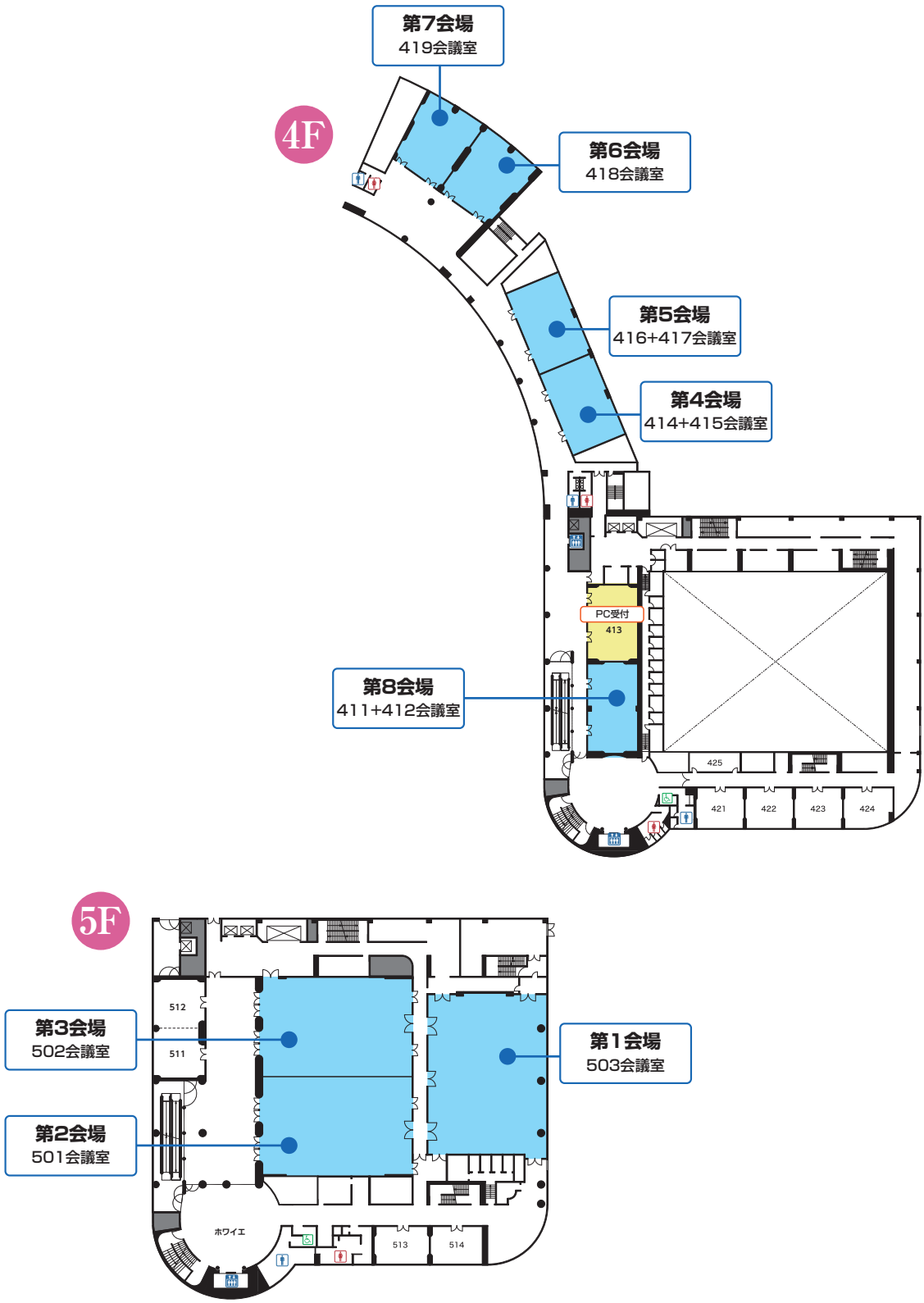
桜木町駅
- 徒歩 約12分
- バス 約11分

パシフィコ横浜

会場配置図


3F
315
第11会場
314会議室
第10会場
313会議室
第9会場
312会議室
ハンズオンセミナー会場
311会議室
ホワイエ
321
参加受付（ネームカード発券）
単位受付
ポスター・展示会場
301+302+303+304会議室
日本リハビリテーション
医学会事務局
316
317
318
運営本部
クローク

会場配置図


第7会場
419会議室
4F
第6会場
418会議室
第5会場
416+417会議室
第4会場
414+415会議室
PC受付
413
第8会場
411+412会議室
425
421
422
423
424
5F
第3会場
502会議室
512
511
第1会場
503会議室
第2会場
501会議室
ホワイエ
513
514

参加者へのお知らせとお願い

最新情報は必ず学術集会ホームページにてご確認ください。

1．参加について

・会場へお越しいただく前にオンラインにて参加登録をお済ませください。
・会場での現金による参加登録・参加費のお支払いはできません。全てオンライン参加登録となります。
・参加登録後のキャンセル、返金には応じられませんのでご了承ください。
・ネームカード発券には、参加登録後に発行されるQRコードが必要になります。ご自身のログインIDとパスワードにてオンライン参加登録サービスカウンターにログインいただき、QRコードを取得して会場へお越しください。QRコードを現地の受付に設置する発券機にかざしていただくとネームカードが発券されます。
・各種単位を取得するためには、学術集会への参加登録が必須になります。
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2．開催概要

名　称：第10回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
会　期：現地：2026年10月29日（木）～10月31日（土）
　　オンデマンド配信　2026年11月18日（水）～12月18日（金）
会　場：パシフィコ横浜　会議センター
会　長：川手 信行（昭和医科大学医学部 リハビリテーション医学講座　主任教授）

3．参加登録期間

早期参加登録期間　2026年8月28日（金）正午～9月29日（火）正午
通常参加登録期間　2026年9月29日（火）正午～12月18日（金）23:59まで
　　（オンデマンド配信終了まで）

4. 参加費

参加区分		早期参加登録費 8月28日(金)正午～ 9月29日(火)正午	通常参加登録費 9月29日(火)正午～ 12月18日(金)	参加費に含まれるもの
A	正会員(医師・医師以外)	20,000円 (不課税)	22,000円 (不課税)	・学術集会ネームカード (会場にて発券) ・オンデマンド配信視聴用ID ・(参加単位取得用)学術集会参加証明書
B	非会員(医師・歯科医師・企業関係者)	24,200円 (税込)	26,400円 (税込)	・学術集会ネームカード (会場にて発券) ・オンデマンド配信視聴用ID
C	専門職会員　※1	7,000円 (不課税)	8,000円 (不課税)	
D	非会員(医師・歯科医師以外)、臨時会員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、看護師、薬剤師、社会福祉士(ソーシャルワーカー)、精神保健福祉士、管理栄養士・栄養士、臨床工学技士、臨床検査技師、公認心理師、臨床心理士、歯科衛生士、介護福祉士、介護支援専門員、診療放射線技師、行政職、学部学生(医学部医学科および専修学校学生以外)、その他	8,800円 (税込)	9,900円 (税込)	
E	初期研修医　※2	2,200円 (税込)	2,200円 (税込)	
F	学生(医学部医学科および専修学校学生)※2	無料	無料	
G	名誉会員･功労会員　※3	ご招待	ご招待	

※1　専門職会員とは医師・歯科医師以外の医療・介護・福祉関連専門職を対象とした、正会員とは別の会員資格です。
日本リハビリテーション医学会で2018年より会員種別に追加された専門職会員への入会審査により入会された方が対象となります。職種が専門職の方でも、日本リハビリテーション医学会へご入会された際に正会員(医師以外)で入会された方については、会員種別は正会員となります。
詳細は日本リハビリテーション医学会・入会案内をご参照ください。

※2　初期研修医の方は所属長捺印のある在職証明書を、学生(医学部医学科および専修学校学生)の方は学生証の写真を、参加登録後に届く自動返信メールに記載のアップロード先まで提出してください。

※3　名誉会員・功労会員の方は、ご招待のため参加費は不要です。別途メールもしくは郵送にて参加登録方法をご案内いたします。

●大学院生は以下の参加区分となります。
医師・歯科医師：上記A またはB
医師・歯科医師以外：上記C またはD

5．参加登録メールアドレス（ID）とパスワード

オンライン参加登録時にご自身で登録されたメールアドレスとパスワードは、本学術集会のオンデマンド配信視聴サイトとオンライン参加登録サービスカウンターへログインする際に必要となります。個人情報保護のため自動配信メール等へパスワードの記載はございませんので、ご自身でお控えのうえ、お忘れにならないようご注意ください。

※こちらのパスワード設定は、第10回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会への参加登録のために指定していただくパスワードとなります。日本リハビリテーション医学会へ会員登録されているパスワードの運用とは異なりますので、ご注意ください。

6．ネームカード・参加証明書・領収書の発行について

種別	現地参加	オンデマンド配信
ネームカード	決済完了後に発行される QR コードを現地の発券機でスキャンしてネームカードをお受け取りください。	発行なし
参加証明書	オンライン参加登録サービスカウンターよりダウンロードいただけます。 【ダウンロード可能期間：2026 年 11 月 2 日（月）正午～ 12 月 31 日（木）23:59 まで】	
領収書	オンライン参加登録サービスカウンターよりダウンロードいただけます。 【ダウンロード可能期間：決済完了後～ 2026 年 12 月 31 日（木）23:59 まで】	

●ネームカード発券

場　所：参加受付（パシフィコ横浜 会議センター 3F ホワイエ）

日　時：10月29日（木）9:00～17:30
　　10月30日（金）8:00～17:30
　　10月31日（土）8:00～15:00

7．プログラム・抄録集について

・抄録集の冊子発行、事前送付はございません。
　学術集会HP「プログラム・抄録集」よりPDFにて閲覧できます。
　なお、プログラム・抄録集の閲覧にはパスワードの入力が必要です。
　パスワードは会員メールおよび参加登録決済完了メールにてご案内しております。
・プログラム集（冊子）を現地会場にて無料配布いたします。

8．日本リハビリテーション医学会事務局デスク

場　所：パシフィコ横浜 会議センター 3F ホワイエ

日　時：10月29日（木）9:00～17:00
　　10月30日（金）9:00～17:00
　　10月31日（土）9:00～11:30

9．YIA候補演題セッションおよび関連専門職優秀演題候補セッション

・YIAに応募いただいた一般演題全67演題の中から事前審査で選出した24演題の演者につきましては、閉会式にて表彰式を行いますので是非ご参加ください。なお10月29日（木）のYIA候補演題セッション1～4の口述発表にて審査を行い、最優秀賞、優秀賞を決定いたします。
・優秀演題に応募いただいた非会員関連専門職演題全147演題の中から事前審査で選出した18演題の演者につきましては、閉会式にて表彰式を行いますので是非ご参加ください。なお10月30日（金）

の関連専門職優秀演題候補セッション1〜3の口述発表にて審査を行い、最優秀賞、優秀賞を決定いたします。

10. ポスター発表会場

場　所：パシフィコ横浜 会議センター 3F 301〜304
日　時：10月30日（金）10:00と14:00に発表開始
　　10月31日（土）10:00と14:00に発表開始

11. 共催セミナー

ランチョンセミナー、スイーツセミナーを開催いたします。
・ランチョンセミナーのお弁当は事前申込制とさせていただきます。参加登録画面にて希望するランチョンセミナーをお選びください。
　なお、お申込みおよび変更可能期間は、10月21日（水）正午までとなります。
・スイーツセミナーは、事前予約制ではございません。会場前にお並びください。

12. 企業展示

場　所：パシフィコ横浜 会議センター 3F 301〜304
日　時：10月29日（木）10:00〜18:30
　　10月30日（金） 8:30〜18:00
　　10月31日（土） 8:30〜15:00

13. クローク

貴重品のお預かりはできませんので、あらかじめご了承ください。
お預けの荷物はその日のうちにお引き取りください。
場　所：パシフィコ横浜 会議センター 3F 318
日　時：10月29日（木）9:00〜19:00
　　10月30日（金）8:00〜18:00
　　10月31日（土）8:00〜16:00

14. Wi-Fi

パシフィコ横浜 会議センター常設のフリーWi-Fiをご利用いただけます。
「SSID：FREE-PACIFICO」

15. 託児室

お子様を同伴する参加者のために、会場内に託児室（有料）を開設いたします。完全予約制ですので、利用ご希望の方は学術集会HP「託児室のご案内」より、10月8日（木）までにお申込みください。
定員になり次第締切とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

16. ハンズオンセミナーのお申込み

本学術集会にてハンズオンセミナーを開催いたします。
詳細は学術集会HP「ハンズオンセミナー事前申込」をご確認ください。

17. 現地開催中のお問い合わせ先

名　称：運営本部
場　所：パシフィコ横浜 会議センター 3F 316
期　間：10月29日（木）～10月31日（土）

18. 各種単位のお申込み

本学術集会では、以下の単位が取得可能です。詳細は、次頁以降をご確認ください。
なお、オンライン事前申込みが必要な単位は、学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込みをお願いいたします。

学会名	単位名	現地参加	オンデマンド配信	オンライン事前申込み
日本リハビリテーション医学会	学術集会参加単位	取得可	取得可	不要
	専門医共通講習会	取得可	取得可	必要
	指導医講習会	取得可	取得可	
	教育研修講演	取得可	取得可	
日本整形外科学会	教育研修講演単位	取得可	取得可	必要
日本医師会	認定産業医研修会	取得可	取得不可	必要
	生涯教育制度学習単位	取得可	取得不可	不要
健康・体力づくり事業財団	健康運動指導士・健康運動実践指導者　登録更新履修単位	取得可	取得可	不要
日本スポーツ協会	公認スポーツドクター更新研修	取得可	取得不可	不要
日本摂食嚥下リハビリテーション学会	認定士単位セミナー	取得可	取得不可	不要

■下記は、学術集会への参加・発表などにより単位取得可能な学会・団体です。
　単位申請は、各学会・団体にご確認のうえ、ご自身で行ってください。

学会・団体名	
日本看護協会（認定看護師自己研鑽ポイント）	日本緩和医療学会
日本義肢装具士協会（生涯学習システム単位）	日本言語聴覚士協会
日本作業療法士協会	日本小児神経学会
日本神経学会	日本心臓リハビリテーション学会
日本腎臓リハビリテーション学会	日本頭痛学会
日本生活期リハビリテーション医学会	日本認知症ケア学会
日本脳卒中学会	日本リウマチ学会
日本臨床神経生理学会	日本老年医学会
日本老年精神医学会	

学術集会における「専門医共通講習会」受講証明について

「専門医共通講習」は、日本専門医機構が新専門医制度においてすべての基本領域専門医に共通して受講する項目として定めています。本学術集会では9つの演題が「専門医共通講習」として日本専門医機構に認定されており、有料（1講演1,000円）で受講できます。
必修講習A（医療安全、感染対策、医療倫理）および必修講習B（医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済（保険医療等）、両立支援）の合計8項目は、専門医更新者全員が更新までに各1回以上受講する必要があります。なお学会専門医から更新した機構認定専門医は2025年度までは必修講習Bの受講を猶予されていましたが、2026年度から適用されます。
専門医共通講習（必修講習A・B、任意講習C）の受講単位は、専門医更新に必要な50単位に含めることができますので（5年間で最大10単位まで）、この機会に是非受講してください。詳細は日本専門医機構HPをご確認ください。
※専門医共通講習会では、認定臨床医・認定臨床医受験資格の単位は取得できません。

■現地参加の場合

（1）事前単位申込み
・学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込み・お支払いを行ってください。

（2）受講カードの受け取り
単位受付（パシフィコ横浜 会議センター 3F ホワイエ）にて、申込み済みの専門医共通講習受講カード・受講証明書を各講習の開始前までにお受け取りください。

（3）受講カードの提出
受講カードに必要事項をご記入のうえ、講演終了時に、受講した会場の回収箱に提出してください。受講カードの提出がない場合、単位は認定されません。複数の受講カードを同じ回収箱に提出した場合は、1枚のみが有効となります。

※受講カードの色は下記をご確認ください。
・医療倫理、医療安全、感染対策（緑色）
・医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済、両立支援（青色）
・臨床研究・臨床試験（紫色）

※受講カード・受講証明書の再発行はできません。
※受講証明書はご自身で大切に保管してください。

■オンデマンド配信視聴の場合

（1）単位申込み
・学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込み・お支払いを行ってください。

（2）オンデマンド配信サイトへログインし、必ず期間内に視聴を完了してください。
オンデマンド配信期間：2026年11月18日（水）～12月18日（金）

（3）単位申込みおよび決済と、オンデマンド配信動画視聴後に表示される設問に合格の履歴が確認できましたら単位付与となります。

■2026年10月29日（木）第5会場（パシフィコ横浜 会議センター 4F 416+417会議室）

時間	種別	セッション名・演題名・演者
14:10～15:10	感染対策（A）	**専門医共通講習会1（感染対策）** COVID-19から学ぶ医療 ― この経験を未知のパンデミックにつなぐ ― 平田 知大（宇治徳洲会リハビリテーション病院リハビリテーション科）
16:30～17:30	医療倫理（A）	**専門医共通講習会2（医療倫理）** 障害児者当事者と家族に向き合う医療倫理―倫理的配慮と合理的配慮をめぐって ― 大屋 滋（九十九里ホーム病院）
17:40～18:40	医療制度と法律（B）	**専門医共通講習会3（医療制度と法律）** 診療報酬から読み解く医療の現在地と未来 木下 翔司（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）

■2026年10月30日（金）第6会場（パシフィコ横浜 会議センター 4F 418会議室）

時間	種別	セッション名・演題名・演者
10:50～11:50	医療安全（A）	**専門医共通講習会4（医療安全）** 医療における活動性向上と転倒予防 宮越 浩一（亀田総合病院リハビリテーション科）
13:15～14:15	臨床研究・臨床試験（C）	**専門医共通講習会5（臨床研究・臨床試験）** 臨床医のための研究立ち上げと支援体制の実際 -研究をどう始めるのか - 三邉 武彦（昭和医科大学統括研究推進センター）
14:25～15:25	医療福祉制度（B）	**専門医共通講習会6（医療福祉制度）** 医療・介護・障害福祉制度をつなぐ実践 ― 現場から考える意思決定支援の実際 ― 井上 健朗（東京通信大学人間福祉学部人間福祉学科）

■2026年10月31日（土）第6会場（パシフィコ横浜 会議センター 4F 418会議室）

時間	種別	セッション名・演題名・演者
10:50～11:50	医療経済（B）	**専門医共通講習会7（医療経済（保険医療等））** 医療の価値と医療経済 ― 限られた資源をどう活かすか ― 的場 匡亮（昭和医科大学大学院保健医療学研究科）
13:10～14:10	両立支援（B）	**専門医共通講習会8（両立支援）** 治療と仕事の両立支援の実際と医療の役割 豊田 章宏（中国労災病院治療就労両立支援センター）
14:20～15:20	地域医療（B）	**専門医共通講習会9（地域医療）** 地域医療における生活期医療の課題と可能性 ― 外来・在宅・多職種連携の実践から 前島 早代（医療法人社団涓泉会山王リハビリ・クリニック）

学術集会における「指導医講習会」の受講証明について

指導医資格の新規認定および更新ならびにリハビリテーション科専門医更新には申請までに指導医講習会を1回以上受講する必要があります。本学術集会においては、「指導医講習会①」「指導医講習会②」の2講演を聴講することで指導医講習会を1回受講したものと換算されます。1講演のみの聴講、また現地、オンデマンドそれぞれ1講演ずつの受講での単位取得はできません。

※正会員のみ受講を受け付けます。
※日本リハビリテーション医学会会員以外への受講証明書発行はできません。
※指導医講習会では認定臨床医受験資格の単位は取得できません。

■現地参加の場合

(1) 事前単位申込み
・学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込み・お支払いを行ってください。

(2) 受講カードの受け取り
単位受付(パシフィコ横浜 会議センター 3F ホワイエ)にて、申込み済みの指導医講習会受講カード・受講証明書を講習会開始前までにお受け取りください。

(3) 受講カードの提出
受講カードに必要事項をご記入のうえ、講演終了時に、受講した会場の回収箱に提出してください。受講カードの提出がない場合、単位は認定されません。複数の受講カードを同じ回収箱に提出した場合は、1枚のみが有効となります。

※受講カード・受講証明書の再発行はできません。
※受講証明書はご自身で大切に保管してください。

■オンデマンド配信視聴の場合

(1) 単位申込み
・学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込み・お支払いを行ってください。

(2) オンデマンド配信サイトへログインし、必ず期間内に視聴を完了してください。
オンデマンド配信期間:2026年11月18日(水)～12月18日(金)

(3) 単位申込みおよび決済と、オンデマンド配信動画視聴履歴が確認できましたら単位付与となります。

■2026年10月30日(金)第8会場(パシフィコ横浜 会議センター 4F 411+412会議室)

時間	種別	演題名	演者
15:35～16:35	指導医講習会1	リハビリテーション科領域の研修における指導医の役割と実践	芳賀 信彦
16:45～17:45	指導医講習会2	指導医のための臨床研究指導戦略 ― 専攻医教育の視点から ―	百崎 良

「生涯教育研修」の単位認定について

本学術集会において取得できる、専門医・認定臨床医の生涯教育単位は以下のとおりです。

1. 学術集会参加：リハビリテーション科専門医２単位、認定臨床医20単位

リハビリテーション科専門医および日本リハビリテーション医学会認定臨床医は、資格更新に必要な学術集会参加の単位を取得できます。なお､認定臨床医受験資格の単位は取得できません。

■現地参加の場合

学術集会HPからオンライン参加登録をしたうえで、当日参加受付にてネームカードを発券してください。ネームカードの発券完了を以て参加単位を付与いたします。参加証明書は、オンライン参加登録サービスカウンターからご自身でダウンロードして保管してください。各種発行方法と発行期間については、S22「６．ネームカード・参加証明書・領収書の発行について」をご参照ください。

■オンデマンド配信視聴の場合

いずれかのセッション視聴後に自動で参加単位が付与されます。
参加証明書は、オンライン参加登録サービスカウンターからご自身でダウンロードして保管してください。各種発行方法と発行期間については、S22「６．ネームカード・参加証明書・領収書の発行について」をご参照ください。

2. ［リハビリテーション科専門医］専門医共通講習、教育研修講演：１講演　１単位

リハビリテーション科専門医は、資格更新に必要な単位のうち「専門医共通講習」および「リハビリテーション科領域講習」に算出できる単位を、合計1日で最大7単位／3日間で最大21単位まで取得できます（専門医共通講習の単位が優先されます）。
1時間（以上）の1講演が連続して2名以上の演者で行われる場合は、すべての演者の講演を聴講した場合に取得できます。現地参加、オンデマンド視聴、またはその併用に関わらず、1日あたりの単位取得上限は7単位となります。
※1日に7単位を超えた場合、超過分は切り捨てられます。

本学術集会における対象講演の種別は以下のとおりです。
・「専門医共通講習」：専門医共通講習会
・「リハビリテーション科領域講習／教育研修講演」：
　会長講演、特別講演、文化講演、教育講演、挑･超あすなろ講演、医師＆専門職調うセミナー、医師＆専門職調うシンポジウム、挑・超・調企画シンポジウム、合同シンポジウム、男女共同参画シンポジウム、ジョイント講演、ランチョンセミナー、スイーツセミナー、指導医講習会（2講演受講必須）

なお、新専門医制度における、日本専門医機構認定専門医としての更新に関しては、日本リハビリテーション医学会ホームページ（「新専門医制度について」の中の「リハビリテーション科専門医更新基準について」）を参照してください。

本学術集会において取得できる、専門医・認定臨床医の生涯教育単位は以下のとおりです。

講演種別		受講料	受講カード
専門医 共通講習	専門医共通講習会	1,000円／ 1講演	専門医共通講習受講カード ・医療倫理、医療安全、感染対策（緑色） ・医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済、両立支援（青色） ・臨床研究・臨床試験（紫色）
領域講習 （教育研修講演）	会長講演、特別講演、文化講演、教育講演、挑・超あすなろ講演、医師＆専門職調うセミナー、医師＆専門職調うシンポジウム、挑・超・調企画シンポジウム、合同シンポジウム、男女共同参画シンポジウム、ジョイント講演、ランチョンセミナー※、スイーツセミナー	1,000円／ 1講演	専門医（白色）
	指導医講習会	2,000円／ 2講演	指導医講習会受講カード（グレー）

※単位の申込みは、共催セミナーの座席、弁当の確保を保証するものではありません。必要な方は、学術集会参加登録画面にて、ランチョンセミナーにお申込みをお願いいたします。

3.［認定臨床医・認定臨床医受験資格者］ 教育研修講演：1講演　10単位

日本リハビリテーション医学会認定臨床医、および認定臨床医試験受験を検討中の方は、3日間で最大100単位まで取得することが可能です。
1時間（以上）の1講演が連続して2名以上の演者で行われる場合は、すべての演者の講演を聴講した場合に取得できます。

本学術集会における対象講演の種別は以下のとおりです。
会長講演、特別講演、文化講演、教育講演、挑･超あすなろ講演、医師＆専門職調うセミナー、医師＆専門職調うシンポジウム、挑・超・調企画シンポジウム、合同シンポジウム、男女共同参画シンポジウム、ジョイント講演、ランチョンセミナー、スイーツセミナー、指導医講習会（認定臨床医のみ、2講演受講必須）
※専門医共通講習会では、認定臨床医・認定臨床医受験資格の単位は取得できません。
※指導医講習会では、認定臨床医受験資格の単位は取得できません。

講演種別	受講料	受講カード
会長講演、海外招待講演、特別講演、教育講演、特別企画、シンポジウム、ランチョンセミナー※、スイーツセミナー	1,000円／ 1講演	認定臨床医：白色 認定臨床医受験資格者：オレンジ色
指導医講習会	2,000円／ 2講演	指導医講習会受講カード（グレー）

※単位の申込みは、共催セミナーの座席、弁当の確保を保証するものではありません。必要な方は、学術集会参加登録画面にて、ランチョンセミナーにお申込みをお願いいたします。

■現地参加の場合

(1) 事前単位申込み
学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込み・お支払いを行ってください。

(2) 受講カードの受け取り
単位受付(パシフィコ横浜 会議センター 3F ホワイエ)にて、申込み済みの受講カード・受講証明書を講習会開始前までにお受け取りください。

(3) 受講カードの提出
受講カードに必要事項をご記入のうえ、講演終了時に、受講した会場の回収箱に提出してください。受講カードの提出がない場合、単位は認定されません。複数の受講カードを同じ回収箱に提出した場合は、1枚のみが有効となります。

※受講カード・受講証明書の再発行はできません。
※受講証明書はご自身で大切に保管してください。

■オンデマンド配信視聴の場合

(1) 単位申込み
学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込み・お支払いを行ってください。

(2) オンデマンド配信サイトへログインし、必ず期間内に視聴を完了してください。
オンデマンド配信期間:2026年11月18日(水)～12月18日(金)

(3) 単位申込みおよび決済と、オンデマンド配信動画視聴履歴が確認できましたら単位付与となります。

日本リハビリテーション医学会以外の単位について

本学術集会では、以下の学会・単位の取得が可能です。詳細は各学会・団体のホームページなどでご確認ください。

1．日本整形外科学会　教育研修講演　1講演：1単位（1,000 円）

※現地参加・オンデマンド視聴いずれでも取得可能です。

一部のプログラムは、日本整形外科学会の教育研修講演に認定されています。3日間で最大21単位（そのうち、オンデマンド視聴で取得できるのは最大12単位）まで取得できます。なお、2名演者のプログラムは、すべての演者の講演を聴講した場合に1単位取得できます。

■現地参加の場合

（1）単位事前申込み

・事前に学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込み・お支払いを行ってください。

（2）受講準備

・JOINTS アプリまたはWeb サイト（https://joints.joa.or.jp/）でJOINTS にログインし、QRコードを表示してください。

（3）出席登録

・講演会場前のQRコードリーダーにてQRコードを読み込み、出席登録を行ってください。

・講演開始10分前から10分後までに登録を行ってください。

・出席登録の際、PC画面上でご自身のお名前が表示されたことを確認してください。

※受講申込みをしていても会場での出席登録が行われていなかったり、申込みと異なるプログラムで登録された場合は、単位は付与されません。

※単位申込みと出席登録の両方が完了している方のみ単位が認定されます。受講前に必ず単位申込み内容と会場・受講プログラムをお確かめください。

■オンデマンド配信視聴の場合

（1）単位申込み

学術集会HP「各種単位のお申込み」よりお申込み・お支払いを行ってください。

（2）オンデマンド配信サイトへログインし、必ず期間内に視聴を完了してください。

オンデマンド配信期間：2026年11月18日（水）～12月18日（金）

（3）単位申込みおよび決済と、オンデマンド配信動画視聴後に表示される設問に合格の履歴が確認できましたら単位付与となります。

2．日本医師会　認定産業医研修会

※現地参加でのみ単位取得可能です。　※ 10月21日（水）までに事前予約が必要です。

一部のプログラムは日本医師会認定産業医制度における生涯研修会として認定されています。

（1）申込み

単位を取得するには、期限までに学術集会HP「各種単位のお申込み」より単位申込を済ませる必要があります。

【申込期限】10月21 日（水）
※当日、会場での申込みはできません
※期限前であっても定員に達した場合は申込みを締め切りますので、お早めにお申し込みください。

(2) 講演会場での手続き
単位受付（パシフィコ横浜 会議センター 3F ホワイエ）で受講カード・受講証明書をお受け取りください。
受講カードに必要事項をすべてご記入の上、講演終了時に受講した会場の回収箱に提出してください。受講カードの提出がない場合は単位認定できません。
※遅刻・早退をされた方は単位認定できません。
※受講カード・受講証明書の再発行はできません。
※登録・更新などの詳細は、日本医師会へお問合せください。

日付	種別	時間	演題名	演者
10月29日（木）	教育講演3	15:40～16:40	がん治療と生活の両立を支えるリハビリテーション診療の専門性	辻　哲也
10月30日（金）	専門医共通講習会4（医療安全）	10:50～11:50	医療における活動性向上と転倒予防	宮越　浩一
10月31日（土）	専門医共通講習会8（両立支援）	13:10～14:10	治療と仕事の両立支援の実際と医療の役割	豊田　章宏

3. 日本医師会　生涯教育制度学習単位

※現地参加でのみ単位取得可能です。
日本医師会会員の方は、演題ごとに受講内容に応じた1 カリキュラムコードと単位の取得が可能です。
どの領域を何時間学習されたかご自身で申告してください。

＜単位とカリキュラムコード＞

■カリキュラムコード（CC）

・「日本医師会生涯教育カリキュラム <2016>2022年4月版」で定める、学習領域を示す84の項目。
・講演内容に応じ、受講者自身が演題ごとに1 つのCCを決定してください。
　例：糖尿病の内容＝ CC76（糖尿病）

■単位

・学習時間を示すもの。30分＝ 0.5単位とする。
・1日の上限はありません。式典、休憩等、講演以外の時間は受講時間には含まれません。
　例：糖尿病の内容の講演を合計3 時間受講した＝ CC76を3単位

＜受講を証明するもの＞
学術集会の参加証明書（写しでも可）

＜申告受付期間＞
2027年3月1日（月）～ 4月30日（金）

4. 健康・体力づくり事業財団　健康運動指導士・健康運動実践指導者登録更新履修単位

本学術集会は、健康・体力づくり事業財団　健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として、講義3.0単位が認められます（認定番号：266640）。

■現地参加の場合

ネームカード発券後、登録番号が確認できる「健康運動指導士証」または「健康運動実践指導者証」を単位受付窓口にご提示の上、認定講習会受講証明書交付者一覧表に登録番号と氏名をご記入ください。お渡しする「受講証明書」は登録更新申請までご自身で保管してください。

■オンデマンド配信視聴の場合

学術集会から3か月以内に、本学術集会の参加証明書のコピーを含む単位認定に必要な書類を健康・体力づくり事業財団へ送付してください。
※受講証明書の再発行はできません。
※登録・更新などの詳細は、健康・体力づくり事業財団へお問合せください。

5. 日本スポーツ協会　公認スポーツドクター　更新研修

※現地参加でのみ単位取得可能です。
一部のプログラムは、日本スポーツ協会の公認スポーツドクター更新研修として認定されています。
ご自身のスポーツ指導者マイページにて更新研修受講状況をご確認の上、対象セッションを合計4時間（240 分）以上聴講してください。講演に遅刻もしくは途中退出した場合、その講演については聴講時間にはカウントされませんのでご注意ください。
当日、単位受付窓口にて「修了者名簿」に氏名･7 桁の登録番号をご記入の上、「出席確認カード」をお受け取りください。「出席確認カード」に必要事項をご記入の上、参加証明書の写しとあわせて日本スポーツ協会にご自身で提出してください。
提出期限：2026年11月23日（月）
提出先メールアドレス：drat-kakunin@japan-sports.or.jp
※出席確認カードの再発行はできません。
※登録・更新などの詳細は、日本スポーツ協会へお問合せください

■2026年10月29日（木）

種別	時間	演題名	演者
特別講演2	14:50～15:20	投げ続けるために肘を守る～学童からプロまで野球肘の現状と課題～	富田　一誠
	15:20～15:50	投球障害肩に対する理学療法	千葉　慎一

■2026年10月30日（金）

種別	時間	演題名	演者
医師＆専門職 調うセミナー6	10:50～11:50	体幹深部筋の機能評価と再教育	金岡　恒治
教育講演17	15:35～16:35	スポーツを通じた共生（インクルーシブ）社会の実現 ― 国内の取り組みと今後の展望 ―	牛尾　　会

■2026年10月31日（土）

種別	時間	演題名	演者
教育講演25	9:40～10:40	ケガを防ぎ、最高のパフォーマンスへ ― サッカー現場におけるメディカルサポートの実践 ―	池田　　浩
挑・超・調 企画シンポジウム13	10:20～10:35	多様な生き方を支えるパラスポーツ医学 ～次世代の育成とライフイベントの両立～	上出　杏里
	10:35～10:50	理学療法士という資格をいかしたパラスポーツへの関わり方	永盛　雅子
	10:50～11:05	パラスポーツ参加と継続の難しさと必要な支援について ～パラスポーツを日常的に行う一当事者の立場から～	高安　薫実
	11:05～11:20	転んでも大丈夫･スポーツ用義肢製作の35年	臼井二美男

6. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 1講演：5単位

※現地参加でのみ単位取得可能です。

以下のプログラムは、日本摂食嚥下リハビリテーション学会の認定士単位セミナーとして認定されています。受講後、単位受付窓口にて単位セミナー参加証を取得してください。

日付	種別	時間	演題名	演者
10月30日（金）	教育講演10	15:35～16:35	嚥下・呼吸・口腔機能から考える誤嚥性肺炎予防 ―リハビリテーション医学の実践と多職種連携―	海老原　覚
10月31日（土）	教育講演23	14:20～15:20	その嚥下障害，手術で変わるのか ― 摂食嚥下障害に対する外科的治療の適応判断 ―	木村百合香

7. その他、学術集会への参加、発表などにより単位取得可能な学会・団体について

単位申請は、各学会・団体にご確認のうえ、ご自身で行ってください。

学会・団体名	
日本看護協会（認定看護師自己研鑽ポイント）	日本緩和医療学会
日本義肢装具士協会（生涯学習システム単位）	日本言語聴覚士協会
日本作業療法士協会	日本小児神経学会
日本神経学会	日本心臓リハビリテーション学会
日本腎臓リハビリテーション学会	日本頭痛学会
日本生活期リハビリテーション医学会	日本認知症ケア学会
日本脳卒中学会	日本リウマチ学会
日本臨床神経生理学会	日本老年医学会
日本老年精神医学会	

単位取得可能な講演一覧

日本リハビリテーション医学会と日本整形外科学会の単位対象セッションは以下の通りです。詳細および他学会の単位情報については、S31～S34をご確認ください。

なお、日本リハビリテーション医学会および日本整形外科学会の単位は、一部の講演を除き、現地参加のほか、2026年11月18日（水）～12月18日（金）のオンデマンド配信でも取得可能です。下記表の※印のセッションは、オンデマンドでは単位取得できません。

■2026年10月29日（木）

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会
10:10～11:10	1	会長講演		至誠一貫，まことのみんなの幸いのために ―挑み，超え，調えるリハビリテーション医学―	川手　信行	●	13,Re
11:20～12:20	1	特別講演1		アルツハイマー病 ―病態理解から読み解く新しい医療の可能性―	小野賢二郎	●	
	2	教育講演1		ヒトはなぜ合理的合目的に動けるのか	佐々木信幸	●	1,Re
	3	教育講演2		Hospitalization-Associated　Disabilityの予防とリハビリテーション医療	高橋　哲也	●	
12:30～13:30	1	ランチョンセミナー1	慢性期外傷性脳損傷への挑戦 ― 再生医療がもたらす新たな可能性 ―	外傷性脳損傷に挑む新たな細胞治療薬バンデフィテムセル：その作用機序とエビデンス構築の歩み	金　恭平	●	
				再生医療とのシナジーが期待されるニューロモデュレーション技術のトピックス	川上　途行		
13:40 ～14:40	1	文化講演1		喪失による傷つきからの回復に必要なかかわり ～Safety/challenge/Hope～	副島　賢和	●	
	6	挑・超 あすなろ講演1		ニューロリハビリテーションのトピックス：小児領域の展開	川上　途行	●	
	7	医師＆専門職 調うセミナー1		眼球運動障害のリハビリテーション治療	渡部　喬之	●	
13:40～15:10	2	挑・超・調 企画シンポジウム2	サルコペニア・フレイルへの挑・超・調	フレイル・サルコペニアの病態と疫学	小川　純人	●	
				骨格筋の可塑性から描くサルコペニア・フレイルのグランドデザイン ―運動・栄養介入から社会実装へ―	町田　修一		
				口腔機能管理とリハビリテーション医療の接続	古屋　純一		
				サルコペニア・フレイル患者の機能回復を支える栄養管理	宇野　千晴		
				運動でロコモ・フレイル・サルコペニアは防げるか	沢谷　洋平		
	3	合同 シンポジウム1 （パラスポーツ委員会）	ミラノ・コルティナ2026冬季パラスポーツ国際競技大会を支えたリハビリテーション支援の実際と未来	ミラノ・コルティナ2026冬季パラスポーツ国際競技大会までの競技活動と今後	新田　佳浩	●	
				ミラノ・コルティナ2026冬季パラスポーツ国際競技大会における医務活動とパラスポーツにおける医学的支援について	小林　章郎		
				ミラノ・コルティナ2026冬季パラスポーツ国際競技大会におけるトレーナー活動	笹代　純平		
				冬季競技における機器開発の歴史 選手の発掘・育成に向けた普及活動	辻村　和見		
	4	挑・超・調 企画シンポジウム5	重症患者に対するリハビリテーション診療の挑・超・調	リハビリテーション科専門医による高度救命救急センターにおける包括的急性期脳卒中診療	山内　利宏	●	
				意識障害患者のリハビリテーション診療	新見　昌央		
				PICSのリハビリテーション診療 －早期離床から退院後支援までをどうつなぐか－	竹原　慧		
				超急性期から生活期までを貫くリハビリテーション診療	幸田　剣		
14:10～15:10	5	専門医共通 講習会1	感染対策（A）	COVID-19 から学ぶ医療 ― この経験を未知のパンデミックにつなぐ ―	平田　知大	●	
14:50～15:50	1	特別講演2	投げ続けるための医療 ―スポーツ障害の予防と健康管理を再考する ―	投げ続けるために肘を守る ～学童からプロまで野球肘の現状と課題～	富田　一誠	●	2,9,S
				投球障害肩に対する理学療法	千葉　慎一		
	6	挑・超 あすなろ講演2		回復期における痙縮治療への挑戦 ―SMDの視点から考えるチーム医療―	杉山みづき	●	
	7	医師＆専門職 調うセミナー2		発音が気になる子どもに出会ったとき ―多職種で共有したいチェックポイント―	武井　良子	●	
15:20～16:20	5	スイーツ セミナー1		姿勢と運動から考える小児リハビリテーションの新展開 ―脳性まひ児とダウン症のある子どもの生活を支える実践―	真野　英寿	●	3,13,Re

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会
15:25～16:55	2	挑・超・調企画シンポジウム3（日本スティミュレーションセラピー学会共同）	脳卒中後遺症に対するスティミュレーションセラピーの挑・超・調	当院における脳卒中後上肢麻痺に対するStimulation Therapy	漆谷　直樹	●	
				脳卒中後嚥下障害に対するStimulation　Therapy：神経筋電気刺激（NMES）の可能性	小林健太郎		
				失語症に対するスティミュレーションセラピー	小原　健輔		
				脳卒中後歩行障害に対するスティミュレーションセラピー	久保田雅史		
	4	合同シンポジウム2（日本難病リハビリテーション研究会）	神経難病における在宅リハビリテーションの現在とみらい-地域実践の深化に向けて-	ＡＬＳ患者の地域在宅移行を支える取り組み～専門医療機関から地域へ何を伝えるか～	工藤早栄子	●	
				「食べることは生きること」を支える　難病・訪問リハビリテーション　― ICF×主観的次元・車窓モデル―	川俣　悠平		
				居宅介護支援事業所へのアンケート結果からみる在宅神経難病者へのリハビリテーション治療の課題	中馬　孝容		
15:40～16:40	3	教育講演3		がん治療と生活の両立を支えるリハビリテーション診療の専門性	辻　　哲也	●	5,13,Re
16:00～17:00	1	特別講演3		0からの軌跡 ― 生活を支える医療への挑・超・調	水間　正澄	●	
	6	挑・超あすなろ講演3		臨床×研究×教育の三位一体の活動に挑む！	蜂須賀明子	●	
	7	医師＆専門職調うセミナー3		ICUにおける作業療法の役割と実践：生活期を見据えた包括的支援	駒場　一貴	●	13,Re
16:30～17:30	5	専門医共通講習会2	医療倫理（A）	障害児者当事者と家族に向き合う医療倫理 ―倫理的配慮と合理的配慮をめぐって ―	大屋　　滋	●	
17:10～18:40	1	挑・超・調企画シンポジウム1（CORABOSS共同）	脳卒中歩行再建　現在・過去・未来　―先人たちが歩んだ道と新たな挑戦 ―	歩行再建で私が歩んだ道 －長下肢装具後方介助歩行訓練の誕生と未来への提言－	吉尾　雅春	●	
				脳卒中歩行再建のための歩行分析の過去・現在・未来	山本　澄子		
				脳卒中歩行再建 ～痙縮治療・SMD対策の過去・現在・未来～	勝谷　将史		
	2	挑・超・調企画シンポジウム4	回復期リハビリテーション医療の四半世紀の挑・超・調	回復期リハビリテーション医療における生活再建 ―医師の立場から―	岡本　隆嗣	●	
				理学療法士の視点から	松田　　徹		
				回復期リハビリテーション医療を管理する作業療法士の立場として	川野　将広		
				回復期リハビリテーション病棟における言語聴覚士の役割と課題	井上　典子		
				回復期リハビリテーション病棟のソーシャルワーカーの立場から	玉井　　智		
	3	男女共同参画シンポジウム	リハビリテーション医療におけるキャリア形成と専門性の再考 ―多様な働き方と役割選択の構造に着目して―	医療観とキャリア志向に関するアンケート調査―中間報告―	杉山みづき	●	
				迷いながら育てられたキャリア ―地域で育ち、家族に支えられ、人を育てる側へ―	梅本　安則		
				リハビリテーション科医として幸せな人生を歩む ～後期研修医の視点から～	関根希和子		
				リハビリテーション科医に必要なキャリアとしての急性期・回復期・生活期	大高　恵莉		
				リハビリテーション科医が動物モデル基礎研究を担う意義	廣畑　俊和		
	4	合同シンポジウム3（全国リハビリテーション学校協会）	セラピスト教育の新たな展開 ― 卒前・卒後の連続した教育―	卒前卒後のシームレスな教育について	渡部　喬之	●	
				慈恵医大レジデント理学療法士・作業療法士制度の役割と期待	中山　恭秀		
				コンピテンシー基盤型教育からみたセラピストの卒前教育	木村　大輔		
				言語聴覚士の卒前・卒後教育	深浦　順一		
				作業療法士養成校における総合実習前後のOSCE	五味　幸寛		
17:10～18:10	6	挑・超あすなろ講演4		子どもの「できる」を広げ、領域を超えて支援するリハビリテーション医学	藤原　清香	●	
	7	医師＆専門職調うセミナー4		サルコペニア・フレイルを“診る”・“支える”	山田　　実	●	13,Re
17:40～18:40	5	専門医共通講習会3	医療制度と法律（B）	診療報酬から読み解く医療の現在地と未来	木下　翔司	●	

■2026年10月30日（金）

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会
8:30～9:30	1	教育講演4		リハビリテーション診療におけるDX	大高　洋平	●	13,Re
	4	教育講演5		上肢機能回復への挑・超 ―VRとロボットが拓くリハビリテーション治療の新戦略―	内山　侑紀	●	
	5	教育講演12		心不全診療を支える心臓リハビリテーション ―急性期から長期予後まで―	礒　　良崇	●	
	6	挑・超あすなろ講演5		嚥下機能の定量化への挑戦	新井　伸征	●	
				嚥下機能の定量化への挑戦	山本五弥子		

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会
8:30～10:00	2	挑・超・調企画シンポジウム6	リハビリテーション科開業の挑・超・調	リハビリテーション科医としての開業 ―私の場合―外来に特化したモデル	白石純一郎	●	
				リハビリテーション科医が町医者を継承開業して外来・訪問・通所リハビリテーションを営む	沖井　明		
				リハビリテーション科医師による居場所づくり ～医療的ケア児・重症心身障害児に向けて～	山下　愛茜		
				地域に根ざした外来・訪問・通所の三位一体モデルの実践：山王リハビリ・クリニックの取り組み	森　逸平		
	3	挑・超・調企画シンポジウム10	整形外科領域のリハビリテーション医療の未来戦略への挑・超・調	脊髄損傷に対するリハビリテーション治療の未来戦略	粕川　雄司	●	
				骨粗鬆症の未来戦略と運動療法	青木　隆明		
				上肢・手指外傷の未来戦略	尼子　雅敏		
				股関節疾患に対する未来戦略	坂井　孝司		
8:30～10:30	7	医師＆専門職調うシンポジウム1	摂食嚥下多職種チームは，リハビリテーション科医に何を望んでいるのか　―「指示する医師」から「ともに調える医師」へ―	摂食嚥下障害のリハビリテーション医療において言語聴覚士がリハビリテーション科医に求める役割	畠山　恵	●	
				食べることに挑む多職種チームの中での看護師	丹藤　淳		
				摂食嚥下支援をともに調える ―急性期から生活期をつなぐ管理栄養士の視点―	熊谷　直子		
				生活につながる口腔機能を支えるためにリハビリテーション科医に期待すること―歯科医師の立場から―	齋藤　真由		
9:40～10:40	1	特別講演4		新地域医療構想と地域医療の未来-医療提供体制はどう変わるのか-	西嶋　康浩	●	14-5
	4	教育講演6		運動器腫瘍に対する機能再建とリハビリテーション戦略 ― 周術期 から生活期まで ―	城戸　顕	●	5,13,Re
	5	教育講演13		脳卒中急性期のリハビリテーション治療	梅本　安則	●	
	6	挑・超あすなろ講演6		先進的なニューロリハビリテーション治療への挑戦	谷　真美	●	
10:10～11:40	2	挑・超・調企画シンポジウム7	栄養とリハビリテーション治療の挑・超・調	リハビリテーション効果を最大化する栄養マネジメント：医師が導く多職種連携の「調和」	藤原　大	●	
				食べない、痩せる、そんな時どうする？低栄養を乗り越える栄養介入戦略	上島　順子		
				リハビリテーションアプローチの効果を支える栄養サポートへの挑戦	最上谷拓磨		
				薬からみる栄養と身体機能回復の調和	松崎　貴志		
	3	合同シンポジウム4（日本小児リハビリテーション医学会）	生活期を生きる子どもと家族に、私たちはどう挑み、超え、調えるのか ― 次世代から考える小児リハビリテーション医療 ―	医療が生活期に挑む ― 重症児・医療的ケア児に対する継続的支援の最前線 ― 小児専門病院の立場から	真野　浩志	●	
				成長発達を超えて支える小児リハビリテーション ― 移行期医療とライフステージ支援 ―	土岐めぐみ		
				子どもの『生活』を調える作業療法の役割 ― 学校・家庭・地域をつなぐ支援 ―	竹中佐江子		
				地域で育ち続ける子どもを支える ― 多職種連携と生活期支援モデルの実践 ―	杉山　智子		
10:50～11:50	1	文化講演2		AIは「その人らしさ」を支えられるのか ― Deepfake Voiceを起点としたリハビリテーション支援の可能性 ―	CANCEMI GIORGIO	●	
	4	教育講演7		高次脳機能障害者支援法がもたらす未来	渡邉　修	●	
	5	教育講演14		痙性運動障害（SMD）への包括的治療戦略	長谷　公隆	●	
	6	専門医共通講習会4	医療安全（A）	医療における活動性向上と転倒予防	宮越　浩一	●	
	7	医師＆専門職調うセミナー6		体幹深部筋の機能評価と再教育	金岡　恒治	●	13,Re
12:05～13:05	1	ランチョンセミナー2		遷延性意識障害患者のリハビリテーション医療 ―NASVA療護センターの役割と実績―	本田　千穂	●	
	2	ランチョンセミナー3		痙縮マネジメントを再考する ～下肢の用法・用量変更がもたらす臨床への変化～	重松　孝	●※	
	4	ランチョンセミナー4		リハビリテーション診療における末梢磁気刺激	加賀谷　斉	●	8,13,Re
	5	ランチョンセミナー5		今こそやろう。心不全への心臓リハビリテーション	村田　誠	●	
	6	ランチョンセミナー6		リハビリテーション病院における運動器疾患治療の最前線	平泉　裕	●	13,Re
13:15～14:15	1	特別講演5		脊髄損傷患者に対する新しい幹細胞製剤	本望　修	●	7,SS
	4	教育講演8		サルコペニアだけでは語れないフレイル ―栄養・姿勢・Standing SADから考える身体評価―	永井　隆士	●	4,13,Re
	5	教育講演15		パーキンソン病はどこまで改善するのか ―エビデンスで読み解くリハビリテーション医療の最前線―	服部　憲明	●	
	6	専門医共通講習会5	臨床研究・臨床試験（C）	臨床医のための研究立ち上げと支援体制の実際 ― 研究をどう始めるのか ―	三邉　武彦	●	

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会
13:15～14:45	2	挑・超・調企画シンポジウム8	生成AIが開くリハビリテーション医療の挑・超・調	生成AIがどこまでリハビリテーション医療の現場を変えうるか ―小さい意思決定から始める臨床活用―	海津　陽一	●	
				生成AIを活用したリハビリテーション介入支援の可能性	澤村　彰吾		
				生成AIはどこまで進歩するのか	尾﨑　尚人		
				AIによる機能回復および活動性向上予測の可能性と課題	白坂　智英		
	3	挑・超・調企画シンポジウム11（日本JRAT共同）	東日本大震災から15年・災害リハビリテーション医療・支援の挑・超・調	東日本大震災からはじまったJRATの組織づくり概説とこれから	栗原　正紀	●	
				熊本地震から学んだJRATの実践、そして、未来へ	田代　桂一		
				毎年の猛威：豪雨・台風による地域限定型災害での地域JRAT活動	菊地　尚久		
				令和6年 能登半島地震におけるJRAT支援活動と問題点について	松下　　功		
13:15～15:15	7	医師＆専門職調うシンポジウム2	少子化を追い風に変えるリハビリテーション専門職の力 ―PT・OT・ST・POの未来構想―	理学療法士の未来構想 -社会保障人材としての価値創造と持続可能なリハビリテーション医療の国家戦略化-	斉藤　秀之	●	
				こども支援と認知症施策における今と未来構想～日本作業療法士協会会長の立場から～	山本　伸一		
				少子化を追い風に変えるリハビリテーション専門職の力 ―言語聴覚士の立場から考える未来構想―	内山　量史		
				少子化を追い風に変える義肢装具士の力	東江由起夫		
14:20～15:20	1	特別講演6	障害のある人の社会参加と主体性　―全介助事例に学ぶ『ポジティブスイッチ』と生活再構築のメカニズム―	1ミリも動けない絶望から「生活の経営者」へ―社会参加と主体性を実現するポジティブスイッチの入れ方	澤邊　芳明	●	14-5
				障害のある人の社会参加―実臨床に役立てたい運動FIM13の事例に学ぶ主体性獲得と生活マネジメントの分析―	和田　真一		
14:25～15:25	4	教育講演9		その痛みは，なぜ続くのか ― 病態と修飾因子から考える痛みに対するリハビリテーション治療 ―	坂本　淳哉	●	13,Re
	5	教育講演16		生活期リハビリテーション医療における治療体系化の見える化 ― 何を，どこまで，どのように行うのか ―	三上　幸夫	●	13,Re
	6	専門医共通講習会6	医療福祉制度（B）	医療・介護・障害福祉制度をつなぐ実践 ― 現場から考える意思決定支援の実際 ―	井上　健朗	●	
15:00～16:00	2	スイーツセミナー2		大学病院における先端機器の幅広い活用　～保険診療から自由診療まで～	川上　途行	●	13,Re
				生体信号反応式運動機能改善装置による海外展開と保険外のリハビリテーション支援	安永　好宏		
	3	スイーツセミナー3		『セラピスト＋α』で生き抜く次世代のキャリア戦略 ～自ら選ぶ多様な挑戦～	梅村　将成 松本　　泉 酒井　謙司 三浦　貴麿 髙野　富也 田中麻奈美	●	
15:30～16:30	1	特別講演7		歩行を支える知の進化 ― 脳卒中下肢装具「これまで」と「これから」―	山本　澄子	●	13,Re
15:35～16:35	4	教育講演10		嚥下・呼吸・口腔機能から考える誤嚥性肺炎予防 ―リハビリテーション医学の実践と多職種連携―	海老原　覚	●	
	5	教育講演17		スポーツを通じた共生（インクルーシブ）社会の実現 ― 国内の取り組みと今後の展望 ―	牛尾　　会	●	13,Re
	6	挑・超 あすなろ講演7		「挑」の文化が限界を「超」える ―自律を促す成長の場づくりの実践―	吉田健太郎	●	
	7	医師＆専門職調うセミナー7		前庭障害のリハビリテーション医療	加茂　智彦	●	
	8	指導医講習会1		リハビリテーション科領域の研修における指導医の役割と実践	芳賀　信彦	●	
16:15～17:45	2	挑・超・調企画シンポジウム9	地域包括ケアシステムの挑・超・調	地域包括ケアは障害者・重度障害者を本当に包摂できているのか？	菊地　尚久	●	
				都市型地域包括ケアにおける回復期リハビリテーション病棟の役割と課題	近藤　国嗣		
				地域包括ケアシステムはどのように機能しているか	堀田富士子		
				高次脳機能障害に対する地域包括ケアシステム	駒井由起子		
16:40～17:40	1	特別講演8		色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン	岡部　正隆	●	
	3	医師＆専門職調うセミナー5		脳卒中歩行再建における運動の質（movement quality）	大畑　光司	●	
16:45～17:45	4	教育講演11		International Classification of Functioning, Disability and Healthをリハビリテーション診療で活用するには ― 活動を共有できる診断・評価ツールとしてどう使うか ―	向野　雅彦	●	13,Re

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会
16:45～17:45	5	教育講演18		急性期リハビリテーション医療の基本とICUでの応用 ―多職種連携とリハビリテーション科医の役割―	山内　克哉	●	
	6	挑・超 あすなろ講演8		意識障害のリハビリテーション治療の挑戦	和田　義敬	●	
	7	医師＆専門職 調うセミナー8		装具を使用する脳卒中片麻痺者に対する行うべき支援とは ―装具支援格差は入院中から始まっていた―	久米　亮一	●	13,Re
	8	指導医講習会2		指導医のための臨床研究指導戦略 ― 専攻医教育の視点から ―	百崎　　良	●	

■2026年10月31日（土）

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会
8:30～9:30	1	特別講演9		在宅で育つ医療的ケア児の挑・超・調 ― 家族とともにあゆむ医療と支援 ―	中村　知夫	●	3,Re
	4	教育講演19		脊髄損傷の摂食嚥下障害 ― 病態理解から新規治療戦略まで ―	山本五弥子	●	7,13,SS
	5	教育講演24		歩行障害に対する新しいリハビリテーション治療	藤原　俊之	●	13,Re
	6	挑・超 あすなろ講演9		臨床の気づきから始まった挑戦：リハビリテーション診療におけるカルニチン欠乏症	上野　　真	●	
	7	医師＆専門職 調うセミナー9		PT・OT・STのキャリアは“創る時代”へ ～経営視点で、組織を動かし、未来を切り拓くセラピストへ～	京藤　聡弘	●	
8:30～10:00	2	挑・超・調 企画シンポジウム12	保険外リハビリテーションの挑・超・調 医師とセラピストの関係	医師と理学療法士の協働による攻めの予防医療と予防・健康増進	佐々木嘉光	●	
				療法士における保険外リハビリテーションとの連携 ―医療機関の理学療法士の立場から―	髙橋　忠志		
				大学病院内の自由診療におけるリハビリテーション科医師の役割	川上　途行		
				大学附属自由診療クリニックにおける臨床の実際	森　　直樹		
	3	挑・超・調 企画シンポジウム14	痙縮治療への挑・超・調	ボツリヌス治療、装具療法によるSMDの治療戦略	勝谷　将史	●	
				痙縮治療への挑・超・調 ―ボツリヌス療法とITB療法による新たな治療戦略―	竹林　成典		
				拡散型体外圧力波と痙縮	中村　潤二		
				痙縮治療において作業療法士が果たす役割	唐渡　弘起		
9:40～10:40	1	特別講演10		月を目指す医学、地域を支える医学 ～宇宙医学運用と生活期リハビリテーション医療が拓く未来～	速水　　聰	●	
	4	教育講演20		運動器疾患に対するリハビリテーション医療 ―機能回復から活動・参加へ―	宮本　健史	●	13,Re
	5	教育講演25		ケガを防ぎ、最高のパフォーマンスへ ― サッカー現場におけるメディカルサポートの実践 ―	池田　　浩	●	2,13,S
	6	挑・超 あすなろ講演10		急性期・回復期から生活期へ：持続可能な医療・介護システムの実現に向けて	石田由佳子	●	
	7	医師＆専門職 調うセミナー10		最先端テクノロジーを脳卒中後上肢運動障害のリハビリテーション医療にいかに活かすのか	竹林　　崇	●	
10:20～11:50	2	挑・超・調 企画シンポジウム13	パラスポーツの挑・超・調	多様な生き方を支えるパラスポーツ医学 ～次世代の育成とライフイベントの両立～	上出　杏里	●	
				理学療法士という資格をいかしたパラスポーツへの関わり方	永盛　雅子		
				パラスポーツ参加と継続の難しさと必要な支援について～パラスポーツを日常的に行う一当事者の立場から～	高安　薫実		
				転んでも大丈夫・スポーツ用義肢製作の35年	臼井二美男		
		合同 シンポジウム6 （日本集中治療医学会）	重症患者のリハビリテーションガイドラインJ-Recip 2027	日本版重症患者リハビリテーション診療ガイドライン J-ReCIP 2027　理学療法士の立場から	對東　俊介	●	
				重症患者のリハビリテーションガイドラインJ-ReCIP 2027　言語聴覚士の立場から	兼岡　麻子		
				集中治療領域における認知機能障害へのリハビリテーション治療：J-ReCIP 2027が示す新たな指針	児島　範明		
				重症患者リハビリテーション医療における家族参加の意義と展望	松石雄二朗		
				集中治療医の立場から見たJ-ReCIP 2027	中野秀比古		

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会
10:50～11:50	1	特別講演11		次世代につなぐリハビリテーション医学教育 －学びの体系化と人材教育－	久保　俊一	●	13,Re
	4	教育講演21		疾患ではなく疾患患者を良くするリハビリテーション治療	西村　行秀	●	
	5	教育講演26		救命から機能回復へ！その先にあるもの ― 脳卒中カテーテル治療とリハビリテーション医療の連携 ―	作田　健一	●	
	6	専門医共通講習会7	医療経済（B）	医療の価値と医療経済 ― 限られた資源をどう活かすか ―	的場　匡亮	●	
	7	医師＆専門職調うセミナー11		障害歩行の特徴分析：追尾型歩行計測システムによって得た各種歩行障害データの集約解析	河島　則天	●	13,Re
12:00～13:00	1	ランチョンセミナー7		痙縮治療におけるボツリヌス療法の意義と投与筋の優先順位　～活動と運動学習の観点から～	佐々木信幸	●※	
	2	ランチョンセミナー8		手指リハビリテーション支援ロボットが拓く上肢治療の新時代	内山　侑紀 竹林　崇	●	10,13,Re
	4	ランチョンセミナー9		COPD患者の呼吸リハビリテーションにおける漢方の役割～補中益気湯の併用効果～	濱田　泰伸	●	
	5	ランチョンセミナー10		AIが拓くリハビリテーション予後予測の新たな可能性	白坂　智英	●	13,Re
				リハビリテーション医療の支援システムとAI予測分析ツールの掛け合わせがもたらす現場変革	小野　圭介		
13:10～14:10	1	文化講演3		AI・ロボット時代における『生きる力』の支え方 ― リハビリテーション医学とヒューニング学が拓く未来 ―	伊藤麻衣子	●	
	4	教育講演22		SpasticityとSpastic movement disorderの病態と治療戦略	山口　智史	●	
	5	教育講演27		誤嚥を防ぐ、その先へ ― “最後まで食べる幸せ”を支える摂食嚥下リハビリテーション ―	井口はるひ	●	
	6	専門医共通講習会8	両立支援（B）	治療と仕事の両立支援の実際と医療の役割	豊田　章宏	●	
	7	医師＆専門職調うセミナー12		生活行為としての自動車運転を支える ～運転再開・運転中断・地域移動支援～	澤田　辰徳	●	
13:10～14:40	2	合同シンポジウム5（社会保険委員会）	令和8年度リハビリテーション診療報酬改定の影響を読み解く ― 急性期・回復期・生活期の視点から ―	令和8年度リハビリテーション診療報酬改定の影響に関する会員アンケート調査の結果報告（速報）	土井あかね	●	
				急性期リハビリテーション診療への影響 ―特に急性期加算について	羽田　康司		
				回復期リハビリテーション病棟への影響 特に実績指数の見直しについて	杉原　勝宣		
				生活期リハビリテーション医療への影響 ― 外来診療の位置づけと介護保険との連携 ―	近藤　国嗣		
				リハビリテーション診療報酬を適正に算定するための基本原則	平泉　裕		
	3	合同シンポジウム7（日本生活期リハビリテーション医学会）	生活期の視点が変える，急性期・回復期リハビリテーション医療・支援 ―生活期がつなぐ急性期・回復期―	その初期介入は「未来のQOL」に届いているか	森　麻衣子	●	
				機能回復から社会復帰への架け橋 ―回復期は，生活につなげられているか―	菅原　英和		
				生活期リハビリテーション医療が求める各期の連携と主体性を軸とした一貫した支援の在り方	和田　真一		
				地域を元気にするリハビリテーション医学～音楽・アート・農～	新藤　悠子		
				装具難民を生み出さないための急性期・回復期リハビリテーションの役割	勝谷　将史		
	8	合同シンポジウム8（RJN合同シンポジウム）	くらしを紡ぐリハビリテーション科医師の役割	回復期退院後のリハビリテーション医療	永田　智子	●	
				～家族と考える高齢者の暮らし ～地域をつなぐ医師ネットワークの構築～	豊岡　志保		
				急性期病院で考えるくらし	尾﨑　麻希		
				小児のリハビリテーション医療（専門施設からみる小児のくらし）	平岩　文子		
				在宅療養支援診療所のリハビリテーション診療 ―移行期から維持期へという考え方―	瀬田　拓		
14:20～15:30	1	ジョイント講演	至誠一貫のその先へ ―第10回秋から第64回春，そして第11回秋へ―	至誠一貫のその先へ ―第64回学術集会で伝えたいこと―	津田　英一	●	
				Welcome to the New Era of Rehabilitation Medicine リハビリテーション医学の新時代へようこそ	角田　亘		
14:20～15:20	4	教育講演23		その嚥下障害，手術で変わるのか ― 摂食嚥下障害に対する外科的治療の適応判断 ―	木村百合香	●	
	5	教育講演28		地域格差に挑み、医療の距離を超える ～遠隔リハビリテーションの現在と未来～	大田　哲生	●	
	6	専門医共通講習会9	地域医療（B）	地域医療における生活期医療の課題と可能性 ― 外来・在宅・多職種連携の実践から	前島　早代	●	
	7	医師＆専門職調うセミナー13		子どもの発達を～感覚～から紐解く	高橋香代子	●	

演者・座長へのお知らせとお願い

演者の先生方へ

1. 口演発表

会場にて発表する演者は発表セッション開始時刻の10分前までに次演者席にご着席ください。発表の終了1分前に黄色のランプが点灯、発表終了時間に赤色のランプが点灯します。時間内でご発表をお願いいたします。また、座長の進行により発表・討論を行ってください。
講演・発表時間は厳守してください。

(1) 発表時間

会長講演、特別講演、文化講演、教育講演、 シンポジウム、指導医講習会、 専門医共通講習、挑・超あすなろ講演、 医師＆専門職　調うセミナー、 ランチョンセミナー、スイーツセミナー	講演・討論時間は各セッションで異なります。 演者には事前に通知しております。
YIA 候補演題セッション	発表7分、討論3分
一般口演	
関連専門職優秀演題候補セッション	
関連専門職口演	

(2) PC受付

発表の3 分前までに、PC 受付へデータをご持参ください。

場　所：パシフィコ横浜 会議センター 4F 413
時　間：10月29日（木）9：00〜17：30
　　10月30日（金）8：00〜17：30
　　10月31日（土）8：00〜15：00

(3) 発表形式・データについて

①発表はすべてコンピュータを用いた形式とします。
②各会場にはコンピュータ Windows11（Microsoft365/解像度はフルHD：1920 × 1080、16：9のワイドサイズです。4:3のサイズの場合、スクリーンの左右が一部黒色で投影されますが、発表は可能です。）を準備いたします。
③発表データは、USBメモリに保存してご持参ください。
④フォントは文字化けや改行ズレなどを防ぐため、下記フォントに限定します。
　日本語… MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、メイリオ、Meiryo UI、游ゴシック、游明朝
　英　語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
⑤プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」

として挿入してください。元のデータから「リンク」させることはトラブルの原因となりますので、避けてください。
⑥PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。会場では印刷できません。
⑦事前に必ず作成に使用されたパソコン以外でのチェックを行ってください。
⑧動画を使用する場合はバックアップとして自身のパソコンもご持参ください。
⑨Macintoshを使用する場合は、必ずご自身のパソコンをお持ち込みください。
⑩すべてのご発表について、音声の使用が可能です。
⑪ノートパソコンお持ち込みの注意点
・ノートパソコンお持ち込みの場合でもバックアップ用データとしてUSBメモリをご持参ください。またパソコンのACアダプターは必ずご用意ください。
・会場で用意する映像出力端子はHDMIです。パソコンにHDMI端子がついていることをご確認ください。ついていない場合は接続用の変換ケーブルをご準備ください。
・スクリーンセーバー、省電力設定、ならびにパスワードはあらかじめ解除してください。

(4) 発表について

■第1会場～第8会場

ご発表時には演台上のキーパッドまたはマウスを使用し、ご自身で操作していただきます。
また、演台上のモニターにはスクリーンと同じスライドが表示されますので発表者ツールは使用いただけません。

■第9会場～第11会場

ご発表時には演台上のパソコンに登壇者の名前が一覧表示されております。
ご自身の演題をクリックするとPowerPointが自動的に立ち上がりますので、ご自身で操作していただきます。発表終了後はPowerPointを最後までクリックしていただき、一覧表示画面に戻してください。

なお、会場には Windows 11 (Microsoft 365搭載) のコンピュータ をご用意しております。
スムーズな進行のため、必ず、PC受付にてデータでの動作確認、提出をお願いいたします。
また、Macをご使用の方は、Windows環境での表示・動作を事前にご確認ください。
万が一に備え、バックアップ用のパソコンもご持参くださいますようお願いいたします。

(5) 利益相反について

本学術集会では利益相反の有無についての開示をお願いいたします。2枚目のスライドに利益相反についてのスライドを入れてください。テンプレートは学術集会HPからダウンロードいただけます。

2. ポスター発表

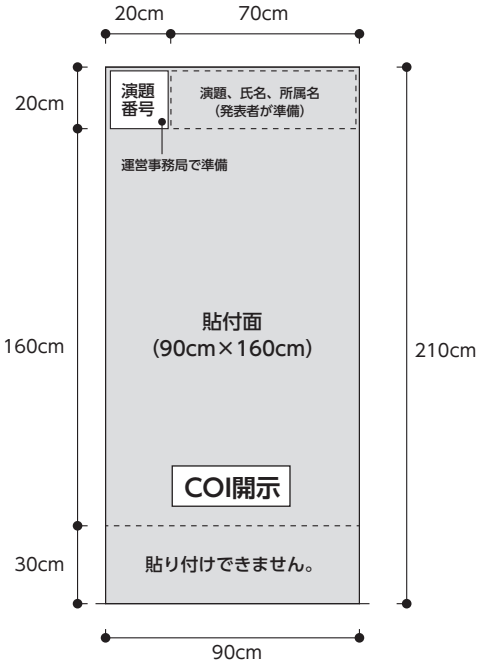
(1) ポスター貼付・発表開始・撤去時間

	10月30日(金)	10月31日(土)
貼付	8:00～10:00	8:00～10:00
発表	10:00～ 14:00～	10:00～ 14:00～
撤去	ご発表後～16:00	ご発表後～16:00

貼り付けには、ポスターパネルに備え付けの押しピンをご利用ください。
時間内に撤去されなかったポスターは、運営事務局にて処分いたします。返送などの対応はお受けできませんのでご了承ください。

(2) ポスターサイズ

右記の画像の様式で、演題名、所属、氏名、本文を縦180㎝×横90㎝のサイズに収めてください。なお演題番号(左上20㎝×20㎝)は運営事務局にて準備いたします。



(3) ポスター発表時間

ポスター(一般)	発表7分、討論3分
関連専門職ポスター	発表7分、討論3分

(4) 利益相反について

本学術集会では、利益相反の有無に関わらず、利益相反について開示をお願いしております。本文中に利益相反についての記述をいれてください。テンプレートは、学術集会HPからダウンロードいただけます。

座長の先生方へ

1. 口演発表

・セッションの開始時刻10分前までに、会場内の次座長席にご着席ください。
・進行は時間厳守でお願いいたします。

2. ポスター発表

・セッションの開始時刻10分前までに、ポスター会場前にある座長受付へお越しください。
・受付したのち、セッション開始5分前までに担当セッションのパネル前にお越しください。
・進行は時間厳守でお願いいたします。

ハンズオンセミナー

ハンズオンセミナー1

日　　時：2026年10月29日（木）14:00～16:00（120分）

会　　場：パシフィコ横浜 会議センター 3F 311

セミナータイトル：見て聞いて触れる！痙縮に対する体外圧力波治療の理論と実践

概　　要：本痙縮に対する神経要素、非神経要素の評価法と体外圧力波の理論を講義形式で学び、足関節運動テスターと体外圧力波の実技を行います。

講　　師：髙橋 忠志（東京都立荏原病院リハビリテーション科）
川手 信行（昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
松本 美由季（昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

募集人数：20名

参加資格：学術集会参加者

申込期間：定員になり次第締切・定員に満たなければ当日参加可
※セミナー当日の「見学」は事前申し込み不要です。お気軽にお立ち寄りください。

参 加 費：無料

共　　催：インターリハ株式会社／キッセイコムテック株式会社

ハンズオンセミナー2

日　　時：2026年10月30日（金）第1回：10:00～11:00／第2回：11:00～12:00
※各回同じ内容です。どちらかの回にお申し込みください。

会　　場：パシフィコ横浜 会議センター 3F 311

セミナータイトル：3Dで触れて学ぶ、次世代の解剖生理学を体験！
― 3Dデジタル解剖プラットフォーム「アナトマージテーブル」ハンズオン ―

概　　要：アナトマージテーブル（Anatomage Table）は、実際のご献体データをもとに構築された、世界初の等身大バーチャル解剖台である。等身大タッチスクリーン上で3D人体モデルを切開・回転・拡大縮小するなどの操作を通じて自由に観察でき、筋肉、骨格、臓器、脈管、神経といった各構造をリアルかつ正確に表示・分離・強調することが可能である。書籍や二次元画像では把握しにくい立体的な位置関係を、実際の解剖に近い形で学べる点に大きな特徴がある。昭和医科大学では本年度より20台のアナトマージテーブルを導入した。これは世界最大規模の導入台数であり、1年次の解剖学教育において既に活用を開始している。従来の座学・実習を補完する教材として、学生の理解度・学修意欲の向上に一定の効果が確認されている。こうした特性は解剖学教育にとどまらず、リハビリテーション領域における患者説明や多職種間での身体機能に関する共通理解の形成、若手医療者教育など、幅広い場面への応用が期待される。本セミナーでは実機に触れながら、解剖学教育のみならずリハビリテーションや多職種連携、若手医療者教育といった幅広い場面での活用イメージまで、その操作方法と実践的な可能性を体験していただきたい。

講　　師：髙木 領（昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科）
林 友則（昭和医科大学富士吉田教育部形態機能学）

募集人数：64名（各回定員32名）

参加資格：学術集会参加者

申込期間：定員になり次第締切・定員に満たなければ当日参加可

参 加 費：無料

共　　催：Anatomage Japan 株式会社

ハンズオンセミナー3

日　　時：2026年10月30日（金）14:00～15:30（90分）

会　　場：パシフィコ横浜 会議センター 3F 311

セミナータイトル：痙縮のボツリヌス治療における投与筋の選定および同定

概　　要：本セミナーは、痙縮に対してA型ボツリヌス毒素を投与する際の治療対象筋の選び方および同定のポイントをご紹介します。セミナーでは、触診や超音波（エコー）による筋の同定方法について解説します。また､モデルを用いた筋同定の練習を通じて､実践的なテクニックを習得していただきます。なお、本セミナーはA型ボツリヌス毒素の使用資格を取得するためのセミナーではありませんのでご注意ください。

講　　師：浅井 直樹（神奈川県立保健福祉大学）
本村 和也（グラクソ・スミスクライン株式会社メディカル本部）

募集人数：30名

参加資格：学術集会参加者および上肢痙縮・下肢痙縮に対するボトックスの施注資格を有する医師

申込期間：定員になり次第締切・定員に満たなければ当日参加可

参 加 費：無料

共　　催：グラクソ・スミスクライン株式会社

プログラム

第1会場（5F　503）

会長講演　10:10 ～ 11:10

座長：角田　亘　国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室

PL　至誠一貫，まことのみんなの幸いのために ―挑み，超え，調えるリハビリテーション医学―

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**川手　信行**

特別講演 1　11:20 ～ 12:20

座長：八幡　徹太郎　金沢大学附属病院リハビリテーション科

SL1　アルツハイマー病　― 病態理解から読み解く新しい医療の可能性 ―

金沢大学医薬保健研究域脳神経内科学　**小野　賢二郎**

ランチョンセミナー 1　12:30 ～ 13:30　共催：サンバイオ株式会社

慢性期外傷性脳損傷への挑戦 ― 再生医療がもたらす新たな可能性 ―

座長：大高　洋平　藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

LS1-1　外傷性脳損傷に挑む新たな細胞治療薬バンデフィテムセル：その作用機序とエビデンス構築の歩み

岡山大学学術研究院医療開発領域脳神経外科　**金　恭平**

LS1-2　再生医療とのシナジーが期待されるニューロモデュレーション技術のトピックス

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室　**川上　途行**

文化講演 1　13:40 ～ 14:40

座長：川手　信行　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

CL1　喪失による傷つきからの回復に必要なかかわり～Safety/challenge/Hope～

昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科　**副島　賢和**

特別講演 2　14:50 ～ 15:50

投げ続けるための医療 ― スポーツ障害の予防と健康管理を再考する ―

座長：青木　隆明　岐阜大学医学部リハビリテーション科

SL2-1　投げ続けるために肘を守る～学童からプロまで野球肘の現状と課題～

國學院大學人間開発学部健康体育学科／
昭和医科大学医学部整形外科学講座／田園調布中央病院整形外科　**富田　一誠**

SL2-2　投球障害肩に対する理学療法

医療法人社団裕正会ウェルケアわきた整形外科　**千葉　慎一**

特別講演 3　16:00 ～ 17:00

座長：川手　信行　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

SL3　0からの軌跡 ― 生活を支える医療への挑・超・調

医療法人社団輝生会　**水間　正澄**

挑・超・調　企画シンポジウム 1 (CORABOSS 共同)　17:10 ～ 18:40

脳卒中歩行再建　現在・過去・未来　―先人たちが歩んだ道と新たな挑戦 ―

座長：髙橋　忠志　東京都立荏原病院リハビリテーション科
中馬　孝容　滋賀県立総合病院リハビリテーション科

SY1-1　歩行再建で私が歩んだ道
－長下肢装具後方介助歩行訓練の誕生と未来への提言－

千里リハビリテーション病院セラピー部／千里リハビリテーション病院　**吉尾　雅春**

SY1-2　脳卒中歩行再建のための歩行分析の過去・現在・未来

国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻福祉支援工学分野　**山本　澄子**

SY1-3　脳卒中歩行再建　～痙縮治療・SMD 対策の過去・現在・未来～

社会医療法人甲友会西宮協立リハビリテーション病院／
兵庫医科大学リハビリテーション医学教室　**勝谷　将史**

第2会場（5F　501）

教育講演 1　11:20 ～ 12:20

座長：小金丸　聡子　大阪医科薬科大学医学部総合医学講座・リハビリテーション医学教室

EL1　ヒトはなぜ合理的合目的に動けるのか

聖マリアンナ医科大学リハビリテーション医学講座　**佐々木　信幸**

挑・超・調　企画シンポジウム 2　13:40 ～ 15:10

サルコペニア・フレイルへの挑・超・調

座長：荒井　秀典　国立長寿医療研究センター
　　小川　純人　東京大学大学院医学系研究科老年病学

SY2-1　フレイル・サルコペニアの病態と疫学

東京大学大学院医学系研究科老年病学　**小川　純人**

SY2-2　骨格筋の可塑性から描くサルコペニア・フレイルのグランドデザイン ― 運動・栄養介入から社会実装へ ―

順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科　**町田　修一**

SY2-3　口腔機能管理とリハビリテーション医療の接続

昭和医科大学大学院歯学研究科口腔機能管理学分野　**古屋　純一**

SY2-4　サルコペニア・フレイル患者の機能回復を支える栄養管理

名古屋学芸大学管理栄養学部管理栄養学科　**宇野　千晴**

SY2-5　運動でロコモ・フレイル・サルコペニアは防げるか

国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科／介護老人保健施設マロニエ苑　**沢谷　洋平**

挑・超・調　企画シンポジウム 3（日本スティミュレーションセラピー学会共同）　15:25 ～ 16:55

脳卒中後遺症に対するスティミュレーションセラピーの挑・超・調

座長：大畑　光司　北陸大学健康未来社会実装センター
　　角田　亘　国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室

SY3-1　当院における脳卒中後上肢麻痺に対するStimulation Therapy

西広島リハビリテーション病院リハビリテーション部　**漆谷　直樹**

SY3-2　脳卒中後嚥下障害に対するStimulation Therapy：神経筋電気刺激（NMES）の可能性

九段坂病院リハビリテーション科／東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座　**小林　健太郎**

SY3-3　失語症に対するスティミュレーションセラピー

東京慈恵会医科大学西部医療センターリハビリテーション科　**小原　健輔**

SY3-4 脳卒中後歩行障害に対するスティミュレーションセラピー

金沢大学医薬保健研究域保健学系　**久保田　雅史**

挑・超・調　企画シンポジウム 4　17:10 ～ 18:40

回復期リハビリテーション医療の四半世紀の挑・超・調

座長：菅原　英和　初台リハビリテーション病院
橋本　圭司　錦海リハビリテーション病院

SY4-1 回復期リハビリテーション医療における生活再建　―医師の立場から―

西広島リハビリテーション病院／東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座　**岡本　隆嗣**

SY4-2 理学療法士の視点から

亀田リハビリテーション病院リハビリテーション室／
亀田総合病院リハビリテーション事業管理部　**松田　徹**

SY4-3 回復期リハビリテーション医療を管理する作業療法士の立場として

社会医療法人社団東京巨樹の会原宿リハビリテーション病院リハビリテーション科　**川野　将広**

SY4-4 回復期リハビリテーション病棟における言語聴覚士の役割と課題

医療法人社団輝生会初台リハビリテーション病院回復期支援部　**井上　典子**

SY4-5 回復期リハビリテーション病棟のソーシャルワーカーの立場から

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院総合サポートセンター／
昭和医科大学大学院医学研究科　**玉井　智**

第3会場（5F　502）

教育講演 2　11:20 ～ 12:20

座長：越智　光宏　広島大学病院リハビリテーション科

EL2　Hospitalization-Associated Disabilityの予防とリハビリテーション医療

順天堂大学保健医療学部　**高橋　哲也**

合同シンポジウム 1（パラスポーツ委員会）　13:40 ～ 15:10

ミラノ・コルティナ2026冬季パラスポーツ国際競技大会を支えたリハビリテーション支援の実際と未来

座長：牛尾　会　横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室
風呂谷　容平　和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座

JS1-1　ミラノコルティナ2026冬季パラスポーツ国際競技大会までの競技活動と今後

株式会社日立ソリューションズ　**新田　佳浩**

JS1-2　ミラノコルティナ2026冬季パラスポーツ国際競技大会における医務活動とパラスポーツにおける医学的支援について

白庭病院　**小林　章郎**

JS1-3　ミラノコルティナ2026冬季パラスポーツ国際競技大会におけるトレーナー活動

ハイパフォーマンススポーツセンター／国立スポーツ科学センタースポーツ医学研究部門　**笹代　純平**

JS1-4　冬季競技における機器開発の歴史　選手の発掘・育成に向けた普及活動

神奈川県総合リハビリテーションセンター神奈川リハビリテーション病院研究部　**辻村　和見**

教育講演 3　15:40 ～ 16:40

座長：松瀬　博夫　久留米大学病院リハビリテーション部

EL3　がん治療と生活の両立を支えるリハビリテーション診療の専門性

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室　**辻　哲也**

男女共同参画シンポジウム　17:10 ～ 18:40

リハビリテーション医療におけるキャリア形成と専門性の再考 ―多様な働き方と役割選択の構造に着目して―

座長：梅本　安則　札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座
杉山　みづき　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

SSY-1　医療観とキャリア志向に関するアンケート調査―中間報告―

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座／
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院　**杉山　みづき**

SSY-2　迷いながら育てられたキャリア ―地域で育ち、家族に支えられ、人を育てる側へ―

札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**梅本　安則**

SSY-3 リハビリテーション科医として幸せな人生を歩む～後期研修医の視点から～

国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室　**関根　希和子**

SSY-4 リハビリテーション科医に必要なキャリアとしての急性期・回復期・生活期

刈谷豊田総合病院リハビリテーション科　**大高　恵莉**

SSY-5 リハビリテーション科医が動物モデル基礎研究を担う意義

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学　**廣畑　俊和**

第4会場（4F　414+415）

挑・超・調　企画シンポジウム5　13:40 ～ 15:10

重症患者に対するリハビリテーション診療の挑・超・調

座長：笠井　史人　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座
佐々木　信幸　聖マリアンナ医科大学リハビリテーション医学講座

SY5-1　リハビリテーション科専門医による高度救命救急センターにおける包括的急性期脳卒中診療

千葉県総合救急災害医療センター脳神経外科リハビリテーション科　**山内　利宏**

SY5-2　意識障害患者のリハビリテーション診療

日本大学医学部リハビリテーション医学分野　**新見　昌央**

SY5-3　PICSのリハビリテーション診療　－早期離床から退院後支援までをどうつなぐか－

筑波大学附属病院リハビリテーション科　**竹原　慧**

SY5-4　超急性期から生活期までを貫くリハビリテーション診療

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座／
和歌山県立医科大学リハビリテーション・スポーツ・温泉医学研究所　**幸田　剣**

合同シンポジウム2（日本難病リハビリテーション研究会）　15:25 ～ 16:55

神経難病における在宅リハビリテーションの現在とみらい-地域実践の深化に向けて-

座長：植木　美乃　名古屋市立大学医学研究科リハビリテーション医学分野

JS2-1　ALS患者の地域在宅移行を支える取り組み
～専門医療機関から地域へ何を伝えるか～

吉野内科・神経内科医院リハビリテーション科　**工藤　早栄子**

JS2-2　「食べることは生きること」を支える 難病・訪問リハビリテーション　― ICF ×主観的次元・車窓モデル―

国際医療福祉大学那須医療センター訪問リハビリテーション／
にしなすのマロニエ訪問看護ステーション　**川俣　悠平**

JS2-3　居宅介護支援事業所へのアンケート結果からみる在宅神経難病者へのリハビリテーション治療の課題

滋賀県立総合病院リハビリテーション科　**中馬　孝容**

合同シンポジウム3（全国リハビリテーション学校協会）　17:10 ～ 18:40

セラピスト教育の新たな展開 ― 卒前・卒後の連続した教育―

座長：関　勝　公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
西田　裕介　国際医療福祉大学成田保健医療学部理学療法学科

JS3-1　卒前卒後のシームレスな教育について

昭和医科大学横浜市北部病院リハビリテーション室／
昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻　**渡部　喬之**

JS3-2 慈恵医大レジデント理学療法士・作業療法士制度の役割と期待

東京慈恵会医科大学医学部医学科リハビリテーション医学講座　**中山　恭秀**

JS3-3 コンピテンシー基盤型教育からみたセラピストの卒前教育

川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科　**木村　大輔**

JS3-4 言語聴覚士の卒前・卒後教育

国際医療福祉大学／一般社団法人日本言語聴覚士協会　**深浦　順一**

JS3-5 作業療法士養成校における総合実習前後のOSCE

国際医療福祉大学成田保健医療学部作業療法学科　**五味　幸寛**

第5会場（4F　416+417）

専門医共通講習会 1（感染対策）　14:10 ～ 15:10

座長：池田　順子　広島市立リハビリテーション病院、脳神経内科

PR1　COVID-19から学ぶ医療 ― この経験を未知のパンデミックにつなぐ ―

宇治徳洲会リハビリテーション病院リハビリテーション科　**平田　知大**

スイーツセミナー 1　15:20 ～ 16:20　共催：株式会社三輪書店

座長：中島　卓也　株式会社三輪書店

SS1　姿勢と運動から考える小児リハビリテーションの新展開
―脳性まひ児とダウン症のある子どもの生活を支える実践―

昭和医科大学病院　**真野　英寿**

専門医共通講習会 2（医療倫理）　16:30 ～ 17:30

座長：千葉　春子　かえでの杜クリニック

PR2　障害児者当事者と家族に向き合う医療倫理 ― 倫理的配慮と合理的配慮をめぐって ―

九十九里ホーム病院／旭中央病院脳神経外科　**大屋　滋**

専門医共通講習会 3（医療制度と法律）　17:40 ～ 18:40

座長：児玉　万実　御所南リハビリテーションクリニック

PR3　診療報酬から読み解く医療の現在地と未来

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座　**木下　翔司**

第6会場（4F　418）

挑・超　あすなろ講演 1　13:40 ～ 14:40

座長：辻　哲也　慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

AL1　ニューロリハビリテーションのトピックス：小児領域の展開

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室　**川上　途行**

挑・超　あすなろ講演 2　14:50 ～ 15:50

座長：永井　隆士　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

AL2　回復期における痙縮治療への挑戦―SMDの視点から考えるチーム医療―

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座／
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院　**杉山　みづき**

挑・超　あすなろ講演 3　16:00 ～ 17:00

座長：佐伯　覚　産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座

AL3　臨床×研究×教育の三位一体の活動に挑む！

産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**蜂須賀　明子**

挑・超　あすなろ講演 4　17:10 ～ 18:10

座長：緒方　徹　東京大学医学部附属病院リハビリテーション科

AL4　子どもの「できる」を広げ、領域を超えて支援するリハビリテーション医学

東京大学附属病院リハビリテーション科　**藤原　清香**

第7会場（4F　419）

関連専門職口演 1　11:20 ～ 12:20

症例検討 1（挑・調）

座長：吉岡　尚美　南昌病院リハビリテーション科

KO1-1（挑）　ベルト固定を併用したハンドヘルドダイナモメーターを用いた頭頸部屈曲筋力検査における信頼性検証

帝京科学大学医療科学部東京理学療法学科　**奥田　裕**

KO1-2（調）　OSSTラウンド対象脳卒中患者における急性期から回復期での継続した取り組み -経過と転帰-

脳神経センター大田記念病院回復期リハビリテーション課　**三浦　佳奈子**

KO1-3（挑）　嚥下造影検査にて、食道期障害を顕著に認めたパーキンソン病の１例

横浜なみきリハビリテーション病院リハビリテーション科　**岡田　泰宏**

KO1-4（調）　言語聴覚療法および直接嚥下訓練実施に関連する背景因子の検討：多施設間横断研究

広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門　**吉川　浩平**

KO1-5（挑）　先天性両側手部欠損に対して多関節型筋電義手を導入した一例

琉球大学病院医療技術部リハビリテーション部門　**渡久知　かおり**

KO1-6（挑）　ALS患者のASO併発による大腿切断術後の肺炎予防とリスク管理 ―症例報告による理学療法アプローチの再考―

健和会病院リハビリテーション科　**小平　奈緒美**

医師＆専門職　調うセミナー 1　13:40 ～ 14:40

座長：依田　光正　昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科

TS1　眼球運動障害のリハビリテーション治療

昭和医科大学横浜市北部病院リハビリテーション室／
昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻　**渡部　喬之**

医師＆専門職　調うセミナー 2　14:50 ～ 15:50

座長：本島　直之　昭和医科大学藤が丘病院

TS2　発音が気になる子どもに出会ったとき―多職種で共有したいチェックポイント―

昭和医科大学保健医療学部保健医療学教育学／
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター　**武井　良子**

医師＆専門職　調うセミナー 3　16:00 ～ 17:00

座長：笠井　史人　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

TS3　ICUにおける作業療法の役割と実践：生活期を見据えた包括的支援

昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻／
昭和医科大学病院リハビリテーションセンター　**駒場　一貴**

医師＆専門職　調うセミナー 4　17:10 ～ 18:10

座長：永井　隆士　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

TS4　サルコペニア・フレイルを “診る”・“支える”

筑波大学人間系　山田　実

第8会場（4F　411+412）

関連専門職口演 2　11:20 ～ 12:20

症例検討 2（挑・調）

座長：髙橋　秀寿　埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション科

KO2-1（調）　骨粗鬆症性椎体骨折患者のサルコペニアの有病率
岸川整形外科リハビリテーション科　**津村　悠也**

KO2-2（挑）　脊椎圧迫骨折患者における急性期のリハビリテーション治療実施頻度がADL改善および入院日数に及ぼす影響
医療法人友愛会盛岡友愛病院リハビリテーション技術部　**吉田　晃太郎**

KO2-3（挑）　腰部脊柱管狭窄症患者における前屈動作時の腰椎運動時間と術後の転倒発生との関連
鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部　**和田　崇**

KO2-4（挑）　腰椎分離すべり症術後の重度感覚過敏に対し、短下肢装具両側支柱付靴型装具により独歩を獲得した一症例
川村義肢株式会社　**河野　壮晃**

KO2-5（調）　糖尿病症例に対する鏡視下腱板縫合術後の機能回復経過とプラトー到達時期の検討
福井総合クリニックリハビリテーション課　**吉岡　準平**

KO2-6（調）　精神疾患とクラッシュ症候群による左腸腰筋炎と左前腕コンパートメント症候群を呈した若年患者への介入経験
横浜市立みなと赤十字病院リハビリテーション科部作業療法部門　**武内　斗汰**

YIA 候補演題セッション 1　13:40 ～ 14:40

（挑・超・調）

座長：池口　良輔　京都大学リハビリテーション科
蜂須賀　明子　産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座

YIA1-1（挑）　大腿骨近位部骨折患者の歩行再獲得予測におけるVitality Indexの有用性
亀田総合病院リハビリテーション科　**遠藤　実果**

YIA1-2（挑）　TKA術後超急性期におけるactive-Motion with Volitional Electrical Stimulation：a-MOVE法の効果検証
八尾市立病院リハビリテーション科　**近藤　修輔**

YIA1-3（挑・超）　腰-仙椎固定が隣接椎間へ与える影響の検討　～三次元筋骨格モデルを用いた検討～
秋田大学大学院整形外科　**長岡　佑樹**

YIA1-4（挑）　外来診療における簡易HBMIスコアの有用性
昭和医科大学リハビリテーション医学講座　**金子　由実**

YIA1-5 (挑・超・調) 変形性膝関節症における膝伸展powerとstrengthの身体機能への影響：MOSTコホート24か月追跡研究

神戸大学医学部附属病院リハビリテーション科／University of Kansas Medical Center　**吉川　遼**

YIA1-6 (挑) 回復期脊椎圧迫骨折患者の自宅退院予測における入院時位相角の有用性

仁寿会石川病院リハビリテーション科　**藤井　康光**

YIA 候補演題セッション 2　14:50 ～ 15:50

（超・挑・調）

座長：田村　吏沙　防衛医科大学校病院リハビリテーション部／外傷・熱傷・事態対処医療センター
八幡　徹太郎　金沢大学附属病院リハビリテーション科

YIA2-1 (超) 深層学習型マーカーレス姿勢推定によるペグを用いた手指巧緻性検査中の運動解析－精度検証と妥当性評価－

福井医療大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻　**酒井　涼**

YIA2-2 (挑) 当院における脊髄損傷患者に対する経肛門的洗浄療法（TAI）の導入と継続支援体制

吉備高原医療リハビリテーションセンターリハビリテーション科　**稲垣　遼**

YIA2-3 (超・調) 超急性期ベッドサイド評価を用いた脳卒中発症6か月後の経口摂取予後予測－前向きコホート研究－

日本医科大学付属病院リハビリテーション科　**大橋　美穂**

YIA2-4 (挑・超) 摂食嚥下障害リスクスコアによる退院時経口摂取可否予測

日本大学医学部リハビリテーション医学分野　**貫井　航**

YIA2-5 (超) 脳卒中患者の地上歩行での麻痺肢推進力を説明する特徴～重回帰分析と交差検証を利用した調査～

関西医科大学附属病院リハビリテーション科／関西医科大学リハビリテーション医学講座　**間野　直人**

YIA2-6 (挑) 高次脳機能障害患者の運転評価において可否に関連する行動観察項目の検討

神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科／
東京慈恵会医科大学リハビリテーション科医学講座　**小野　航暉**

YIA 候補演題セッション 3　16:00 ～ 17:00

（挑・調・超）

座長：小金丸　聡子　大阪医科薬科大学リハビリテーション医学教室
花山　耕三　川崎医科大学リハビリテーション医学

YIA3-1 (挑) 食道がん術後患者における術前口コモティブシンドロームの生命予後予測能

岡山大学病院総合リハビリテーション部　**大谷　晃一郎**

YIA3-2 (調) がん関連下肢リンパ浮腫患者における複合的治療前のQOLに影響する因子の探索的検討

大阪府立病院機構大阪国際がんセンターリハビリテーション科／森ノ宮医療大学　**藤本　侑大**

YIA3-3 (挑・超) 消化器がん手術患者における周術期のロコモティブシンドローム悪化の実態と関連因子の検討：前向き観察研究

神戸大学医学部附属病院リハビリテーション科　**吉川　遼**

YIA3-4 (挑) 骨粗鬆症高齢女性におけるアンドロイド/ガイノイド脂肪比と骨強度指標および動的移動能力指標との関連

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**立川　貴子**

YIA3-5 (調) 地域在住高齢者の24時間行動と気温の関連：線形混合効果モデルを用いた至適温度の解明

京都府立医科大学大学院リハビリテーション医学　**山中　彩**

YIA3-6 (挑) 認知機能が運動指導を受けた高齢者の運動耐用能変化に与える影響

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学　**春田　路佳**

YIA 候補演題セッション 4　17:10 ～ 18:10

(挑・超・調)

座長：青柳　陽一郎　日本医科大学大学院医学研究科リハビリテーション学分野
石川　愛子　順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

YIA4-1 (挑) 小中学生野球選手における静的背筋力と投球速度・スイング速度との関連

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻整形外科学講座　**木村　竜太**

YIA4-2 (挑) 神経筋疾患患児の運動機能評価における位相角活用の検討

神戸大学大学院医学系研究科リハビリテーション機能回復学　**佐保　航**

YIA4-3 (挑・超) 6分間歩行距離が保たれたCOPD患者に潜む低活動表現型

京都大学医学部付属病院リハビリテーション科　**持丸　浩太郎**

YIA4-4 (挑・超・調) がん患者におけるロコモティブシンドロームと除脂肪量指数の関連、男女別カットオフ値の検討

神戸大学大学院医学系研究科リハビリテーション機能回復学／
兵庫県立はりま姫路総合医療センターリハビリテーション科　**鹿島　遼河**

YIA4-5 (挑) 急性腎盂腎炎高齢患者における入院時低栄養と退院時ADLとの関連性

三重大学医学部附属病院リハビリテーション部　**森田　佳恵**

YIA4-6 (調) 血友病性関節症に対する外科的治療と生活機能との関連についての多施設・観察研究

広島大学病院リハビリテーション科　**木曽　紗也香**

第9会場（3F　312）

一般口演 1　13:40 ～ 14:30

小児疾患 1（挑・調）

座長：井口　陽子　東京都立病院機構東京都立小児総合医療センターリハビリテーション科

O1-1（挑）　股関節屈曲開排肢位を呈した重症心身障害児の治療経験
昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**真野　英寿**

O1-2（挑）　疾患修飾薬導入後の脊髄性筋萎縮症Ⅰ型児における上肢機能の左右差に着目して作業療法を実施した一例
国立療養所多磨全生園リハビリテーション科　**川畑　有紗**

O1-3（挑）　脊髄性筋萎縮症Ⅰ型の児に対して腹臥位装置製作を行った一例
東京都立北療育医療センター　**高安　薫実**

O1-4（調）　デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対する遺伝子治療導入例の機能評価-リハビリテーション診療の経験-
神戸大学医学部附属病院リハビリテーション科　**相馬　里佳**

O1-5（調）　摂食障害を契機に重篤な神経障害を来したダウン症の一例
埼玉県総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科　**中原　光三郎**

一般口演 2　14:40 ～ 15:50

評価・解析（挑・調・超）

座長：平野　哲　藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

O2-1（挑）　足関節運動テスターを用いた脳卒中片麻痺患者におけるボツリヌス療法後の立ち上がり面積値の検討
昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**河野　嘉人**

O2-2（超）　シート型体振動計を用いた夜間安静時心拍数と日中離床時間の分析-運動器疾患における縦断的観察研究-
藤田医科大学医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学／豊田地域医療センターリハビリテーション科　**太田　喜久夫**

O2-3　演題取り下げ

O2-4（挑）　3次元動作解析を用いた箸種別操作特性の評価手法に関する予備的検討
湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科／琉球大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科　**斉藤　琴子**

O2-5（挑）　マーカーレス自由歩行分析によるスマートフォン使用時の下肢バイオメカニクス評価
甲州リハビリテーション病院　**安藤　隆**

O2-6 (調) 地域在住高齢者の24時間行動組成と筋関連アウトカムとの関連：中高強度身体活動への時間配分に着目した検討

京都府立医科大学リハビリテーション科　**下村　克己**

O2-7 (挑) 関節運動同期型電気刺激を導入した動的ストレッチ手法の即時効果の検証

久留米大学リハビリテーションセンター　**緒方　悠樹**

一般口演 3　16:00 ～ 17:10

循環器疾患（挑・超・調）

座長：中村　智之　獨協医科大学リハビリテーション科学講座

O3-1 (挑) 起立時に総末梢血管抵抗が低下する健常成人における腹部圧迫の昇圧機序：サブグループ解析

信州大学医学部保健学科理学療法学専攻／
東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション部　**小宅　一彰**

O3-2 (調) 歩行訓練中に心室頻拍から除細動不応となった皮下植込み型除細動器（S-ICD）植込み後肥大型心筋症の1例

東北大学病院リハビリテーション科　**三浦　平寛**

O3-3 (挑) 脳梗塞を合併した急性心筋梗塞後重症心不全に長期在宅補助人工心臓治療を導入した1例

獨協医科大学リハビリテーション科学講座　**中村　智之**

O3-4 (超) 心臓リハビリテーションにより心不全管理良好となった低左心機能症例

医療法人雙立会碩心館病院　**大住　真敬**

O3-5 (挑) 腰椎圧迫骨折を来たし離床制限となったステージD心不全患者の回復期におけるリハビリテーション診療経験

川口きゅうぼらリハビリテーション病院リハビリテーション科　**牧田　茂**

O3-6 (挑) 急性肺動脈血栓塞栓症（PTE）よる重症ショック後の低酸素脳症に対する運動療法（EX）

医療法人社団苑田会竹の塚脳神経リハビリテーション病院　**柳　英清**

O3-7 (挑) 運動時の体位、反復動作によって動脈閉塞をきたした2例－下肢運動がもたらす動脈への様々な外力の影響－

国際医療福祉大学那須医療センターリハビリテーション科　**洞口　哲**

一般口演 4　17:20 ～ 18:30

社会貢献（挑・調）

座長：竹川　徹　千葉県立保健医療大学

O4-1 (調) リハビリテーション料届出医療機関数の推移

牧野記念病院在宅診療部　**小山　照幸**

O4-2 (挑) リハビリテーション科専門医赴任が回復期リハビリテーション病棟運営に与える影響

秋田県立循環器・脳脊髄センターリハビリテーション科　**境　梨沙**

O4-3 リハビリテーション科医の訪問診療クリニック開院で地域に与えた影響
(挑)

凪クリニック　**金丸　詩門**

O4-4 脳卒中・心臓病等総合支援センターの活動とリハビリテーション科医の新たな役割
(調)

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部　**伊部　洋子**

O4-5 重度脳幹出血後，腎細胞癌が判明した若年例の経験から回復期病院での意思決定支援とリハ医の役割を考える
(調)

亀田総合病院リハビリテーション科　**山田　淳也**

O4-6 リハビリテーション科専門医試験に対する生成AIの能力検証
(挑)

帝京大学医学部リハビリテーション医学講座　**西牧　孝晃**

O4-7 大学附属病院群を基盤とした理学療法士・作業療法士卒後臨床研修制度の設計
(挑)

昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科　**依田　光正**

第10会場（3F　313）

一般口演 5　13:40 ～ 14:40

回復期治療 1（調・超）

座長：高木　聡　　品川リハビリテーション病院リハビリテーション科

O5-1（超）　単身高齢者の複合課題に対し多機関・多職種協働で支えた在宅支援の一例（院外でのチーム医療とは？）

多摩川病院　**小谷　博史**

O5-2（調）　当院における椎体骨折患者の回復期リハビリテーションの傾向について

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院／信州大学医学部附属病院　**西村　慎也**

O5-3（調）　回復期リハビリテーション病棟脳卒中患者の入・退院時の障がい受容と抑うつ症状の推移

社会医療法人社団三草会クラーク病院リハビリテーション科　**岡本　五十雄**

O5-4（調）　回復期リハビリテーション病棟におけるICF一般セット7項目版の活用可能性：予備的な検討

医療法人喬成会花川病院リハビリテーション科　**小笠原　究**

O5-5（調）　当院回復期病棟における脳障害患者の治療成績ー在宅復帰率を中心にー

岡谷市民病院リハビリテーション科　**重松　理**

O5-6（調）　IPOS (Integrated Palliative care Outcome Scale) を用いた脳卒中回復期患者の全人的苦痛の評価

社会医療法人財団慈泉会相澤病院　**石田　ゆず**

一般口演 6　14:50 ～ 15:40

パーキンソン病（挑・調）

座長：小林　恭代　　奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座

O6-1（挑）　パーキンソン病患者の下腿筋局所酸素飽和度（TSI%）評価に向けた NIRS 計測プロトコールの提案

兵庫県立リハビリテーション西播磨病院リハビリテーション科／兵庫県立リハビリテーション西播磨病院脳神経内科　**丸本　浩平**

O6-2（調）　進行期パーキンソン病に対してデバイス補助療法を行った症例

和泉市立総合医療センター　**村上　沙織**

O6-3（挑）　Hoehn-Yahr 重症度分類５の進行性核上性麻痺；多職種連携リハビリテーション治療により自宅退院した症例

医療法人社団苑田会竹の塚脳神経リハビリテーション病院　**柳　英清**

O6-4（挑）　Hoehn-Yahr（H-Y）重症度分類５の96歳のレビー小体型認知症（DLB）に対する運動療法（EX）

医療法人社団苑田会竹の塚脳神経リハビリテーション病院　**柳　英清**

O6-5 (挑) 静岡県中部におけるパーキンソン病のクリニカルパス―認知症の評価と抗体治療の可能性について（第４報告）

コミュニティホスピタル甲賀病院　**北村　純一**

一般口演７　16:00 ～ 17:10

加齢・老年疾患（調・挑・超）

座長：横山　絵里子　秋田県立リハビリテーション・精神医療センターリハビリテーション科

O7-1 (調) 地域在住高齢者における座位行動および身体活動の季節変動：自立支援に向けた行動特性の検討

京都府立医科大学大学院リハビリテーション医学　**木村　洋輝**

O7-2 (調) 腹圧を用いた体幹筋力評価の有用性と身体機能との関連について

金沢大学附属病院リハビリテーション科　**中積　智**

O7-3 (調) 高齢者の退院から通所リハビリテーション開始までのTUG変化量に影響を与える要因の検討

医療法人誠和会倉敷紀念病院リハビリテーション部　**伊勢　眞樹**

O7-4 (調) 高齢閉経後女性における25(OH)D不足と既存椎体骨折の関連

信州大学医学部附属病院リハビリテーション科　**吉田　悠紀**

O7-5 (挑・調) 通所介護利用者による玩具製作とこども園への贈与 ― 高齢者を「贈り手」とした世代間交流の再構築

金沢医科大学医学部リハビリテーション医学　**田邉　望**

O7-6 (調) 在宅要介護高齢者におけるWHOQOL-OLDを用いたQOL評価と身体機能との関連

葛城病院リハビリテーション科　**小西　英樹**

O7-7 (超) 高齢者に対する運動指導が12か月後の骨格筋量と身体機能に及ぼす効果と年齢による影響

医療法人横浜平成会平成横浜病院　**井上　恵津子**

一般口演８　17:20 ～ 18:30

義肢装具療法１（挑・調）

座長：大串　幹　兵庫県立リハビリテーション中央病院リハビリテーション科

O8-1 (挑) 急性期重症脳卒中患者に対する長下肢装具を用いた運動療法の運用実態調査

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座　**溝口　和杜**

O8-2 (挑) 通所リハビリテーションにおけるビデオ通信を用いた下肢装具遠隔相談への挑戦：１症例報告

株式会社COLABO　**久米　亮一**

O8-3 (挑) 全身性強皮症による指屈曲拘縮に対し皮膚障害に配慮したオーダーメイド指伸展補助装具を継続使用できた３例

東京大学附属病院リハビリテーション科／東京大学附属病院リハビリテーション部　**井口　はるひ**

O8-4 (調) 鼠経ヘルニア修復術後大腿神経麻痺に対して軟性膝装具を用いたリハビリテーション治療を施行した1例

埼玉県総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科　**堀　匠**

O8-5 (挑) 車椅子バスケットボール選手に生じた仙骨部褥瘡に対し体幹装具調整が有効であった1例

帝京大学医学部リハビリテーション医学講座　**高木　佑維**

O8-6 (調) 歩行分析に基づいたポリオ後遺症患者の長下肢装具処方の経験

関西医科大学リハビリテーション医学講座　**渡邉　莉央**

O8-7 (調) 宗教行事に伴うアナフィラキシーを契機に宗教的・社会的参加支援を再考した外国人患者の一例

千葉県千葉リハビリテーションセンターリハビリテーション科　**小久保　貴矢**

一般口演 9　13:40 ～ 14:30

脊髄損傷 1（挑・超・調）

座長：土岐　明子　大阪急性期・総合医療センターリハビリテーション科

O9-1（挑・超）　高齢外傷性脊髄損傷患者の回復期リハビリテーションにおける機能的帰結
藤田医科大学病院リハビリテーション医学講座　**東　耕平**

O9-2（超）　SCIM - Ⅳ日本語版の有用性についての検討・中間報告
杏林大学医学部リハビリテーション医学教室／村山医療センター臨床研究部　**冨田　哲也**

O9-3（挑・超・調）　SEIQoL-DWによる回復期脊髄損傷患者の主観的QOL縦断的評価―2症例の検討―
初台リハビリテーション病院　**辻野　めぐみ**

O9-4（調）　長期アンケートフォローにより把握された脊髄障害患者の死亡実態
社会医療法人愛仁会愛仁会リハビリテーション病院診療部リハビリテーション科　**松岡　美保子**

O9-5（挑）　脊椎転移による切迫麻痺病変をCT画像で検出するAIプログラムの開発
埼玉医科大学リハビリテーション科／東京大学医学部リハビリテーション科　**篠田　裕介**

一般口演 10　14:50 ～ 15:40

悪性腫瘍（調・挑・超）

座長：大森　まいこ　大井中央病院リハビリテーション科

O10-1（挑）　肺癌入院患者において院内転倒前後での活動量の変化を可視化できた1例
徳島大学病院リハビリテーション部　**佐藤　紀**

O10-2（調）　Neurological-irAEs 2症例に対するリハビリテーション治療経験
群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部　**中雄　裕美子**

O10-3（調）　前立腺癌に対して放射線内用療法を行った症例に対するリハビリテーション治療
東京科学大学リハビリテーション科　**藤原　大輔**

O10-4（調）　両側大腿骨悪性腫瘍に対する一期的手術施行例への早期運動療法の治療経験
福井大学医学部附属病院リハビリテーション科　**渡邉　裕美子**

O10-5（超）　乳癌原発の大腿骨近位部病的骨折に対して保存加療を選択し、自宅退院することができた一例
帝京大学医学部リハビリテーション医学講座　**高木　佑維**

一般口演 11　16:00 ～ 17:10

摂食嚥下障害 1（挑・超・調）

座長：小西　正訓　　中村記念病院耳鼻咽喉科

O11-1（挑）　嚥下造影検査における食道残留と胸部CTでの食道径との関連
亀田総合病院リハビリテーション科　**黒木　優佑**

O11-2（超）　同一検者が施行したVE・VF後の誤嚥性肺炎発症例の検討 -検査の安全性と推奨条件の妥当性-
武蔵ヶ丘病院リハビリテーション科／武蔵ヶ丘病院武蔵ヶ丘臨床研究センター　**千手　佑樹**

O11-3（調）　嚥下機能検査における遠隔指導の試み―指導側としての経験から―
国立研究開発法人国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部　**牧野　稜**

O11-4（挑）　動画を用いた遠隔嚥下評価における誤嚥リスク検出と評価視点の検討
慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室　**賀来　宏珀**

O11-5（挑）　脳卒中後の嚥下障害を脳病変部位と認知機能から機械学習的に関係性解析
信愛会日比野病院リハビリテーション科　**濱　聖司**

O11-6（挑）　大学病院入院患者における兵頭スコア唾液貯留項目・CONUT変法スコアと死亡の関連
昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**西田　悠**

O11-7（挑）　食物誤嚥による窒息が疑われたが検案で窒息ではないとされた症例
社会医療法人健和会健和会病院　**福村　直毅**

一般口演 12　17:20 ～ 18:30

脳血管障害 1（挑・調・超）

座長：松元　秀次　　茨城県立医療大学医科学センター

O12-1（挑・超・調）　ロボット支援訓練を併用したmodified CI療法後に通常CI療法を実施した脳幹梗塞後片麻痺の一例
兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**芝野　綾香**

O12-2（挑）　tACS/tDCSを併用した歩行ニューロモジュレーションを実施した慢性期脳卒中患者の一例
名古屋市立大学リハビリテーション医学分野　**斎藤　優汰**

O12-3（挑）　開頭血腫除去術6か月後に骨弁感染を合併した右被殻出血患者に対するリハビリテーション治療の経験
老年病研究所附属病院リハビリテーション科　**李　英姿**

O12-4（挑）　入院中の脳卒中者における活動量と身体機能の変化 ― 2症例の検討 ―
発寒リハビリテーション病院　**櫻井　雄太**

O12-5 脳卒中片麻痺患者における予測的姿勢制御の運動学的指標の有用性とMini-BESTest下位項目との関連
(挑)

目白大学保健医療学部理学療法学科／東京科学大学大学院医歯学総合研究科　大沼　亮

O12-6 脳卒中患者の皮質網様体路自動トラクトグラフィー描出：臨床応用の試み
(調)

西宮協立脳神経外科病院　小山　哲男

O12-7 1側眼瞼下垂など動脈瘤による動眼神経障害と併発する歩行障害に対するリハビリテーションの経験
(調)

湘陽かしわ台病院　小山　浩永

ハンズオンセミナー会場（3F　311）

ハンズオンセミナー 1	14:00 ～ 16:00	共催：インターリハ株式会社／キッセイコムテック株式会社

見て聞いて触れる！痙縮に対する体外圧力波治療の理論と実践

講師：髙橋　忠志　東京都立荏原病院リハビリテーション科
川手　信行　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座
松本　美由季　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

第1会場（5F　503）

教育講演 4　8:30 ～ 9:30

座長：近藤　国嗣　東京湾岸リハビリテーション病院

EL4　リハビリテーション診療におけるDX

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**大高　洋平**

特別講演 4　9:40 ～ 10:40

座長：佐浦　隆一　社会医療法人愛仁会愛仁会リハビリテーション病院

SL4　新地域医療構想と地域医療の未来－医療提供体制はどう変わるのか－

厚生労働省　**西嶋　康浩**

文化講演 2　10:50 ～ 11:50

座長：神山　一行　港北ニュータウン診療所

CL2　AIは「その人らしさ」を支えられるのか
― Deepfake Voiceを起点としたリハビリテーション支援の可能性 ―

ATLASMUSIC ENTERTAINMENT Inc.／
早稲田大学大学院人間科学研究科　**CANCEMI　GIORGIO**

ランチョンセミナー 2　12:05 ～ 13:05　共催：インターリハ株式会社

座長：新見　昌央　日本大学医学部リハビリテーション医学分野

LS2　遷延性意識障害患者のリハビリテーション医療―NASVA療護センターの役割と実績―

自動車事故対策機構・岡山療護センター　**本田　千穂**

特別講演 5　13:15 ～ 14:15

座長：梅本　安則　札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座

SL5　脊髄損傷患者に対する新しい幹細胞製剤

札幌医科大学医学部神経再生医療科　**本望　修**

特別講演 6　14:20 ～ 15:20

障害のある人の社会参加と主体性 ―全介助事例に学ぶ『ポジティブスイッチ』と生活再構築のメカニズム―

座長：齋藤　薫　川崎市社会福祉事業団れいんぼう川崎

SL6-1　1ミリも動けない絶望から「生活の経営者」へ―社会参加と主体性を実現するポジティブスイッチの入れ方

株式会社ワントゥーテン　**澤邊　芳明**

SL6-2　障害のある人の社会参加―実臨床に役立てたい運動FIM13の事例に学ぶ主体性獲得と生活マネジメントの分析―

山王リハビリ・クリニック／昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**和田　真一**

特別講演 7　15:30 ～ 16:30

座長：美津島　隆　JA共済中伊豆リハビリテーションセンター

SL7　歩行を支える知の進化 ― 脳卒中下肢装具「これまで」と「これから」―

国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻福祉支援工学分野　**山本　澄子**

特別講演 8　16:40 ～ 17:40

座長：上條　由美　昭和医科大学保健医療学部

SL8　色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン

東京慈恵会医科大学解剖学講座　**岡部　正隆**

第2会場（5F　501）

挑・超・調　企画シンポジウム6　8:30 ～ 10:00

リハビリテーション科開業の挑・超・調

座長：神山　一行　港北ニュータウン診療所
和田　真一　山王リハビリ・クリニック

SY6-1　リハビリテーション科医としての開業―私の場合―外来に特化したモデル

医療法人しらいし会アールリハビリクリニック　**白石　純一郎**

SY6-2　リハビリテーション科医が町医者を継承開業して外来・訪問・通所リハビリテーションを営む

医療法人和（なごみ）会　**沖井　明**

SY6-3　リハビリテーション科医師による居場所づくり　～医療的ケア児・重症心身障害児に向けて～

えびなファミリークリニックソラーレ　**山下　愛茜**

SY6-4　地域に根ざした外来・ 訪問・ 通所の三位一体モデルの実践： 山王リハビリ・ クリニックの取り組み

医療法人社団涓泉会山王リハビリ・クリニック診療部　**森　逸平**

挑・超・調　企画シンポジウム7　10:10 ～ 11:40

栄養とリハビリテーション治療の挑・超・調

座長：高畠　英昭　長崎大学病院リハビリテーション科
百崎　良　三重大学医学部附属病院リハビリテーション部

SY7-1　リハビリテーション効果を最大化する栄養マネジメント：医師が導く多職種連携の「調和」

公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院リハビリテーション科　**藤原　大**

SY7-2　食べない、痩せる、そんな時どうする？低栄養を乗り越える栄養介入戦略

NTT東日本関東病院栄養部　**上島　順子**

SY7-3　リハビリテーションアプローチの効果を支える栄養サポートへの挑戦

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院／
昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科　**最上谷　拓磨**

SY7-4　薬からみる栄養と身体機能回復の調和

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院薬剤部　**松崎　貴志**

ランチョンセミナー3　12:05 ～ 13:05　共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

座長：安保　雅博　東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

LS3　痙縮マネジメントを再考する ～下肢の用法・用量変更がもたらす臨床への変化～

すずかけセントラル病院リハビリテーション科　**重松　孝**

挑・超・調　企画シンポジウム 8　13:15 ～ 14:45

生成AIが開く リハビリテーション医療の挑・超・調

座長：田丸　司　　偕行会リハビリテーション病院
松田　雅弘　　順天堂大学保健医療学部理学療法学科

SY8-1　生成AIがどこまでリハビリテーション医療の現場を変えうるか―小さい意思決定から始める臨床活用―

日高リハビリテーション病院リハビリテーションセンター　**海津　陽一**

SY8-2　生成AIを活用したリハビリテーション介入支援の可能性

愛知淑徳大学健康医療科学部医療貢献学科理学療法学専攻　**澤村　彰吾**

SY8-3　生成AIはどこまで進歩するのか

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座／
千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座　**尾﨑　尚人**

SY8-4　AIによる機能回復および活動性向上予測の可能性と課題

社会医療法人北斗十勝リハビリテーションセンター　**白坂　智英**

スイーツセミナー 2　15:00 ～ 16:00　共催：CYBERDYNE 株式会社

座長：堀内　博志　　長野県厚生農業協同組合連合会鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院

SS2-1　大学病院における先端機器の幅広い活用　～保険診療から自由診療まで～

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室　**川上　途行**

SS2-2　生体信号反応式運動機能改善装置による海外展開と保険外のリハビリテーション支援

CYBERDYNE株式会社　**安永　好宏**

挑・超・調　企画シンポジウム 9　16:15 ～ 17:45

地域包括ケアシステムの挑・超・調

座長：川手　信行　　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座
菊地　尚久　　千葉県千葉リハビリテーションセンター

SY9-1　地域包括ケアは障害者・重度障害者を本当に包摂できているのか？

千葉県千葉リハビリテーションセンターリハビリテーション科　**菊地　尚久**

SY9-2　都市型地域包括ケアにおける回復期リハビリテーション病棟の役割と課題

東京湾岸リハビリテーション病院　**近藤　国嗣**

SY9-3　地域包括ケアシステムはどのように機能しているか

東京都リハビリテーション病院　**堀田　富士子**

SY9-4　高次脳機能障害に対する地域包括ケアシステム

特定非営利活動法人いきいき福祉ネットワークセンター　**駒井　由起子**

第3会場（5F　502）

挑・超・調　企画シンポジウム 10　8:30 ～ 10:00

整形外科領域のリハビリテーション医療の未来戦略への挑・超・調

座長：酒井　良忠　神戸大学医学部附属病院リハビリテーション科
林　哲生　福島県立医科大学リハビリテーション医学講座

SY10-1 脊髄損傷に対するリハビリテーション治療の未来戦略
秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科　**粕川　雄司**

SY10-2 骨粗鬆症の未来戦略と運動療法
岐阜大学医学部リハビリテーション科　**青木　隆明**

SY10-3 上肢・手指外傷の未来戦略
防衛医科大学校病院リハビリテーション部　**尼子　雅敏**

SY10-4 股関節疾患に対する未来戦略
山口大学整形外科リハビリテーション部　**坂井　孝司**

合同シンポジウム 4（日本小児リハビリテーション医学会）　10:10 ～ 11:40

生活期を生きる子どもと家族に、私たちはどう挑み、超え、調えるのか ― 次世代から考える小児リハビリテーション医療 ―

座長：小﨑　慶介　心身障害児総合医療療育センター
土岐　めぐみ　札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座

JS4-1 医療が生活期に挑む ― 重症児・医療的ケア児に対する継続的支援の最前線 ― 小児専門病院の立場から
静岡県立こども病院リハビリテーション科　**真野　浩志**

JS4-2 成長発達を超えて支える小児リハビリテーション ― 移行期医療とライフステージ支援 ―
札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**土岐　めぐみ**

JS4-3 子どもの『生活』を調える作業療法の役割 ― 学校・家庭・地域をつなぐ支援 ―
株式会社リニエR／一般社団法人日本作業療法士協会　**竹中　佐江子**

JS4-4 地域で育ち続ける子どもを支える ― 多職種連携と生活期支援モデルの実践 ―
千葉県千葉リハビリテーションセンター／昭和医科大学リハビリテーション医学講座　**杉山　智子**

挑・超・調　企画シンポジウム 11（日本 JRAT 共同）　13:15 ～ 14:45

東日本大震災から15年・災害リハビリテーション医療・支援の挑・超・調

座長：近藤　国嗣　東京湾岸リハビリテーション病院
佐浦　隆一　愛仁会リハビリテーション病院

SY11-1 東日本大震災からはじまったJRATの組織づくり概説とこれから
日本災害リハビリテーション支援協会／長崎リハビリテーション病院　**栗原　正紀**

SY11-2 熊本地震から学んだJRATの実践、そして、未来へ

山鹿温泉リハビリテーション病院／熊本JRAT　**田代　桂一**

SY11-3 毎年の猛威：豪雨・台風による地域限定型災害での地域JRAT活動

千葉県千葉リハビリテーションセンターリハビリテーション科　**菊地　尚久**

SY11-4 令和6年 能登半島地震におけるJRAT支援活動と問題点について

金沢医科大学リハビリテーション医学科　**松下　功**

スイーツセミナー 3　15:00 ～ 16:00　共催：一般社団法人地域医療未来創造ネットワーク

座長：　松本　泉　一般社団法人地域医療未来創造ネットワーク

コメンテーター：梅村　将成　医療法人社団西日本平郁会吉田クリニック／医療法人社団桂名会／医療法人社団西日本平郁会／一般社団法人地域医療未来創造ネットワーク

SS3 『セラピスト＋α』で生き抜く次世代のキャリア戦略　～自ら選ぶ多様な挑戦～

一般社団法人地域医療未来創造ネットワーク　**松本　泉**

医療法人社団綾和会駿河西病院　**三浦　貴麿**

株式会社シーユーシー　**髙野　富也**

医療法人桂名会木村病院　**酒井　謙司**

ソフィアメディ株式会社　**田中　麻奈美**

医師＆専門職　調うセミナー 5　16:40 ～ 17:40

座長：髙橋　忠志　東京都立荏原病院リハビリテーション科

TS5 脳卒中歩行再建における運動の質（movement quality）

北陸大学健康未来社会実装センター　**大畑　光司**

第4会場（4F　414+415）

教育講演 5　8:30 ～ 9:30

座長：角田　亘　国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室

EL5　上肢機能回復への挑・超―VRとロボットが拓くリハビリテーション治療の新戦略―

兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**内山　侑紀**

教育講演 6　9:40 ～ 10:40

座長：西田　佳弘　名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科

EL6　運動器腫瘍に対する機能再建とリハビリテーション戦略 ― 周術期 から生活期まで ―

奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座　**城戸　顕**

教育講演 7　10:50 ～ 11:50

座長：橋本　圭司　錦海リハビリテーション病院

EL7　高次脳機能障害者支援法がもたらす未来

一般社団法人戸田中央メディカルグループ本部リハビリテーション医療　**渡邉　修**

ランチョンセミナー 4　12:05 ～ 13:05　共催：株式会社 IFG

座長：出江　紳一　医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院

LS4　リハビリテーション診療における末梢磁気刺激

国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部　**加賀谷　斉**

教育講演 8　13:15 ～ 14:15

座長：上野　竜一　東京医科大学病院リハビリテーション科

EL8　サルコペニアだけでは語れないフレイル―栄養・姿勢・Standing SADから考える身体評価―

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座／
昭和医科大学医学部整形外科学講座　**永井　隆士**

教育講演 9　14:25 ～ 15:25

座長：尾﨑　敏文　岡山大学総合リハビリテーション部

EL9　その痛みは，なぜ続くのか
― 病態と修飾因子から考える痛みに対するリハビリテーション治療 ―

長崎大学生命医科学域（保健学系）／長崎大学大学院医歯薬学総合研究科理学療法学分野　**坂本　淳哉**

教育講演 10　15:35 ～ 16:35

座長：酒井　朋子　東京科学大学病院リハビリテーション科

EL10　嚥下・呼吸・口腔機能から考える誤嚥性肺炎予防 ―リハビリテーション医学の実践と多職種連携―

東北大学大学院医学系研究科臨床障害学分野　**海老原　覚**

教育講演 11　16:45 ～ 17:45

座長：馬庭　壯吉　島根大学医学部リハビリテーション医学講座

EL11　International Classification of Functioning, Disability and Healthをリハビリテーション診療で活用するには ― 活動を共有できる診断・評価ツールとしてどう使うか ―

北海道大学病院リハビリテーション科　**向野　雅彦**

第5会場（4F　416+417）

教育講演 12　8:30 ～ 9:30

座長：牧田　茂　川口きゅうぽらリハビリテーション病院リハビリテーション科

EL12　心不全診療を支える心臓リハビリテーション ―急性期から長期予後まで―

昭和医科大学藤が丘病院循環器内科　**礒　良崇**

教育講演 13　9:40 ～ 10:40

座長：和田　直樹　群馬大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学

EL13　脳卒中急性期のリハビリテーション治療

札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**梅本　安則**

教育講演 14　10:50 ～ 11:50

座長：緒方　徹　東京大学医学部附属病院リハビリテーション科

EL14　痙性運動障害（SMD）への包括的治療戦略

関西医科大学リハビリテーション医学講座　**長谷　公隆**

ランチョンセミナー 5　12:05 ～ 13:05　共催：株式会社 CaTe

座長：礒　良崇　昭和医科大学藤が丘病院循環器内科

LS5　今こそやろう。心不全への心臓リハビリテーション

国立循環器病研究センター循環器病リハビリテーション部心血管リハビリテーション科　**村田　誠**

教育講演 15　13:15 ～ 14:15

座長：中馬　孝容　滋賀県立総合病院リハビリテーション科

EL15　パーキンソン病はどこまで改善するのか　―エビデンスで読み解くリハビリテーション医療の最前線―

富山大学大学院総合医薬学研究科リハビリテーション医学　**服部　憲明**

教育講演 16　14:25 ～ 15:25

座長：下堂薗　恵　鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学

EL16　生活期リハビリテーション医療における治療体系化の見える化 ― 何を，どこまで，どのように行うのか ―

広島大学リハビリテーション科　**三上　幸夫**

教育講演 17　15:35 ～ 16:35

座長：羽田　康司　筑波大学医学医療系リハビリテーション科

EL17　スポーツを通じた共生（インクルーシブ）社会の実現 ― 国内の取り組みと今後の展望 ―

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室　**牛尾　会**

教育講演 18　16:45 ～ 17:45

座長：酒井　朋子　東京科学大学病院リハビリテーション科

EL18　急性期リハビリテーション医療の基本とICUでの応用
―多職種連携とリハビリテーション科医の役割―

浜松医科大学リハビリテーション医学講座　**山内　克哉**

第6会場（4F　418）

挑・超　あすなろ講演 5　8:30 ～ 9:30

嚥下機能の定量化への挑戦

座長：平岡　崇　川崎医科大学リハビリテーション医学教室

AL5-1　嚥下機能の定量化への挑戦

川崎医科大学リハビリテーション医学　**新井　伸征**

AL5-2　嚥下機能の定量化への挑戦

川崎医科大学リハビリテーション医学／川崎医科大学附属病院リハビリテーション科　**山本　五弥子**

挑・超　あすなろ講演 6　9:40 ～ 10:40

座長：藤原　俊之　順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

AL6　先進的なニューロリハビリテーション治療への挑戦

順天堂大学医学部リハビリテーション医学講座　**谷　真美**

専門医共通講習会 4（医療安全）　10:50 ～ 11:50

座長：和田　恵美子　近森リハビリテーション病院

PR4　医療における活動性向上と転倒予防

亀田総合病院リハビリテーション科　**宮越　浩一**

ランチョンセミナー 6　12:05 ～ 13:05　共催：セコム医療システム株式会社

座長：永井　隆士　昭和医科大学リハビリテーション科

LS6　リハビリテーション病院における運動器疾患治療の最前線

成城リハビリテーション病院／昭和医科大学医学部整形外科学講座　**平泉　裕**

専門医共通講習会 5（臨床研究・臨床試験）　13:15 ～ 14:15

座長：石川　愛子　順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

PR5　臨床医のための研究立ち上げと支援体制の実際 －研究をどう始めるのか－

昭和医科大学統括研究推進センター　**三邉　武彦**

専門医共通講習会 6（医療福祉制度）　14:25 ～ 15:25

座長：佐藤　恭子　医療法人社団輝生会在宅ケアセンター元浅草たいとう診療所

PR6　医療・介護・障害福祉制度をつなぐ実践 ― 現場から考える意思決定支援の実際 ―

東京通信大学人間福祉学部人間福祉学科　**井上　健朗**

挑・超　あすなろ講演 7　15:35 ～ 16:35

座長：安保　雅博　東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

AL7　「挑」の文化が限界を「超」える ―自律を促す成長の場づくりの実践―

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座　**吉田　健太郎**

挑・超　あすなろ講演 8　16:45 ～ 17:45

座長：大高　洋平　藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

AL8　意識障害のリハビリテーション治療の挑戦

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**和田　義敬**

第7会場（4F　419）

医師＆専門職　調うシンポジウム 1　8:30 ～ 10:30

摂食嚥下多職種チームは，リハビリテーション科医に何を望んでいるのか ―「指示する医師」から「ともに調える医師」へ―

座長：柴田　斉子　藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座
依田　光正　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

TSY1-1　摂食嚥下障害のリハビリテーション医療において言語聴覚士がリハビリテーション科医に求める役割

武蔵野大学人間科学部人間科学科　**畠山　恵**

TSY1-2　食べることに挑む多職種チームの中での看護師

青森敬仁会病院看護部診療サポート室　**丹藤　淳**

TSY1-3　摂食嚥下支援をともに調える　―急性期から生活期をつなぐ管理栄養士の視点―

横浜市立大学附属市民総合医療センター栄養部　**熊谷　直子**

TSY1-4　生活につながる口腔機能を支えるためにリハビリテーション科医に期待すること―歯科医師の立場から―

東京都立荏原病院歯科口腔外科摂食嚥下支援センター口腔・嚥下ケアチーム　**齋藤　真由**

医師＆専門職　調うセミナー 6　10:50 ～ 11:50

座長：松本　美由季　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

TS6　体幹深部筋の機能評価と再教育

早稲田大学スポーツ科学学術院　**金岡　恒治**

医師＆専門職　調うシンポジウム 2　13:15 ～ 15:15

少子化を追い風に変えるリハビリテーション専門職の力 ―PT・OT・ST・POの未来構想―

座長：川手　信行　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

TSY2-1　理学療法士の未来構想 －社会保障人材としての価値創造と持続可能なリハビリテーション医療の国家戦略化－

公益社団法人日本理学療法士協会　**斉藤　秀之**

TSY2-2　こども支援と認知症施策における今と未来構想～日本作業療法士協会会長の立場から～

一般社団法人日本作業療法士協会　**山本　伸一**

TSY2-3　少子化を追い風に変えるリハビリテーション専門職の力
―言語聴覚士の立場から考える未来構想―

一般社団法人日本言語聴覚士協会　**内山　量史**

TSY2-4　少子化を追い風に変える義肢装具士の力

新潟医療福祉大学リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科　**東江　由起夫**

医師＆専門職　調うセミナー 7　15:35 ～ 16:35

座長：渡部　喬之　昭和医科大学横浜市北部病院リハビリテーション室

TS7　前庭障害のリハビリテーション医療

群馬パース大学リハビリテーション学部理学療法学科／
目白大学耳科学研究所クリニック耳鼻咽喉科　**加茂　智彦**

医師＆専門職　調うセミナー 8　16:45 ～ 17:45

座長：大串　幹　兵庫県立リハビリテーション中央病院

TS8　装具を使用する脳卒中片麻痺者に対する行うべき支援とは
―装具支援格差は入院中から始まっていた―

株式会社COLABO　**久米　亮一**

第8会場（4F　411+412）

関連専門職優秀演題候補セッション1　8:30 ～ 9:30

（挑・超・調）

座長：髙橋　忠志　東京都立荏原病院リハビリテーション科
谷口　直史　山梨大学医学部付属病院リハビリテーション科

KA1-1（挑）　脳卒中後片麻痺者における歩行速度と立脚時間対称性および対称性変動性の関連
千里リハビリテーション病院　**川元　芳彦**

KA1-2（挑）　回復期初期の5日間ブレイン・マシン・インターフェース訓練により手指随意性改善とADL参加を認めた一症例
一般社団法人巨樹の会新上三川病院　**寺尾　博幸**

KA1-3（挑）　右片麻痺患者に対する段階的統合介入（手指BMI・電気刺激・TP・音楽療法）の効果
医療法人吉栄会吉栄会病院　**守本　純一**

KA1-4（挑）　脳卒中患者におけるAIを用いた運転再開可否予測に関する検討
社会医療法人北斗十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部作業療法科／社会医療法人北斗十勝リハビリテーションセンター先進リハビリテーション推進室　**荒　洋輔**

KA1-5（挑・調）　回復期脳卒中患者における歩行運動学的回復パターンの探索的分類：Gaussian mixture modelを用いた縦断研究
武蔵ヶ丘病院リハビリテーション部／武蔵ヶ丘病院武蔵ヶ丘臨床研究センター　**立石　貴樹**

KA1-6（超）　三次元動作計測装置を使用した痙縮評価の妥当性の検討
―Modified Ashworth Scaleとの比較検討―
医療法人松徳会花の丘病院リハビリテーション科　**佐々　遼馬**

関連専門職優秀演題候補セッション2　9:40 ～ 10:40

（挑・調・超）

座長：上條　義一郎　獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科
中山　恭秀　東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

KA2-1（挑）　運動失調患者の快適・最大歩行時の短下肢装具装着が歩行時間因子と下肢筋活動に与える影響-探索的症例研究-
星城大学大学院健康支援学研究科／医療法人珪山会鵜飼リハビリテーション病院リハビリテーション科　**水野　敬太**

KA2-2（挑）　脳卒中患者における非麻痺側下肢での自動車ペダル操作の運動特性：麻痺側の違いによる検討
福井総合病院診療支援部リハビリテーション課理学療法室　**小川　智生**

KA2-3（調）　脳卒中発症6か月後の趣味活動実施に関連する回復期入院時因子の検討
福島県立医科大学大学院保健科学研究科作業療法学領域／社会医療法人秀公会あづま脳神経外科病院　**玉應　寛汰**

KA2-4 脳血管障害の患者の退院時の自立歩行に関連する因子
(挑・超・調)

山の辺病院リハビリテーション科　**加登　優大**

KA2-5 トイレ動作非自立者におけるバランス能力および姿勢制御特性：Berg Balance Scaleと重心動揺計を用いた検討
(挑)

医療法人田中会武蔵ヶ丘病院リハビリテーション部　**迫口　ほのか**

KA2-6 回復期リハビリテーション病棟における脊椎圧迫骨折患者のphase angleとFIM運動利得の関連性
(調)

愛知医科大学メディカルセンターリハビリテーション室／
愛知医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**奥村　浩太**

関連専門職優秀演題候補セッション3　10:50 ～ 11:50

(挑・超)

座長：原　元彦　帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション科
松田　雅弘　順天堂大学保健医療学部

KA3-1 ノイズパレイドリアテストによる錯視定量化は心臓外科術後せん妄の独立した予測因子である
(挑)

東北大学医学系研究科臨床障害学分野　**相馬　奨太**

KA3-2 高強度インターバル運動と中強度持続運動が嗅覚認知閾値に与える影響についての検討
(挑)

静岡済生会総合病院リハビリテーション科　**勝又　泰紀**

KA3-3 食道癌に対する食道切除術施行患者の横隔膜厚は生命予後と関連する
(挑)

静岡県立総合病院リハビリテーション科　**澤井　翔太**

KA3-4 健常成人における手指の動作解析～ADL課題とSTEF課題との運動範囲の比較～
(挑)

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部／
鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程　**前田　翔吾**

KA3-5 スーパービジョン強化・1on1面談導入が教育環境認識に与える影響　～経験年数別の比較検討～
(挑・超)

矢木脳神経外科病院リハビリテーション科　**三上　翔太**

KA3-6 通所リハビリテーション利用高齢者の独居と非独居の違いがバランス機能の推移に及ぼす影響について
(超)

北福島医療センターリハビリテーション科　**菅野　凌**

一般口演13　13:15 ～ 14:15

回復期治療2(挑・超・調)

座長：大高　恵莉　刈谷豊田総合病院リハビリテーション科

O13-1 重回帰分析による退院時FIMの予測を入院1か月で更新する意義
(超)

熊本機能病院脳神経内科　**徳永　誠**

O13-2 超高齢・重度ADL低下患者における劇的機能改善の予測因子
(挑)

湘南慶育病院　**竹川　英徳**

O13-3 (超) 重回帰分析の独立変数に運動FIMと認知FIMを用いる場合とFIM小項目を用いる場合の予測精度の比較

熊本機能病院脳神経内科 **徳永 誠**

O13-4 (挑) Prediction Oneと医療者によるFIM予後予測精度の比較

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座／
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 **杉山 みづき**

O13-5 (調) 回復期リハビリテーション病棟における退院時FIMの規定因子 ―入棟時FIMと急性期入院期間の関連―

弘前記念病院リハビリテーション科 **石山 浩明**

O13-6 (調) 急性膿胸患者に対するADL低下を予防する取り組み

岡山済生会総合病院外科 **奥谷 大介**

一般口演 14　14:25 ～ 15:25

摂食嚥下障害2　症例（挑・調）

座長：高畠 英昭　長崎大学病院リハビリテーション科

O14-1 (挑) びまん性特発性骨増殖症の頚椎病変に伴う嚥下障害（Forestier病）に対する手術治療と留意点

帯広厚生病院整形外科 **忠鉢 敏弥**

O14-2 (挑) 若年頚椎固定術後患者に生じた重度嚥下障害に対する評価と介入の経験

獨協医科大学医学部リハビリテーション科学講座 **廣田 美槻**

O14-3 (調) 嚥下障害発症3年で胃瘻造設、発症6年後に封入体筋炎と診断された87歳男性例

東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科 **加藤 貴行**

O14-4 (挑) 超高齢特発性食道破裂患者のリハビリテーション経験－腸瘻離脱・歩行獲得し自宅退院となった一例

出雲市民病院リハビリテーション科 **松原 美和**

O14-5 (挑) 胃瘻へ変更後、嚥下造影検査にて嚥下障害残存するにもかかわらず摂食嚥下および歩行の自立を獲得した脳出血

医療法人社団苑田会竹の塚脳神経リハビリテーション病院 **柳 英清**

O14-6 (挑) ジストニアを呈した管楽器奏者に対し歯科的介入が奏功した一例

浜松市リハビリテーション病院歯科 **岡田 光純**

指導医講習会 1　15:35 ～ 16:35

座長：篠田 裕介　埼玉医科大学医学部リハビリテーション医学講座

SK1 リハビリテーション科領域の研修における指導医の役割と実践

国立障害者リハビリテーションセンター **芳賀 信彦**

指導医講習会 2　16:45 ～ 17:45

座長：降矢　芳子　東京女子医科大学附属足立医療センターリハビリテーション科

SK2　指導医のための臨床研究指導戦略 ― 専攻医教育の視点から ―

三重大学医学部附属病院リハビリテーション科　**百崎　良**

第9会場（3F　312）

一般口演 15　8:30 ～ 9:20

骨疾患（調・挑）

座長：福岡　奈津子　香川大学医学部整形外科学

O15-1（調）　骨軟化症に対するブロスマブ投与においてリハビリテーション科による評価が治療継続の判定に寄与した一例

東京科学大学リハビリテーション科　**宮腰　友里**

O15-2（調）　病的骨折と高Ca血症を契機に診断し、ゾレドロン酸投与後にHungry Bone Syndromeを呈した骨Paget病の1例

愛媛大学大学院医学系研究科整形外科学　**木谷　彰岐**

O15-3（調）　回復期病棟退院時における骨脆弱性骨折患者のサルコペニアの実態調査と退院時リハビリテーション指導

辻外科リハビリテーション病院リハビリテーション科　**足立　拓矢**

O15-4（調）　小児・AYA世代骨肉腫患者における化学療法関連骨密度低下の検討―HU値を用いた後ろ向き研究―

神戸大学整形外科　**竹森　俊幸**

O15-5（挑）　骨転移患者における身体活動量の実態とADL・QOLとの関連

香川大学医学部整形外科　**福岡　奈津子**

一般口演 16　9:40 ～ 10:40

栄養管理（調・挑・超）

座長：船越　政範　栃木県立リハビリテーションセンター リハビリテーション科／東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

O16-1（調）　リンパ浮腫患者の栄養状態の指標についての検討

東北大学病院リハビリテーション科　**高橋　珠緒**

O16-2（調）　回復期リハビリテーション病棟でプレガバリンによる低血糖をPIMsとしてNSTでフォローした1例

季美の森リハビリテーション病院　**片岡　大貴**

O16-3（挑）　中高齢者の未病状態における植物発酵物（FBP）摂食による主観的疲労および体調への影響

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**佐久間　香那**

O16-4（挑）　亜急性期脳卒中患者における回復期リハビリテーション病棟入院時胸部CT所見は経管栄養離脱予測因子となるか

東京湾岸リハビリテーション病院　**嵯峨濃　瑞**

O16-5（超）　AWGS2025を用いた回復期病棟リハビリテーション治療効果における骨格筋量変化の検討

藤田医科大学医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学／豊田地域医療センターリハビリテーション科　**安次嶺　栄人**

O16-6 (調) 急性期治療および減量手術後の重症肥満患者に対する継続支援
― 行動変容に着目した4症例の報告 ―

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　星　瑛里子

一般口演 17　10:50 ～ 11:50

大腿骨近位部骨折1（調・挑・超）

座長：坂井　孝司　山口大学医学部付属病院リハビリテーション部

O17-1 (調) 閉鎖病棟に入院している大腿骨頚部骨折術後患者におけるリハビリテーション治療についての調査

北海道医療センター　藤嵜　瑶子

O17-2 (超・調) 脳卒中片麻痺側に受傷した大腿骨転子部骨折のリハビリテーションに持続的受動運動装置を用いた症例

洛和会音羽リハビリテーション病院リハビリテーション科　兼松　まどか

O17-3 (挑) Fracture Liaison Service (FLS) における骨折部位別の栄養評価：大腿骨と椎体での比較検討

大曲厚生医療センター整形外科　高橋　靖博

O17-4 (調) 大腿骨近位部骨折手術後・回復期での骨吸収マーカーTRACP-5 bと骨形成マーカーP1NP

宝塚リハビリテーション病院リハビリテーション科　岡田　順

O17-5 (調) 大腿骨近位部骨折に対するFLS導入における骨密度経過や歩行能力について

新渡戸記念中野総合病院リハビリテーション科　山田　淳

O17-6 (調) Fracture Liaison Service介入下における大腿骨近位部骨折患者の対側再骨折率と機能的特徴の検討

大曲厚生医療センター整形外科　岩本　陽輔

一般口演 18　13:15 ～ 14:15

急性期治療（挑・調・超）

座長：奥谷　珠美　岡山済生会総合病院リハビリテーション科

O18-1 (挑) 右中大脳動脈梗塞のApathyに対し急性期包括的認知リハビリテーションが奏功した2例-白質線維描出の応用-

愛知医科大学神経内科／愛知学院大学心身科学研究所／きりやまクリニック　山本　正彦

O18-2 (挑) 生体腎移植症例の無症候性菌尿―心不全残存の冠動脈バイパス術後リハ治療中に発症した敗血症性ショック―

医療法人社団苑田会竹の塚脳神経リハビリテーション病院　柳　英清

O18-3 (挑) ECMO後に発症した両側フォルクマン拘縮　外科的治療と長期リハビリテーションにより機能回復を得た一例

（公財）宮城厚生協会坂総合病院リハビリテーション科　木口　らん

O18-4 肝細胞癌患者に対する肝動脈化学塞栓療法後の早期運動療法の有効性：予備的研究
(挑)
和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座　岡本　明幸

O18-5 遠隔リハビリテーションシステムを利用したPICS外来～症例シリーズ研究～
(挑・超・調)
昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　笠井　史人

O18-6 早期ST介入により小脳性失語を示唆する所見を認めた右小脳後葉出血の一例
(調)
島根大学医学部付属病院リハビリテーション部　齋藤　旭

一般口演 19　14:25 ～ 15:25

症例検討 (挑・調・超)

座長：菅　俊光　関西医科大学総合医療センターリハビリテーション科

O19-1 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）脳症に伴う高次脳機能障害に対し、リハビリテーション治療を行なった一例
(挑)
奈良県立医科大学附属病院リハビリテーション医学講座　梅山　和宏

O19-2 Flail shoulderをきたした1例のADL評価
(調)
大阪市立十三市民病院リハビリテーション科　青野　勝成

O19-3 回復期リハビリテーション病院において急性増悪を来した亜急性硬膜下血腫の一例
(超)
えいしん会岸和田リハビリテーション病院　中西　欣弥

O19-4 封入体筋炎患者に対する外来リハビリテーション治療実施期間中の病状の進行について
(調)
獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科　飯島　裕太

O19-5 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)脳症に対してリハビリテーション治療を行った2例
(挑)
仁寿会石川病院リハビリテーション科　臼井　俊揮

O19-6 血友病性足関節症　年代別にみた重症度の特徴
(挑)
東京医科大学病院リハビリテーション科　森末　菜々

一般口演 20　15:35 ～ 16:25

脊髄損傷2 (挑・超・調)

座長：松本ハーモン　聡子　北海道せき損センター整形外科

O20-1 歩行困難な外傷性不全脊髄損傷患者における歩行練習時間と歩行自立達成における用量反応関係
(挑)
藤田医科大学病院リハビリテーション部　井元　大介

O20-2 回復期算定上限後の一般病床活用による退院調整継続で在宅復帰を達成した頸髄不全損傷の一例
(挑)
JA静岡厚生連遠州病院リハビリテーション科　李　純理

O20-3 訪問リハビリテーション継続によって、歩行器歩行が可能となった胸髄損傷の一例
(挑)
滋賀医科大学脊椎・関節機能再建学講座 **入山 圭司**

O20-4 神経線維腫症1型患者の軽微外傷後頸髄症に対し術前後の段階的リハビリテーション介入を行った1例
(挑・調)
済生会川口総合病院リハビリテーション科 **中田 愛紗美**

O20-5 人工呼吸器管理下で発声と経口摂取が可能となった第4頚髄損傷の1例
(超)
医療法人社団八千代会メリィホスピタル **上田 健人**

一般口演 21　16:45 ～ 17:45

関節疾患1(挑・超・調)

座長：木村 慎二　新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科

O21-1 人工股関節全置換術後のForgotten Joint Score-12に対する膝関節変性の影響
(調)
北水会記念病院リハビリテーション科 **仲山 勉**

O21-2 変形性股関節症患者のX線下肢アライメントと歩行分析計の関係調査
(挑)
那須中央病院整形外科 **小島 正博**

O21-3 人工股関節全置換術後の機能回復に認知機能が及ぼす影響
(挑)
東京都健康長寿医療センター **正田 奈緒子**

O21-4 変形性股関節症術前患者に異なる運動療法を行った際の歩行分析計による前向き比較調査
(挑・超)
那須中央病院整形外科 **小島 正博**

O21-5 変形性股関節症患者における股関節周囲筋が脊椎アライメントに及ぼす影響
(超)
山梨大学医学部付属病院リハビリテーション科 **谷口 直史**

O21-6 人工股関節置換術後の反復性脱臼に対する術後リハビリテーション医療に骨盤帯付き長下肢装具を使用した一例
(調)
尼崎中央リハビリテーション病院 **松本 桂奈**

一般口演 22　8:30 ～ 9:20

脊髄損傷3（挑・調）

座長：難波　孝礼　吉備高原医療リハビリテーションセンターリハビリテーション科

O22-1（挑）　眼鏡装着型電動マウス導入により、デジタル機器操作能力および活動・参加が改善した高位頸髄損傷患者の一例

国立病院機構村山医療センターリハビリテーション科　**大嶋　理**

O22-2（挑）　感覚性失調を伴う中心性頸髄損傷に対し反復性経頭蓋磁気刺激と反復性末梢磁気刺激を施行した1例

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座　**知野　俊文**

O22-3（調）　横隔膜ペーシング治療と人工呼吸器の時間的使い分けにより呼吸管理を行った高位頸髄損傷の一例

神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科　**瀧澤　晃司**

O22-4（挑）　C4 AIS C頸髄損傷患者において歩行および自己導尿獲得可能性を予測した一例

聖マリアンナ医科大学リハビリテーション医学講座　**河村　惟**

O22-5（調）　HIV感染症と帯状疱疹性脳脊髄炎患者の回復期リハビリテーション

東京女子医科大学リハビリテーション科／中野共立病院リハビリテーション科　**前田　慶子**

一般口演 23　9:40 ～ 10:40

地域支援（症例）（挑・調）

座長：鮫島　光博　さめじまクリニック

O23-1（調）　広島ポストポリオ会と連携したポストポリオ症候群患者支援

広島大学リハビリテーション科　**三上　幸夫**

O23-2（挑）　両膝伸展拘縮をきたした低酸素脳症患者に対する包括的リハビリテーション

藤田医科大学七栗記念病院　**水野　志保**

O23-3（挑）　成人脊柱変形術後における殿筋強化介入の効果：長期経過を示した1症例

岡山労災病院中央リハビリテーション部　**坂口　知義**

O23-4（挑）　機能性神経障害による歩行障害再発例にポールウォーキングが有効であった1例

防衛医科大学校病院リハビリテーション部　**豊留　有希**

O23-5（挑）　家庭用足部筋電気刺激機器を用いた活動性向上への試み―3症例の報告―

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座／
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院　**杉山　みづき**

O23-6（調）　令和6年能登半島地震におけるJRAT活動参加者が感じた避難所での課題

福井大学医学部附属病院リハビリテーション科　**山口　朋子**

一般口演 24　10:50 ～ 11:50

新たな実践と多職種連携（超・調・挑）

座長：越智　文雄　愛仁会リハビリテーション病院診療部

O24-1（超）　パリオリンピックにおける競技特性に応じた医療体制の比較 ― 陸上競技と女子サッカーの現地観察 ―

愛知学院大学健康科学部健康科学科　**伊藤　倫之**

O24-2（調）　チーム医療で発見する－リハビリテーション治療中の脳卒中再発－

広島市立リハビリテーション病院脳神経内科　**池田　順子**

O24-3（挑）　大学発ベンチャー企業・医学サポート旅行「MITSUE」立ち上げの試み

奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座　**松井　元哉**

O24-4（調）　人的資本経営の視点を取り入れた、障害者雇用における職場マッチングの仕組みの設計
――Work-ADL試案――

山本産業保健衛生事務所　**山本　路華**

O24-5（超）　介護支援専門員による居宅サービス計画書作成時のリハビリテーションマネジメント記載の実態調査（第２報）

京都大原記念病院グループ居宅介護支援事業所博寿苑　**渡辺　智子**

O24-6（超）　離島地域の療法士における心肺停止時対応の理解度と短時間教育介入の有用性

国立療養所奄美和光園リハビリテーション科　**東　賢**

一般口演 25　13:15 ～ 14:15

摂食嚥下障害３　症例（挑・超・調）

座長：森田　光哉　自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター

O25-1（挑・調）　嚥下失行が疑われた患者に咀嚼を促す形態の食物で直接訓練を行い常食摂取が可能となった一例

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学／
恒心会おぐら病院リハビリテーション科　**松元　良宏**

O25-2（挑）　重度口腔期障害を呈した脳梗塞例に対し，0° 仰臥位法を用いた早期経口再開の経験

一般社団法人巨樹の会松戸リハビリテーション病院　**佐久間　善之**

O25-3（挑）　術後脳浮腫により嚥下障害を伴う延髄外側症候群様症状を呈した１例

日本大学医学部リハビリテーション医学分野　**貫井　航**

O25-4（挑）　脳梗塞での紹介だったが、咽頭癌化学放射線治療後の晩発性嚥下障害に苦慮した経験

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内科　**木倉　敏彦**

O25-5（超）　片側前頭弁蓋部梗塞によりFoix-Chavany-Marie症候群様嚥下障害を呈した１例

浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション科　**柴本　大樹**

O25-6 (挑) Palatal Augmentation Prosthesisにより咽頭および上部食道残留が改善した筋強直性ジストロフィーの1例

浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション科／
聖隷三方原病院リハビリテーション科　**川上　隆太郎**

一般口演 26　14:25 ～ 15:25

高次脳機能障害1（調・挑・超）

座長：川上　寿一　滋賀県湖北健康福祉事務所・県立リハビリテーションセンター

O26-1 (調) 左後頭葉・角回皮質下出血後の失読失書に対し，リハビリテーション診断および評価を行った高齢者の一例

昭和医科大学リハビリテーション医学講座　**井上　瑞**

O26-2 (挑・超) 左後大脳動脈領域脳梗塞後に色彩失認を含む高次脳機能障害を呈した一例

奈良県立医科大学医学部医学科　**井上　七星**

O26-3 (調) 脳損傷後の運転再開者における長期的な疾病・外傷リスク

東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科　**赤倉　奈穂実**

O26-4 (調) 運転評価外来開設後の実車評価の結果と高次脳機能検査との関係

愛仁会リハビリテーション病院診療部　**越智　文雄**

O26-5 (調) 自動車運転支援外来開設の取り組み

京都武田病院リハビリテーション科　**寺田　央**

O26-6 (挑) 地域在住高齢者の自動車運転と要介護リスクとの関連性に対する筋量・筋力の媒介的役割

福井医療大学保健医療学部リハビリテーション学科／
福井大学医学部地域医療推進講座　**中島　裕也**

一般口演 27　15:35 ～ 16:25

脊椎疾患（挑・調・超）

座長：粕川　雄司　秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科

O27-1 (挑) 不安定型骨盤骨折後に仙骨翼と第5腰椎が癒合して社会復帰できた1例

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部　**有井　大典**

O27-2 (挑・調) 高齢骨粗鬆症女性におけるDXA由来A/G比1.0の臨床的妥当性:BMI、腹囲、体脂肪率との関連

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**石渡　有沙**

O27-3 (超) 骨盤を含めた長範囲脊椎固定術後の仙腸関節の有限要素解析

埼玉県立小児医療センター整形外科　**町田　正文**

O27-4 (挑) 90歳以上の骨粗鬆症椎体骨折に対する経皮的椎体形成術（BKP）の治療成績

札幌徳洲会病院整形外科　**原田　栄志**

O27-5 腰椎前弯低下とSAD・転倒関連身体機能の関連について
(挑・調)

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座／
昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座／
昭和医科大学横浜市北部病院リハビリテーション科　永井　隆士

一般口演 28　16:45 ～ 17:45

脳血管障害2(挑・超・調)

座長：重松　孝　すずかけセントラル病院リハビリテーション科

O28-1 経頭蓋磁気刺激と視覚的フィードバックが有効であった難治性機能性運動障害の治療経験
(挑)

金沢医科大学医学部リハビリテーション医学　高橋　千晶

O28-2 脳深部刺激療法とホスレボドパ・ホスカルビドパ持続皮下注療法を併用した2例のリハビリテーション経過
(挑)

近畿大学病院リハビリテーション科　宮里　智美

O28-3 ボツリヌス療法と拡散型体外圧力波の併用治療を1年間継続した脳卒中後痙縮患者における立位バランスの変化
(挑・超)

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　根間　映寿

O28-4 BoNT-A＋rESWT併用療法を1年間継続した脳卒中後下肢痙縮患者における歩行変化
(挑)

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院　野村　花江

O28-5 脳卒中後の痙性片麻痺に対してボツリヌス毒素療法・機能的電気刺激の併用により装具なし歩行を獲得した一例
(調)

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座　山上　慧

O28-6 療法士装着型スマートグラス歩行情報提示システムを用いた歩行訓練の効果：AB法を用いた検討
(超)

京都府立医科大学大学院リハビリテーション医学　岩﨑　夕貴

第11会場（3F　314）

一般口演 29　8:30 ～ 9:20

神経難病・症例報告（挑・超）

座長：和田　彩子　慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

O29-1（挑）　仰臥位で呼吸困難が緩和された重症筋無力症の一症例
宜野湾記念病院内科・リハビリテーション科　**谷川　健祐**

O29-2（挑）　近位筋優位遺伝性運動感覚ニューロパチー患者に対する運動・生活指導の１例
陸上自衛隊教育訓練研究本部　**平田　亜希**

O29-3（挑）　重症筋無力症の症状と舌圧の推移を検討した１例
名古屋医療センター脳神経内科　**両角　佐織**

O29-4（超）　再発した機能性神経障害３例に対する運動療法再介入の経験
防衛医科大学校病院リハビリテーション部　**田村　吏沙**

O29-5（挑）　Dysferlin結合タンパク質CK2αによるAnnexin A1リン酸化を介した骨格筋細胞膜修復機構
東北大学大学院医学系研究科　**鈴木　直輝**

関連専門職口演 3　9:30 ～ 10:40

内部障害（挑・調・超）

座長：伊藤　修　東北医科薬科大学医学部リハビリテーション学

KO3-1（挑）　単回併用運動後の筋タンパク代謝関連指標の応答―健常成人男性２例による予備的検討―
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院リハビリテーション科　**左近　奈菜**

KO3-2（挑）　重症妊娠高血圧症候群患者に対して治療の原則に基づいた運動療法をおこなった一例
岩手医科大学附属病院リハビリテーション部　**小野　紋奈**

KO3-3（調）　AL心アミロイドーシス患者に対する化学療法と並行した心臓リハビリテーション介入の一例
公益財団法人済生会日本生命病院リハビリテーション室　**泉本　亮二**

KO3-4（挑・超・調）　長期Awake ECMO管理下において合併症なく離床を施行し早期自宅復帰に至った一例
日本医科大学付属病院リハビリテーション科　**吉澤　剛幸**

KO3-5（挑）　生体肝移植後における早期肝機能指標を用いた自立歩行獲得の予測
熊本大学病院医療技術部リハビリテーション部門／熊本大学病院リハビリテーション科　**児玉　了**

KO3-6（超・調）　保存期CKD教育入院におけるEMSを用いた運動療法導入支援の可能性
トヨタ記念病院リハビリテーション科　**竹谷　健吾**

KO3-7 (調) 長期間の人工呼吸器管理を要した重症膵炎患者に対する段階的リハビリテーション介入の一例

金沢医科大学病院リハビリテーションセンター　**小野塚　遼太郎**

関連専門職口演 4　10:50 ～ 11:50

脳血管障害 1（挑・超・調）

座長：杉山　みづき　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

KO4-1 (超) 生活期脳卒中者の下肢痙性運動障害に対してボツリヌス療法と物理療法を併用した一例

ミロク脳神経リハビリクリニック　**須藤　隆太郎**

KO4-2 (超) A型ボツリヌス毒素投与とAI統合・筋電応答型外骨格ロボットの活用により上肢機能改善を認めた脳卒中症例

済生会山形済生病院リハビリテーション部　**米野　詠貴**

KO4-3 (挑) 履物の違いが脳卒中患者の歩行能力に与える影響についての検討

盛岡友愛病院リハビリテーション技術部　**中島　大輔**

KO4-4 (調) 排泄関連のFIM向上に向けての取り組み　看護の視点で取り組むべきこと

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院　**池上　穂**

KO4-5 (挑) C-Millの視覚的課題機能を用いて運動失調の回復を図った脳梗塞症例

医療法人友愛会盛岡友愛病院リハビリテーション技術部　**遠藤　信**

KO4-6 (挑・調) 運転の退院後調査からみる当院の運転評価と事故との関連性

社会医療法人健和会病院回復期リハビリテーション科　**田切　美咲**

関連専門職口演 5　13:15 ～ 14:15

教育・質向上（調・挑）

座長：真野　英寿　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

KO5-1 (調) 回復期病棟における身体拘束最小化の実装：チーミングを基盤とした多職種協働の成果と課題

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院看護部／
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション科　**佐々木　仁美**

KO5-2 (調) 急性期一般病棟における入院関連機能障害の実態とADL回復パターンの検討
-病前ADLとの乖離に着目して-

福岡リハビリテーション病院リハビリテーション部　**池尻　道玄**

KO5-3 (調) リハビリテーション病院における与薬関連インシデントの実態調査

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院看護部安全管理室　**矢吹　充広**

KO5-4 (挑) 若手理学療法士に対する観察的歩行評価表を用いた歩行分析学習が歩行分析精度に与える効果の検証

医療法人珪山会鵜飼リハビリテーション病院リハビリテーション部／
星城大学大学院健康支援学研究科　**三田　琢磨**

KO5-5 (挑) 自立支援に根差したリハビリテーション医療の意義　―ベトナムにおける教育ニーズからの検証―

社会医療法人愛仁会介護老人保健施設つくもリハビリテーション科　**貞末　仁美**

KO5-6 (調) Linking a standardized Rehabilitation Codes to International Classification: A Validity Study

Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Sciences Doctoral Course　**Pratiwi　Niken**

関連専門職口演 6　14:25 ～ 15:25

医療体制と人材育成 (挑・調)

座長：田中　智香　熊本リハビリテーション病院リハビリテーション科

KO6-1 (挑) OPCAB後の反回神経麻痺に対する音声リハビリテーションの効果　―教育従事者の機能回復、職業復帰の一症例―

医療法人栄寿会天満病院リハビリテーション部／徳島大学口腔科学研究科　**佐藤　央一**

KO6-2 (挑) ベトナム国におけるリハビリテーション医療提供体制の現状と課題－3都市30機関の調査による検討－

社会医療法人愛仁会尼崎だいもつ病院リハ技術部理学療法科　**井上　知哉**

KO6-3 演題取り下げ

KO6-4 (調) 共通教育プログラム下における新人看護職員の臨床実践能力到達目標の達成状況

昭和医科大学藤が丘病院看護部　**菅野　愛**

KO6-5 (調) 人生歴活用指数 (LHUI) を用いたACP実践と 教育効果の検討

大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院リバーサイド地域医療リハビリ室　**船間　聡**

KO6-6 (調) 岩手県における二つの林野火災に伴ういわてJRAT支援の特徴と課題

いわてリハビリテーションセンター機能回復療法部理学療法科／
いわてリハビリテーションセンター診療部／いわてリハビリテーションセンター地域支援部／
岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**関　公輔**

関連専門職口演 7　15:35 ～ 16:35

症例報告 (挑・超・調)

座長：黒木　洋美　日南市立中部病院リハビリテーション科

KO7-1 (調) 回復期病棟で排尿ケアチームが活動開始し排尿が自立した高齢女性の１例

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院　**大髙　浩美**

KO7-2 (挑) Stiff-person症候群に対する理学療法の経験

松波総合病院リハビリテーション技術室　**澤田　祥汰**

KO7-3 (超) 関節リウマチ患者における５年間の身体機能の変化

医療法人財団五省会西能クリニック診療部リハビリテーション科　**竹島　海斗**

KO7-4 (挑) 生活期パーキンソン病患者に対する大振幅運動療法の効果

ミロク脳神経リハビリクリニックリハビリテーション科　**熊澤　輝也**

KO7-5 (挑) 急性期うつ病患者に対するVirtual Reality散歩と従来作業療法の効果比較

東邦大学医療センター大森病院リハビリテーション科　**林　政雄**

KO7-6 (挑) 幼少期からの装具療法－早期アライメント補正と理学療法士による積極的歩行支援は歩行能力を向上させる

ハビリテート　**奥田　拓也**

関連専門職口演 8　16:45 ～ 17:45

脳血管障害 2 (挑・調)

座長：高橋　真司　伊予病院リハビリテーション科

KO8-1 (調) 脳卒中片麻痺患者の麻痺側上肢分類に対する作業療法士の評価者間信頼性の検討

一般財団法人京都地域医療学際研究所がくさい病院回復期リハビリテーション部　**塚田　徹**

KO8-2 (調) 標準型車椅子におけるシートクッション設置が上肢機能に与える影響―フットプレート不安定性の検討―

医療法人社団行陵会京都大原記念病院リハビリテーション部　**竹内　健二**

KO8-3 (挑) 運動錯覚療法中における刺激提示手の運動有無による脳活動比較－機能的近赤外分泌法による検討－

福井総合病院リハビリテーション課作業療法室　**齋藤　麻里**

KO8-4 (挑) 脳梗塞急性期における体位変換 (head-up) 時の脳酸素飽和度と自律神経の変化

京都第一赤十字病院リハビリテーション科　**團野　祐輔**

KO8-5 (挑) 回復期脳卒中後上肢麻痺患者に対する継続的なBCI訓練による脳機能結合の変化：予備的研究

十勝リハビリテーションセンター先進リハビリテーション推進室／
十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科　**髙橋　良輔**

KO8-6 (調) 感覚性運動失調に対する弾性包帯と歩行支援ロボットの併用が有効であった生活期脳卒中患者の一例

ミロク脳神経リハビリクリニックリハビリテーション科　**小川　貴大**

ポスター会場（3F　301+302+303+304）

ポスター（一般）1　10:00 ～ 11:10

症例検討1（調・超）

座長：前野　崇　　国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部

P1-1（調）　近位指節間（PIP）関節に対する人工指関節術後1年以上経過後の機能評価と患者立脚型評価の関連

徳島市民病院リハビリテーション科　**江西　哲也**

P1-2　演題取り下げ

P1-3（調）　慢性期脳梗塞患者に経皮的迷走神経刺激を施行し上肢痙縮を評価した一例

埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科　**穴澤　徹**

P1-4（超）　ニューロ/ロボットリハビリテーションの組み合わせで予後予測を超える手指機能回復を得た視床出血の一例

名古屋市立大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野／
名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院リハビリテーション科　**松原　弘記**

P1-5（調）　アマンタジンによる尿閉が疑われた脳梗塞患者の1例

桑名病院リハビリテーション科／新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科　**山崎　遼**

P1-6（調）　妊娠中に恥骨結合離開した症例に対するリハビリテーション治療経験

福岡大学病院リハビリテーション部　**柳　志津**

P1-7（調）　COVID-19後廃用症候群のリハビリテーション中に慢性炎症性貧血を認め輸血を要した1例

京都博愛会病院　**西賀　琢真**

ポスター（一般）2　10:00 ～ 11:10

診療支援と質向上（調・挑）

座長：前田　博士　　京都地域医療学際研究所がくさい病院リハビリテーション科

P2-1（挑）　生成AIを活用した専門的プログラミング知識を要しない臨床医によるFIM予測アプリ開発

山梨リハビリテーション病院診療部　**山城　亘央**

P2-2（調）　回復期リハビリテーション病棟におけるRSウイルス感染症のクラスターの経験

和歌山生協病院リハビリテーション科　**土生　晃之**

P2-3（調）　当院における下肢装具処方の現況調査

新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科　**竹田　盛悟**

P2-4（調）　回復期リハビリテーション病棟における運動器症例の排泄自立の阻害因子の検討

医療法人陽心会大道中央病院リハビリテーション科　**松村　紗音**

P2-5（挑）　当院回復期病棟における排尿自立支援の取り組み　加算を開始して

中野共立病院　**中川　美和**

P2-6 (調) NDBオープンデータを用いた疾患別リハビリテーション利用量の地域差の検討
富山大学附属病院リハビリテーション科 **堀川　英世**

P2-7 (調) 脳卒中後非自立歩行患者の歩行自立獲得を目指す介入：スコーピングレビュー
西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部／畿央大学大学院健康科学研究科 **生野　公貴**

ポスター（一般）3　10:00 ～ 11:00

その他（調・超・挑）

座長：松浦　大輔　藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

P3-1 (調) 模擬筋電義手の教育への応用
関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科 **福井　信佳**

P3-2 (超・調) 慢性期脳梗塞モデルマウスに対する牛車腎気丸の投与による改善効果
東都三軒茶屋リハビリテーション病院／東京医科大学医学総合研究所免疫制御研究部門 **吉富　明利**

P3-3 (調) リハビリテーション医療における漢方薬研究とADL評価指標：医中誌Webを用いた日本語原著論文の検討
恵寿総合病院リハビリテーション科 **小竹　源紀**

P3-4 (調) 熟練者によるハンドリングが立ち上がり動作に及ぼす影響― 健常者を対象としたパイロット研究 ―
杏林大学保健学部リハビリテーション学科 **藤澤　祐基**

P3-5 (調) NEOを用いた哺乳評価 - 第三報 -
千葉北総病院リハビリテーション科 **和田　勇治**

P3-6 (挑) 健常成人を対象にした慣性センサーユニットを用いた歩数計測アプリケーションで推定した歩数の妥当性　―速度と歩行パターンの違いによる検討―
藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 **日川　康旭**

ポスター（一般）4　10:00 ～ 10:50

高次脳機能障害（調・挑・超）

座長：浅野　由美　千葉県千葉リハビリテーションセンター診療部第一リハビリテーション科

P4-1 (挑) 右下肢弛緩性麻痺、高次脳機能障害に左大腿切断を合併した重複障害のリハビリテーションの経験
奈良県総合リハビリテーションセンター整形外科 **林　雅弘**

P4-2 (挑・超・調) 経皮的迷走神経刺激により観察された慢性期脳梗塞患者の情動的側面
埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科 **三澤　壮之**

P4-3 (調) 情動失禁（病的泣き笑い）を発症したと考えられた、脳底動脈閉塞症の1例
関西リハビリテーション病院 **三好　正浩**

P4-4 聴覚的リズム同調能力に関連する要因：時間間隔1秒以下のリズム同調における検討
(挑・調)
医療法人社団メドビュー東京ちどり病院　小日向　直美

P4-5 Percheron動脈閉塞による両側中脳・視床梗塞2症例のリハビリテーション治療経験
(調)
埼玉県立循環器・呼吸器病センターリハビリテーション部リハビリテーション科／
獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション部リハビリテーション科　根岸　青葉

関連専門職ポスター5　10:00～11:20

悪性腫瘍（調・挑・超）

座長：垣田　真里　京都府立医科大学リハビリテーション医学

KP5-1 当院の乳がん術後患者の退院時の上肢機能障害の現状について
(調)
金沢医科大学病院リハビリテーションセンター　伊藤　秀敏

KP5-2 食道がん根治的手術後急性期における嚥下動態の運動学的解析
(超)
金沢大学医薬保健学総合研究科リハビリテーション研究分野　MOTIWAER AIMAIER

KP5-3 がん患者における退院時日常生活動作に影響を与える因子の検討
(調)
金沢医科大学病院リハビリテーションセンター　前田　勝也

KP5-4 男性肺がん患者における喫煙状況と術前身体機能および骨格筋量との関連
(調)
社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーションセンター　山田　誠

KP5-5 免疫チェックポイント阻害薬誘発性腸炎を発症したCOPD併存症例の歩行獲得への介入を経験した一例
(超)
昭和医科大学江東豊洲病院リハビリテーション室　河原　瞳子

KP5-6 重症疾患サバイバーに対する長期包括的リハビリテーション支援の経験
(調)
昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法専攻　齋藤　甚

KP5-7 免疫チェックポイント阻害薬関連心筋障害が疑われた心不全を呈した症例に対する作業療法の経過報告
(挑)
埼玉医科大学病院リハビリテーションセンター　安達　史織

KP5-8 カナダ作業遂行測定（COPM）を用いた作業療法によりADL・QOLが改善した急性前骨髄球性白血病の一症例
(挑)
埼玉医科大学病院リハビリテーションセンター　渡辺　敦也

関連専門職ポスター7　10:00～11:30

高次脳機能障害1（挑・超・調）

座長：井上　瑞　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

KP7-1 国内8例目のダニ媒介脳炎に対するリハビリテーション・高次脳機能評価に基づき社会復帰に至った一症例
(超)
市立札幌病院リハビリテーション課　鈴木　美智

KP7-2 (挑) 高次脳機能障害患者における退院時復職率と退院後の就労継続の比較

社会医療法人健和会健和会病院回復期リハビリテーション科　**宮内　真衣菜**

KP7-3 (調) 東京都区東北部保健医療圏における高次脳機能障害支援に関する大規模調査
～支援マップの構築～

東京都区東北部地域リハビリテーション支援センター／
社会医療法人社団医善会いずみ記念病院　**成田　恵美**

KP7-4 (挑) 退院時NIHSS=0でも注意障害は残存する：35例中57%に異常を認めた後ろ向き観察研究

東京保健医療専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科　**青木　啓一郎**

KP7-5 (挑) 日本版Weekly Calendar Planning Activity-10の有用性について

広島市立リハビリテーション病院　**松原　麻子**

KP7-6 (挑) 心肺蘇生後低酸素脳症患者に対する離床介入が情動・機能改善に及ぼした一症例

医療法人社団大和会多摩川病院　**沼田　真也**

KP7-7 (挑) くも膜下出血後に遂行機能障害を呈した症例へのGMTに基づく介入～遂行機能の改善と趣味活動への寄与～

すずかけヘルスケアホスピタル　**櫻井　日菜子**

KP7-8 (超) Mixed Reality課題による注意機能改善と退院後の経過に着目した一症例

医療法人篤友会関西リハビリテーション病院　**石津　友美**

KP7-9 (調) 重度運動失調と認知情動障害を呈した小脳出血に対する多角的なリハビリテーション戦略が有効であった1症例

聖隷浜松病院リハビリテーション部　**髙見　亮哉**

関連専門職ポスター8　10:00～11:20

予後・転帰予測（調・挑・超）

座長：兼子　尚久　東京有隣会有隣病院リハビリテーション科

KP8-1 (調) 日本人健常成人を対象とした歩幅予測式の構築と既存欧米式との精度比較

北海道科学大学保健医療学専攻／中村記念病院リハビリテーション部理学療法科　**岡本　渓良**

KP8-2 (超) 回復期リハビリテーション病棟におけるAI歩行予測モデルの経時的データ更新の意義検証

社会医療法人北斗十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部　**小野　圭介**

KP8-3 (挑) 経験則に依存しないADL変更判断の標準化―入院患者に対する自立可否判定スケール作成の試み―

社会医療法人有隣会東大阪病院リハビリテーション部　**椎木　洋子**

KP8-4 (調) 回復期におけるクモ膜下出血後の脳室拡大の傾向と予後に関する調査

公益社団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院　**山﨑　紳也**

KP8-5 (調) 急性期一般病棟入院患者における入退院時の栄養状態の変化とHAD発生率および転帰先の関連

福岡リハビリテーション病院リハビリテーション部　中島　来夢

KP8-6 (調) 当院における廃用症候群患者の退院先に関連する因子の検討

昭和医科大学藤ヶ丘病院リハビリテーション室　吉田　俊裕

KP8-7 (超) 急性期一般病棟入院患者における入院経路と入院関連機能障害（HAD）発生率および自宅復帰率との関連

福岡リハビリテーション病院リハビリテーション部　谷本　愛衣

KP8-8 (挑) 回復期リハビリテーション病棟患者における入院時位相角と活動係数の変化量が退院時運動FIMに及ぼす影響

淀川平成病院リハビリテーション部　瀬尾　諒

関連専門職ポスター 10　10:00 ～ 11:30

摂食嚥下障害（調・挑・超）

座長：飯田　守　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

KP10-1 (調) 呼吸・嚥下・活動性の包括的な再評価により経口摂取獲得に至った気管切開高齢患者の一例

昭和医科大学藤が丘病院／昭和医科大学大学院保健医療学研究科　佐藤　真樹子

KP10-2 (調) 病棟と在宅の環境差に伴う盲点と課題：退院直後に完全側臥位の維持が困難となったワレンベルグ症候群の一例

医療法人社団淡路平成会平成病院リハビリテーション科　森下　寿人

KP10-3 (調) 当院の栄養サポートチームにおける言語聴覚士の介入について

防衛医科大学校病院リハビリテーション部　加藤　茉由子

KP10-4 (調) 摂食条件表を用いた地域連携

藤枝市立総合病院　橋ケ谷　捺月

KP10-5 (調) リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算におけるBarthel Index下位項目とADL利得の関連

昭和医科大学大学院保健医療学研究科／帝京科学大学医療科学部東京理学療法学科　安田　耕平

KP10-6 (調) 急性期病院におけるVFを用いた摂食嚥下の意思決定支援―呼吸器内科患者の退院時食形態の検討―

磐田市立総合病院リハビリテーション技術科　高橋　智暉

KP10-7 (挑・超・調) 入院した高齢者における栄養失調と運動機能・嚥下機能との関連

山の辺病院リハビリテーション科　森本　裕也

KP10-8 (調) 栄養不良の被虐待児に対する、経口摂食が確立するまでの包括的アプローチ

東京都立小児総合医療センター　佐々木　愛

KP10-9 (挑・超) 開口障害を呈した破傷風患者に対する超音波療法の試み-シングルケースデザインによる探索的研究-

順天堂大学医学部附属静岡病院リハビリテーション科　**海東　健太**

関連専門職ポスター 11　10:00 ～ 11:20

脳血管障害 2 (挑・調・超)

座長：唐渡　弘起　社会医療法人ささき会藍の都脳神経外科病院リハビリテーション部

KP11-1 (挑) 脳卒中重度上肢麻痺の回復関連因子の調査 -エビデンスに基づく上肢介入症例を対象とした後ろ向き観察研究-

社会医療法人北斗十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部作業療法科／
社会医療法人北斗十勝リハビリテーションセンター先進リハビリテーション推進室　**荒　洋輔**

KP11-2 (挑) 左中大脳動脈領域梗塞後に運動機能と実用的上肢機能の乖離を呈した一例

湘南東部総合病院診療技術部リハビリテーション科　**天神　舞雪**

KP11-3 (超) 外来リハビリテーション継続により上肢機能改善を認めた慢性期脳梗塞の一例

医療法人社団緑友会らいおんハート内科整形外科リハビリクリニック
リハビリテーション科　**齋藤　郁也**

KP11-4 (挑) 脳血管障害患者に対する上肢自主訓練立案時に作業療法士が重視する観点－計量テキスト分析を用いて－

がくさい病院回復期リハビリテーション部　**礒島　大志**

KP11-5 (調) つまみ動作における静的・動的な力調整能力の測定機器の開発

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科　**中村　充雄**

KP11-6 (挑・調) リーチ過程における上肢の複合的協調関係　－関節角度・距離変化の時間的側面に着目した検討－

医療法人札幌円山整形外科病院リハビリテーション科／
札幌医科大学大学院保健医療研究科理学療法学・作業療法学専攻　**澤田　峻樹**

KP11-7 (調) UDカトラリーに装着する自助具の研究開発

神奈川リハビリテーション病院研究部　**松田　健太**

KP11-8 (挑) Transfer Packageに基づく課題調整を伴う修正CI療法で上肢機能と職業動作が改善した回復期脳卒中患者の一例

汐田総合病院リハビリテーション課／国際医療福祉大学大学院　**矢沢　由希恵**

関連専門職ポスター 13　10:00 ～ 11:10

医療安全とリスク管理 (挑・調・超)

座長：加藤　泉　流山中央病院附属泉リハビリテーション病院リハビリテーション科

KP13-1 (調) リハビリテーション専門職による看護師向けの転倒転落予防講義前後のアンケート調査

旭川医科大学病院リハビリテーション部　**島貫　克哉**

KP13-2 (調) 入院患者における重症転倒転落事故の特徴と予測可能性の検討

株式会社麻生飯塚病院リハビリテーション部　**川満　謙太**

KP13-3 (挑) 当病棟における２年間の転倒転落発生インシデントの要因比較

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院看護部　**古賀　宣彦**

KP13-4 (超・調) 多面的医療安全対策によるスキン-テア発生率低減：統括リハ部門７施設６年間の後方視的検討

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター　**狩野　俊樹**

KP13-5 (挑) ECMO導入下で両踵部褥瘡を呈した急性心不全・脳梗塞例に対する褥瘡対策チーム連携下の下肢装具療法

東京都立大久保病院リハビリテーション科／東京都立大久保病院看護部　**秋山　和海**

KP13-6 (挑) 拘縮で長期化した疼痛に対して初動負荷トレーニングにて再学習による介入を試み難渋した症例を経験して

ひがしリハビリテーション・整形クリニックリハビリテーション部　**三宅　良太**

KP13-7 (挑) 回復期リハビリ病棟患者におけるCOVID-19クラスター発生時の身体機能の変化について

医療法人社団帰厚堂南昌病院　**小向　邦明**

関連専門職ポスター 15　10:00 ～ 11:20

教育（挑・調・超）

座長：仲保　徹　昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科

KP15-1 (調) 急性期リハビリテーション診療を「調える」―プロトコル４年間の整備・運用とスタッフへの教育的効果―

健和会大手町病院急性期リハビリテーション科　**廣畑　一平**

KP15-2 (挑) 理学療法・作業療法学生における職業的アイデンティティと自己調整学習方略の学年間差および関連

常葉大学保健医療学部作業療法学科　**鹿田　将隆**

KP15-3 (挑) 障害のある医師のキャリア継続に学ぶ「合理的配慮」の知識とスキル

夢をつなぐDoctor'sNetwork　**依田　晶男**

KP15-4 (調) Evidence-Based Practice Confidence Scale日本語版（EPIC-J）の開発と尺度特性の検討

昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻／
横浜市立大学大学院データサイエンス学部ヘルスデータサイエンス専攻　**廣瀬　卓哉**

KP15-5 (調) 療法士領域に適合した症例型・技能型Mini-CEXの構築

一般社団法人巨樹の会新上三川病院リハビリテーション科　**村中　大樹**

KP15-6 (挑) リハビリテーション医療文書における生成AI活用の有効性と安全性：作成時間短縮とハルシネーション評価

蘇生会総合病院リハビリテーション科　**中野　雅司**

KP15-7 馬介在療法（ホースセラピー）に関わる人材育成の試み
（挑・超）

昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法専攻／うまJAM／
昭和医科大学江東豊洲病院リハビリテーション室　**千賀　浩太郎**

KP15-8 腰痛を有するリハビリテーション専門職における仕事支障感と心理社会的因子の縦断的検討
（調）

一宮西病院リハビリテーション技術部　**田中　和彦**

関連専門職ポスター 1　14:00 ～ 15:10

呼吸器疾患（挑・超・調）

座長：小川　美歌　浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション科

KP1-1 長期臥床を呈した重度間質性肺炎患者に対し，High-Flow Nasal Cannula使用下にて運動療法を実施した一例
（挑）

帝京大学医学部附属病院リハビリテーション部　**森尾　眞衣**

KP1-2 肺切除術後症例における入院中の中～高強度身体活動と機能回復との関連
（超）

琉球大学病院医療技術部リハビリテーション部門　**呉屋　太造**

KP1-3 呼吸困難関連恐怖を呈する急性期呼吸器疾患患者への作業療法カウンセリング―5症例の後方視的検討―
（挑）

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター　**久保寺　宏太**

KP1-4 リバーシュノーケルにおける呼吸理学療法標準手技を用いた「呼吸法」と「リラクセーション」の実践報告
（挑）

North Life Design ラボ　**山口　翔平**

KP1-5 移動式HFNCを活用した段階的離床によりADL維持拡大が可能であったCOPD増悪に伴う心不全増悪例
（挑）

京都桂病院リハビリテーションセンター　**安岡　成美**

KP1-6 呼吸機能低下を伴うALS患者の胃瘻造設周術期理学療法の1例
（調）

山口県立総合医療センターリハビリテーション部　**足立　佳那恵**

KP1-7 未破裂巨大血栓化椎骨動脈瘤術後に中枢性低換気症候群を呈し、横隔膜ペーシング治療を行った1症例
（挑）

社会医療法人禎心会札幌禎心会病院リハビリテーション部理学療法科　**北村　五郎**

関連専門職ポスター 2　14:00 ～ 15:20

脳血管障害1（挑・超・調）

座長：鈴木　幹次郎　早稲田クリニックリハビリテーション科

KP2-1 高機能で歩行変動性が高値であった片麻痺者に対するHigh-Intensity Speed-Based Treadmill Trainingの効果
（挑）

汐田総合病院／国際医療福祉大学大学院　**國友　公太**

KP2-2 (超) 重症脳卒中片麻痺患者における非麻痺側先行2動作前型歩行が下肢筋活動パターンに及ぼす影響

SBC東京医療大学健康科学部理学療法学科　荒井　沙織

KP2-3 (挑) 片麻痺患者に対するBWSTTの即時効果と経時的変化の時系列解析 ―筋活動パターンとの関連に着目して―

岡波総合病院リハビリテーション科　萩岡　裕柾

KP2-4 (超) 片麻痺患者の歩行練習における平行支持台と平行棒での比較
―麻痺側ステップ動作時の筋活動―

松山リハビリテーション病院リハビリテーション部　山本　純平

KP2-5 (調) 脳卒中片麻痺者の歩行パターン別に線形判別分析を用いて立脚期前半の運動学・力学的戦略の違いを検証

中伊豆リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科　大須賀　智

KP2-6 (挑) 急性期脳卒中片麻痺患者の初回歩行開始時における姿勢制御の特徴―体節偏位に着目して―

昭和医科大学江東豊洲病院リハビリテーション室／
昭和医科大学大学院保健医療学研究科　大良　茉由佳

KP2-7 (挑) 表面筋電図を用いた慢性期脳卒中患者における歩行時下腿筋活動の左右差の可視化

株式会社STROKELAB　山川　翔太郎

KP2-8 (挑) 深層学習人工知能(AI)を用いた脳卒中後片麻痺患者の歩行非対称性評価

社会医療法人柏葉会札幌柏葉会病院　釜石　誠也

関連専門職ポスター3　14:00～15:00

骨関節疾患1(挑・超・調)

座長：請川　大　埼玉県総合リハビリテーションセンター整形外科

KP3-1 (挑) 変形性膝関節症患者における転倒歴の有無による膝関節内側負荷の違い

にしお整形外科医院リハビリテーション科　瀬黒　淳矢

KP3-2 (挑) 半膜様筋の種々の等尺性収縮が内側側副靭帯深層線維の組織硬度および内側半月板の偏移に及ぼす影響

福岡山王病院リハビリテーション科／
福岡国際医療福祉大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻理学療法学分野　日髙　愛子

KP3-3 (挑・超) 変形性膝関節症に対する安定靴とインソールの複合的介入が疼痛、身体機能、QOLに及ぼす影響：予備的研究

富貴ノ台整形外科　坂口　佳祐

KP3-4 (挑) 人工膝関節全置換術(TKA)施行側と咬合支持の左右差との関連　―全身連動と代償機構の視点から―

磐田市立総合病院リハビリテーション技術科　岩下　草太

KP3-5 (調) 前十字靱帯損傷患者における相対的筋量および筋質と臨床症状との関連

広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門　**居倉　怜央**

KP3-6 (挑) 体重移動型ロボット制御システムは,人工膝関節全置換術後早期のバランス能力低下を抑制する可能性がある

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部　**川口　翼**

関連専門職ポスター 4　14:00 ～ 15:00

循環器疾患 (挑・調)

座長：小澤　里恵　亀田総合病院リハビリテーション科

KP4-1 (挑) 急性心不全患者における論理ゲート実装型CDSSの導入が理学療法士および作業療法士の心理的負担に与える影響

社会医療法人財団池友会新行橋病院リハビリテーション科　**八重倉　政和**

KP4-2 (調) 弁膜症手術症例における術前骨格筋CT画像と術後自立歩行遅延の関係

中部徳洲会病院リハビリテーション科　**濵田　夏海**

KP4-3 (挑) 高齢心不全患者における退院時6分間歩行距離の予後予測能
― 身体機能および認知機能評価との比較 ―

東京警察病院リハビリテーション科　**水越　大輔**

KP4-4 (挑) 弁膜症手術症例における術前腸腰筋指数と術後在院日数の関連

中部徳洲会病院リハビリテーション科　**名嘉眞　朝就**

KP4-5 (挑) PCI合併症後の急性心筋梗塞患者が理学療法中に急変した1例

昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科／
昭和医科大学横浜市北部病院リハビリテーション室　**鶴田　かおり**

KP4-6 (挑・調) 難治性心不全患者に対してACPを行い外泊が実現した1例

新小文字病院医療技術部リハビリテーション科　**高野　琴子**

関連専門職ポスター 6　14:00 ～ 15:20

評価とトレーニング (挑・超・調)

座長：君浦　隆ノ介　社会医療法人ささき会藍の都脳神経外科病院リハビリテーション部

KP6-1 (挑) 健常成人において腹部圧迫は起立に伴う総末梢血管抵抗の減少を軽減できる

東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション部／
信州大学大学院医学系研究科保健学専攻　**長谷川　眞優**

KP6-2 (挑) 免荷歩行による自律神経応答の変化

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター　**神戸　奏人**

KP6-3 (挑) 膝伸展筋力の測定が握力計で代替可能か　～HHDとの相関を検証～

徳島平成病院リハビリテーション部　**濵西　俊樹**

KP6-4 (挑・超) Figure 8 Hop Testに関連する骨格筋の反応時間および機械的収縮特性の検討

広島大学病院スポーツ医科学センター　**鳥山　実**

KP6-5 (調) 外部触覚情報による頚部振動誘発性身体偏位の抑制：その場足踏みと歩行での検証

広島大学大学院医系科学研究科　**高橋　真**

KP6-6 (挑) 空気圧式体幹トレーニング装置の空気圧センサーを用いた大腿四頭筋力評価：HHDとの妥当性検証

弘前記念病院リハビリテーション科　**横濵　帆夏**

KP6-7 (挑) 空気圧式体幹トレーニング装置によるエクササイズの即時効果：等尺性筋力との関連とクロスオーバー検証

弘前記念病院リハビリテーション科　**前田　貴哉**

KP6-8 (挑) 母指小指対立運動における指腹対立と指尖対立の運動特性の比較

ウェルケアわきた整形外科／
昭和医科大学大学院保健医療学研究科アスレティックトレーニング分野博士前期課程　**髙橋　勇吏**

関連専門職ポスター９　14:00 ～ 15:10

生活期医療・支援１（挑・調・超）

座長：森　逸平　山王リハビリ・クリニックリハビリテーション科

KP9-1 (挑) 地域リハビリテーション活動支援事業の同行訪問利用者の国際生活機能分類を活用した分析

医療法人社団永生会法人本部連携・地域支援事業部／
一般社団法人八王子市リハビリテーション専門職協会　**豊田　平介**

KP9-2 (挑・調) 通いの場づくりの事例報告～病院と地域包括支援センターとの協働～

すずかけヘルスケアホスピタルリハビリテーション技術部地域事業課　**清水　優香**

KP9-3 (挑・調) 地域災害医療検討部会への参画を通じた災害リハビリテーション支援体制構築に向けた取り組み

昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科／
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院　**保坂　雄太郎**

KP9-4 (挑) インドネシアのリハビリテーション院開設における教育～生活動作やその人らしい予後を見据えて～

緑成会病院リハビリテーション部　**齋藤　翔**

KP9-5 (調) 当院における地域包括医療病棟開設による効果の検証

国立病院機構佐賀病院リハビリテーション科　**高橋　亜由美**

KP9-6 (挑) オンライン遠隔評価における動画圧縮の影響：クラウド録画を用いたAI骨格検知精度の検証

関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科／かえる合同会社　**有末　伊織**

KP9-7 (挑・超) Mixed Realityトレーニングが地域在住高齢者の認知機能および日常生活に与える影響について

関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科　**橋本　晋吾**

関連専門職ポスター 12　14:00 ～ 15:20

栄養・サルコペニア・フレイル（挑・超・調）

座長：鹿沼　優　世田谷記念病院リハビリテーション科

KP12-1（挑）超低カロリー食と高頻度起立着席運動で筋量・筋力増加を得たサルコペニア高度肥満脳梗塞症例の一例

浅木病院リハビリテーション科　**吉田　実那美**

KP12-2（挑）外来骨粗鬆症患者における脊柱骨盤アライメント（PI-LL）と骨吸収マーカーの関連

昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科／昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院　**石原　剛**

KP12-3（挑）体成分分析装置の測定結果からみた回復期病棟患者のリスク評価と初期栄養対応

淀川平成病院リハビリテーション部　**小川　けい**

KP12-4（超）高齢2型糖尿病患者におけるPhase Angleと形態的・機能的筋質との関連

医療法人医仁会さくら総合病院リハビリテーションセンター／星城大学大学院健康支援学研究科　**平岡　大輝**

KP12-5（超）骨粗鬆症外来患者における転倒評価と関連因子の検討

昭和医科大学横浜市北部病院リハビリテーション室　**安藤　貴紀**

KP12-6（調）身体的フレイルと社会的フレイルの重複が要支援高齢者の低栄養リスクに及ぼす影響

神戸大学大学院医学系研究科健康科学専攻／株式会社スイッチオンサービス　**藤本　太郎**

KP12-7（調）地域包括ケア病棟における骨粗鬆症治療導入支援と退院後自己注射継続に向けた取り組み

東京都立大久保病院リハビリテーション科　**栗田　慎也**

KP12-8（挑・超・調）失語症と低栄養を合併した回復期脳梗塞患者に対して栄養サポートを行い身体機能の向上が得られた一症例

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター　**中島　彩希**

関連専門職ポスター 14　14:00 ～ 15:00

義肢装具療法（調・挑）

座長：和田　太　順天堂大学医学部附属練馬病院リハビリテーション科

KP14-1（調）短下肢装具の再作成により歩行能力および歩容，自己効力感が向上した慢性期脳卒中患者の一例

アクラス中央病院　**伊達　亜崇加**

KP14-2（調）運動療法と装具再選定が歩行能力改善に寄与した慢性期右片麻痺の一症例

医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院セラピー部　**山本　宏樹**

KP14-3（挑）感覚障害を呈した脳卒中片麻痺患者への足底刺激インソール介入が動的安定性と対称性に及ぼす影響

社会医療法人畿内会岡波総合病院　**澤井　啓耀**

KP14-4 (挑・調) 装具に関する院内教育活動強化後の装具外来利用実態と課題―装具フォローアップの体制構築に向けて―

初台リハビリテーション病院回復期支援部　**柳澤　雄大**

KP14-5 (挑) 脳卒中重度片麻痺者における長下肢装具歩行の経時的分析　- 短下肢装具へ移行するために必要な項目の推察 -

平塚市民病院リハビリテーション技術科　**小澤　翔吾**

KP14-6 (調) 補装具の修理対購入比の二軸分析 - 2024年度福祉行政報告例より

国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部　**白銀　暁**

関連専門職ポスター 16　14:00 ～ 15:00

ボツリヌス療法（挑・調）

座長：穂坂　雅之　ほさか窪田クリニック

KP16-1 (挑) 回復期脳卒中患者に対して足関節底屈筋群へボツリヌス毒素療法を施行し歩行能力の改善を認めた症例

医療法人財団医道会十条武田リハビリテーション病院リハビリテーション科　**村上　朋未**

KP16-2 (調) ボツリヌス毒素療法(BoNT)後の外来リハビリテーション医療により歩容の改善を認めた一症例

社会医療法人生長会阪南市民病院リハビリテーション室　**髙橋　良太**

KP16-3 (挑) 小児上肢痙縮に対するボトックス治療の経過

金沢医科大学病院リハビリテーションセンター　**山本　真一郎**

KP16-4 (挑) 高輝度を呈する下肢痙縮筋に対するボツリヌス療法と継続的リハビリテーションが介助負担軽減に寄与した一例

株式会社麻生飯塚病院リハビリテーション部／げん気クリニック　**寺下　晶一朗**

KP16-5 (挑) ボツリヌス治療とリハビリテーションの併用により粗大運動機能が改善された痙直型脳性麻痺の1例

えびなファミリークリニックソラーレ　**吉永　光豊**

KP16-6 (調) 右被殻出血後の重度片麻痺の痙縮症例に対して、医療・介護・自費リハビリ施設の特性を活かした介入報告

社会医療法人生長会阪南市民病院リハビリテーション室　**橋本　篤**

関連専門職ポスター 17　14:00 ～ 15:10

ロボット（挑・超・調）

座長：山口　智史　京都大学大学院医学研究科先端理学療法学講座

KP17-1 (挑・超・調) 自己免疫性脊髄炎後の下肢不全麻痺症例に対する歩行学習支援ロボットによる歩行練習の効果

さくら会病院リハビリテーション科　**片山　雄登**

KP17-2 (挑) 閉鎖損傷による重度上肢運動麻痺・不使用を呈した症例―装着型サイボーグ併用の経過と使用行動の変化―

京都民医連中央病院リハビリテーション療法課　湊　長彬

KP17-3 (挑) パーキンソン病患者への腰部装着型ロボット介入による起立動作の変化：単一症例研究

一般財団法人多摩緑成会緑成会病院　長田　雅嗣

KP17-4 (挑) 医療用BMIを用いた手指運動訓練後に上肢機能改善とともに歩行能力の変化を認めた脳卒中患者の一症例

医療法人社団メドビュー東京ちどり病院リハビリテーション科　大角　僚玖

KP17-5 (調) 脊椎腫瘍による不全対麻痺に対する歩行支援ロボットの使用経験

がくさい病院回復期リハビリテーション部リハビリテーション科　丸山　真穂

KP17-6 (挑) ロボット支援歩行練習により歩行能力の改善を認めた重度両下肢麻痺の一症例

尼崎中央リハビリテーション病院リハビリテーション部門　宮本　将一郎

KP17-7 (超) 能動型展伸・屈伸回転運動装置の当院での傾向と今後の運用への期待

五日市記念病院リハビリテーション部　宍戸　健一郎

関連専門職ポスター 18　14:00 ～ 14:40

小児疾患（挑・調）

座長：小林　由紀子　慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

KP18-1 (挑) TLSHKAFOによる立位経験後に姿勢制御の変化を認めた１例

三浦医工デザイン株式会社　兼松　葉月

KP18-2 (挑) 脳性麻痺児に対する小児用ロボティックウェアを用いた歩行練習前後の粗大運動機能および歩行機能の変化

長野県立こども病院リハビリテーション技術科／
長野県立こども病院生命科学研究センター　西川　良太

KP18-3 (調) 小児リハビリテーション満足度調査自由記載の機能的分析

医療法人社団淡路平成会東浦平成病院リハビリテーション科　中村　純子

KP18-4 (調) 下肢麻痺を呈する小児３症例におけるカーボン製三層式後方支柱付き短下肢装具と従来型短下肢装具の比較検討

株式会社澤村義肢製作所　津村　渉

ハンズオンセミナー会場（3F　311）

ハンズオンセミナー 2	第1回：10:00 ～ 11:00 第2回：11:00 ～ 12:00	共催：Anatomage Japan 株式会社

3Dで触れて学ぶ、次世代の解剖生理学を体験！
― 3Dデジタル解剖プラットフォーム「アナトマージテーブル」ハンズオン ―

講師：髙木　領　昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科
林　友則　昭和医科大学富士吉田教育部形態機能学

ハンズオンセミナー 3	14:00 ～ 15:30	共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

痙縮のボツリヌス治療における投与筋の選定および同定

講師：浅井 直樹　神奈川県立保健福祉大学
本村 和也　グラクソ・スミスクライン株式会社メディカル本部

第1会場（5F　503）

特別講演 9　8:30 ～ 9:30

座長：加藤　真介　徳島赤十字ひのみね医療療育センター

SL9　在宅で育つ医療的ケア児の挑・超・調 ― 家族とともにあゆむ医療と支援 ―

医療法人社団のびたあのねコドモくりにっく／
国立成育医療研究センター総合診療部在宅診療科　**中村　知夫**

特別講演 10　9:40 ～ 10:40

座長：和田　真一　医療法人社団涓泉会山王リハビリ・クリニック

SL10　月を目指す医学、地域を支える医学　～宇宙医学運用と生活期リハビリテーション医療が拓く未来～

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構有人宇宙技術部門
宇宙飛行士運用技術ユニット宇宙飛行士健康管理グループ　**速水　聰**

特別講演 11　10:50 ～ 11:50

座長：安保　雅博　東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

SL11　次世代につなぐリハビリテーション医学教育－学びの体系化と人材教育－

京都府立医科大学　**久保　俊一**

ランチョンセミナー 7　12:00 ～ 13:00　共催：帝人ファーマ株式会社

座長：藤原　俊之　順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

LS7　痙縮治療におけるボツリヌス療法の意義と投与筋の優先順位　～活動と運動学習の観点から～

聖マリアンナ医科大学リハビリテーション医学講座　**佐々木　信幸**

文化講演 3　13:10 ～ 14:10

座長：神山　一行　港北ニュータウン診療所

CL3　AI・ロボット時代における『生きる力』の支え方 ― リハビリテーション医学とヒューニング学が拓く未来 ―

iU情報経営イノベーション専門職大学　**伊藤　麻衣子**

鼎談者：川手　信行　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

ジョイント講演　14:20 ～ 15:30

至誠一貫のその先へ ―第10回秋から第64回春，そして第11回秋へ―

座長：川手　信行　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

JL-1　至誠一貫のその先へ ―第64回学術集会で伝えたいこと―

弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座　**津田　英一**

JL-2　Welcome to the New Era of Rehabilitation Medicine リハビリテーション医学の新時代へようこそ

国際医療福祉大学医学部リハビリテーション医学教室　**角田　亘**

第2会場（5F　501）

挑・超・調　企画シンポジウム 12　8:30 ～ 10:00

保険外リハビリテーションの挑・超・調　　医師とセラピストの関係

座長：川手　信行　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座
　　斉藤　秀之　公益社団法人日本理学療法士協会

SY12-1　医師と理学療法士の協働による攻めの予防医療と予防・健康増進

公益社団法人日本理学療法士協会　**佐々木　嘉光**

SY12-2　療法士における保険外リハビリテーションとの連携―医療機関の理学療法士の立場から―

東京都立荏原病院リハビリテーション科　**髙橋　忠志**

SY12-3　大学病院内の自由診療におけるリハビリテーション科医師の役割

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室　**川上　途行**

SY12-4　大学附属自由診療クリニックにおける臨床の実際

藤田医科大学東京先端医療研究センター先端リハビリテーションセンター／
藤田医科大学医学部医学科　**森　直樹**

挑・超・調　企画シンポジウム 13　10:20 ～ 11:50

パラスポーツの挑・超・調

座長：中村　健　横浜市立大学医学部リハビリテーション科学
　　藤原　清香　東京大学附属病院リハビリテーション科

SY13-1　多様な生き方を支えるパラスポーツ医学
～次世代の育成とライフイベントの両立～

国立成育医療研究センターリハビリテーション科／
東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座　**上出　杏里**

SY13-2　理学療法士という資格をいかしたパラスポーツへの関わり方

医療法人秀志会たなか整形外科クリニックリハビリテーション科／
一般社団法人埼玉ライオンズライオンズWSCトレーナー　**永盛　雅子**

SY13-3　パラスポーツ参加と継続の難しさと必要な支援について～パラスポーツを日常的に行う一当事者の立場から～

東葛病院リハビリテーション科　**高安　薫実**

SY13-4　転んでも大丈夫・スポーツ用義肢製作の35年

公益財団法人鉄道弘済会義肢装具サポートセンター　**臼井　二美男**

ランチョンセミナー 8　12:00 ～ 13:00　共催：FrontAct 株式会社

手指リハビリテーション支援ロボットが拓く上肢治療の新時代

座長：平野　哲　藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

LS8-1

兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**内山　侑紀**

LS8-2

大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション学類　**竹林　崇**

合同シンポジウム 5（社会保険委員会）　13:10 ～ 14:40

令和8年度リハビリテーション診療報酬改定の影響を読み解く ― 急性期・回復期・生活期の視点から ―

座長：緒方　直史　帝京大学リハビリテーション科
近藤　国嗣　東京湾岸リハビリテーション病院

JS5-1 令和8年度リハビリテーション診療報酬改定の影響に関する会員アンケート調査の結果報告（速報）

大阪医科薬科大学病院リハビリテーション科　**土井　あかね**

JS5-2 急性期リハビリテーション診療への影響―特に急性期加算について

筑波大学医学医療系リハビリテーション医学　**羽田　康司**

JS5-3 回復期リハビリテーション病棟への影響　特に実績指数の見直しについて

広島市立リハビリテーション病院／広島市身体障害者更生相談所　**杉原　勝宣**

JS5-4 生活期リハビリテーション医療への影響 ― 外来診療の位置づけと介護保険との連携 ―

東京湾岸リハビリテーション病院　**近藤　国嗣**

JS5-5 リハビリテーション診療報酬を適正に算定するための基本原則

成城リハビリテーション病院　**平泉　裕**

挑・超・調　企画シンポジウム 14　8:30 ～ 10:00

痙縮治療への挑・超・調

座長：勝谷　将史　社会医療法人甲友会西宮協立リハビリテーション病院
山口　智史　京都大学大学院医学研究科先端理学療法学講座

SY14-1　ボツリヌス治療、装具療法によるSMDの治療戦略

社会医療法人甲友会西宮協立リハビリテーション病院／兵庫医科大学リハビリテーション医学講座　**勝谷　将史**

SY14-2　痙縮治療への挑・超・調　－ボツリヌス療法とITB療法による新たな治療戦略－

たけばやし脳神経クリニック　**竹林　成典**

SY14-3　拡散型体外圧力波と痙縮

西大和リハビリテーション病院リハビリテーション部／畿央大学大学院健康科学研究科　**中村　潤二**

SY14-4　痙縮治療において作業療法士が果たす役割

社会医療法人ささき会藍の都脳神経外科病院リハビリテーション部／脳卒中特化型デイ彩りの都デイサービスセンター城東永田　**唐渡　弘起**

合同シンポジウム 6（日本集中治療医学会）　10:20 ～ 11:50

重症患者のリハビリテーションガイドライン J-Recip 2027

座長：新見　昌央　日本大学医学部リハビリテーション医学分野
笠井　史人　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

JS6-1　日本版重症患者リハビリテーション診療ガイドライン J-ReCIP 2027　理学療法士の立場から

広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門　**對東　俊介**

JS6-2　重症患者のリハビリテーションガイドライン J-ReCIP 2027　言語聴覚士の立場から

東京大学医学部附属病院リハビリテーション部／摂食嚥下センター　**兼岡　麻子**

JS6-3　集中治療領域における認知機能障害へのリハビリテーション治療：J-ReCIP 2027が示す新たな指針

神戸リハビリテーション病院リハビリテーション部　**児島　範明**

JS6-4　重症患者リハビリテーション医療における家族参加の意義と展望

筑波大学医学医療系看護理工学・ウィメンズヘルス看護学　**松石　雄二朗**

JS6-5　集中治療医の立場から見たJ-ReCIP 2027

東京大学医学部附属病院救急・集中治療科　**中野　秀比古**

合同シンポジウム 7（日本生活期リハビリテーション医学会）　13:10 ～ 14:40

生活期の視点が変える，急性期・回復期リハビリテーション医療・支援 ―生活期がつなぐ急性期・回復期―

座長：立川　浩　悠遊健康村病院病院長
補永　薫　順天堂大学医学部附属浦安病院リハビリテーション科

JS7-1　その初期介入は「未来のQOL」に届いているか

昭和医科大学江東豊洲病院集中治療科／昭和医科大学病院リハビリテーション科　**森　麻衣子**

JS7-2　機能回復から社会復帰への架け橋―回復期は，生活につなげられているか―

初台リハビリテーション病院　**菅原　英和**

JS7-3　生活期リハビリテーション医療が求める各期の連携と主体性を軸とした一貫した支援の在り方

山王リハビリ・クリニック／昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**和田　真一**

JS7-4　地域を元気にするリハビリテーション医学～音楽・アート・農～

医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院リハビリテーション科／
一般社団法人ヒカリプロジェクト代表理事／
慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室非常勤講師　**新藤　悠子**

JS7-5　装具難民を生み出さないための急性期・回復期リハビリテーションの役割

社会医療法人甲友会西宮協立リハビリテーション病院／
兵庫医科大学リハビリテーション医学講座　**勝谷　将史**

第4会場（4F　414+415）

教育講演 19　8:30 ～ 9:30

座長：柴田　斉子　藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

EL19　脊髄損傷の摂食嚥下障害　― 病態理解から新規治療戦略まで ―

川崎医科大学リハビリテーション医学／川崎医科大学附属病院リハビリテーション科　**山本　五弥子**

教育講演 20　9:40 ～ 10:40

座長：緒方　直史　帝京大学リハビリテーション科

EL20　運動器疾患に対するリハビリテーション医療―機能回復から活動・参加へ―

熊本大学生命科学研究部整形外科・リハビリテーション科　**宮本　健史**

教育講演 21　10:50 ～ 11:50

座長：三上　靖夫　明治国際医療大学

EL21　疾患ではなく疾患患者を良くするリハビリテーション治療

岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**西村　行秀**

ランチョンセミナー 9　12:00 ～ 13:00　共催：株式会社ツムラ

座長：津田　英一　弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

LS9　COPD患者の呼吸リハビリテーションにおける漢方の役割～補中益気湯の併用効果～

広島大学大学院医系科学研究科生体機能解析制御科学　**濱田　泰伸**

教育講演 22　13:10 ～ 14:10

座長：長谷　公隆　関西医科大学リハビリテーション医学講座

EL22　SpasticityとSpastic movement disorderの病態と治療戦略

京都大学大学院医学研究科先端理学療法学講座　**山口　智史**

教育講演 23　14:20 ～ 15:20

座長：井口　はるひ　東京大学医学部附属病院リハビリテーション科・摂食嚥下センター

EL23　その嚥下障害，手術で変わるのか ― 摂食嚥下障害に対する外科的治療の適応判断 ―

昭和医科大学江東豊洲病院耳鼻咽喉科　**木村　百合香**

第5会場（4F　416+417）

教育講演 24　8:30 ～ 9:30

座長：浅見　豊子　医療法人安寿会田中病院

EL24　歩行障害に対する新しいリハビリテーション治療

順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学　**藤原　俊之**

教育講演 25　9:40 ～ 10:40

座長：鈴木　朱美　山形大学医学部整形外科学講座

EL25　ケガを防ぎ、最高のパフォーマンスへ ― サッカー現場におけるメディカルサポートの実践 ―

順天堂大学保健医療学部理学療法学科／順天堂大学医学部整形外科／
日本サッカー協会医学委員会　**池田　浩**

教育講演 26　10:50 ～ 11:50

座長：杉山　みづき　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

EL26　救命から機能回復へ！その先にあるもの ― 脳卒中カテーテル治療とリハビリテーション医療の連携 ―

東京慈恵会医科大学内科学講座脳神経内科　**作田　健一**

ランチョンセミナー 10　12:00 ～ 13:00　共催：ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社／タック株式会社

座長：近藤　国嗣　東京湾岸リハビリテーション病院

LS10-1　AIが拓くリハビリテーション予後予測の新たな可能性

社会医療法人北斗十勝リハビリテーションセンター　**白坂　智英**

LS10-2　リハビリテーション医療の支援システムとAI予測分析ツールの掛け合わせがもたらす現場変革

社会医療法人北斗十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部　**小野　圭介**

教育講演 27　13:10 ～ 14:10

座長：小口　和代　刈谷豊田総合病院リハビリテーション科

EL27　誤嚥を防ぐ、その先へ ― “最後まで食べる幸せ” を支える摂食嚥下リハビリテーション ―

東京大学附属病院リハビリテーション科／東京大学附属病院摂食嚥下センター　**井口　はるひ**

教育講演 28　14:20 ～ 15:20

座長：御子神　由紀子　行徳総合病院リハビリ科

EL28　地域格差に挑み、医療の距離を超える ～遠隔リハビリテーションの現在と未来～

旭川医科大学病院リハビリテーション科　**大田　哲生**

第6会場（4F　418）

挑・超　あすなろ講演 9　8:30 ～ 9:30

座長：下堂薗　恵　鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学

AL9　臨床の気づきから始まった挑戦：リハビリテーション診療におけるカルニチン欠乏症

鹿児島大学　**上野　真**

挑・超　あすなろ講演 10　9:40 ～ 10:40

座長：城戸　顕　奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座

AL10　急性期・回復期から生活期へ：持続可能な医療・介護システムの実現に向けて

奈良県立医科大学在宅リハビリテーション医療システム学講座　**石田　由佳子**

専門医共通講習会 7（医療経済（保険医療等））　10:50 ～ 11:50

座長：根本　明宜　鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院

PR7　医療の価値と医療経済 ― 限られた資源をどう活かすか ―

昭和医科大学大学院保健医療学研究科／昭和医科大学経営戦略企画室　**的場　匡亮**

専門医共通講習会 8（両立支援）　13:10 ～ 14:10

座長：黒木　洋美　日南市立中部病院

PR8　治療と仕事の両立支援の実際と医療の役割

中国労災病院治療就労両立支援センター　**豊田　章宏**

専門医共通講習会 9（地域医療）　14:20 ～ 15:20

座長：室谷　ゆかり　アルペンリハビリテーション病院

PR9　地域医療における生活期医療の課題と可能性 ― 外来・在宅・多職種連携の実践から

医療法人社団涓泉会山王リハビリ・クリニック　**前島　早代**

第7会場（4F　419）

医師＆専門職　調うセミナー 9　8:30 ～ 9:30

座長：仲保　徹　　昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科

TS9　PT・OT・STのキャリアは “創る時代” へ～経営視点で、組織を動かし、未来を切り拓くセラピストへ ～

株式会社スプラウト　**京藤　聡弘**

医師＆専門職　調うセミナー 10　9:40 ～ 10:40

座長：杉山　みづき　　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

TS10　最先端テクノロジーを脳卒中後上肢運動障害のリハビリテーション医療にいかに活かすのか

大阪公立大学医学部リハビリテーション学科　**竹林　崇**

医師＆専門職　調うセミナー 11　10:50 ～ 11:50

座長：正岡　智和　　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

TS11　障害歩行の特徴分析：追尾型歩行計測システムによって得た各種歩行障害データの集約解析

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
運動機能系障害研究部神経筋機能障害研究室　**河島　則天**

医師＆専門職　調うセミナー 12　13:10 ～ 14:10

座長：武原　格　　東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科

TS12　生活行為としての自動車運転を支える　～運転再開・運転中断・地域移動支援～

東京工科大学医療保健学部リハビリテーション学科作業療法学専攻　**澤田　辰徳**

医師＆専門職　調うセミナー 13　14:20 ～ 15:20

座長：杉山　智子　　千葉県千葉リハビリテーションセンター、昭和医科大学リハビリテーション医学講座

TS13　子どもの発達を～感覚～から紐解く

北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻　**高橋　香代子**

一般口演 30　8:30 ～ 9:30

脳血管障害3（挑・調・超）

座長：植木　美乃　名古屋市立大学医学研究科リハビリテーション医学分野

O30-1（挑・超）　足関節運動テスターによる脳卒中筋痙縮のボツリヌス療法・拡散型体外圧力波治療後の評価
昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**後藤　大輔**

O30-2（挑・超）　脳卒中後下肢痙縮における神経性伸張応答指標の探索：受動背屈抵抗波形の面積積分解析による検討
昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**松本　美由季**

O30-3（挑）　痙縮に対するA型ボツリヌス毒素注射治療におけるせん断波エラストグラフィの有用性について
埼玉医科大学病院リハビリテーション科　**前田　恭子**

O30-4（調）　ボツリヌス治療歴のある重症心身障害者に対し拡散型衝撃波治療を行った1例
東京科学大学病院リハビリテーション科　**秋山　真奈見**

O30-5（調）　ボツリヌス療法における療法士の関与が施注時間の短縮と患者満足度に与える影響
社会医療法人ささき会藍の都脳神経外科病院リハビリテーション部　**君浦　隆ノ介**

O30-6（調）　四肢痙縮に対するボツリヌス治療自験例の社会参加状況と治療継続に関する検討
千葉県千葉リハビリテーションセンター脳神経内科　**赤荻　英理**

一般口演 31　9:40 ～ 10:40

回復期治療3（調・挑・超）

座長：衛藤　誠二　鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学

O31-1（挑・調）　精神科病院を母体とする回復期リハビリテーション病棟における自殺企図症例の転帰とFIM効率
稲城台病院　**日野　健**

O31-2（超）　回復期リハビリテーション病棟における認知的容易性の高い歩行自立予測モデルの開発
袋井市立聖隷袋井市民病院リハビリテーション科　**望月　亮**

O31-3（調）　回復期脳卒中患者の病型別機能予後・機能回復の検討　～穂の国脳卒中医療連携研究会データを用いた分析～
第二成田記念病院リハビリテーション室　**後藤　健一**

O31-4（調）　大腿骨近位部骨折患者における排尿管理自立の予測因子　－回復期病棟入院患者を対象とした後ろ向き研究－
八家病院リハビリテーション科　**勝盛　拳人**

O31-5 回復期リハビリテーション病棟における多剤併用とFIM利得の関連
(調)

間中記念御幸の浜リハビリテーション病院リハビリテーション科　**田崎　友理佳**

O31-6 運動FIMの比例回復は疾患を超えて共通か
(調)

医療法人丸岡医院　**横山　友貴**

一般口演 32　10:50 ～ 11:50

上肢・手指障害 (挑・調)

座長：古澤　義人　順天堂東京江東高齢者医療センターリハビリテーション科

O32-1 片側上肢筋萎縮症例における運動ニューロン疾患の鑑別　―僧帽筋針筋電図が有用であった3例―
(挑・調)

和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション医学講座／
葛城病院リハビリテーション科　**齊藤　大二郎**

O32-2 胸骨正中切開術後の腕神経叢障害に対し外来リハビリテーション治療を実施した2例
(調)

竹田綜合病院リハビリテーション科　**嶋﨑　睦**

O32-3 演題取り下げ

O32-4 Lateral band snapping syndromeの治療経験
(挑)

JA山口厚生連小郡第一総合病院　**坂本　相哲**

O32-5 脳卒中患者の非麻痺側上肢の筋トーヌス
(挑)

多根脳神経リハビリテーション病院脳神経内科　**奥田　佳延**

O32-6 ジストニア周術期における表面筋電図を用いた評価
(挑)

徳島大学大学院医歯薬学研究部脳神経外科　**松田　拓**

合同シンポジウム 8 (RJN 合同シンポジウム)　13:10 ～ 14:40

くらしを紡ぐリハビリテーション科医師の役割

座長：永房　鉄之　佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科
　　中波　暁　市立砺波総合病院

JS8-1 回復期退院後のリハビリテーション医療

タムス浦安病院／千葉大学病院浦安リハビリテーション教育センター　**永田　智子**

JS8-2 ～家族と考える高齢者の暮らし～地域をつなぐ医師ネットワークの構築～

豊岡整形外科、(社福)悠々会　**豊岡　志保**

JS8-3 急性期病院で考えるくらし

滋賀県立総合病院リハビリテーション科　**尾﨑　麻希**

JS8-4 小児のリハビリテーション医療（専門施設からみる小児のくらし）

南部地域療育センターそよ風　平岩　文子

JS8-5 在宅療養支援診療所のリハビリテーション診療―移行期から維持期へという考え方―

ないとうクリニック　瀬田　拓

第9会場（3F　312）

一般口演 33　8:30 ～ 9:30

関節疾患2（挑・調）

座長：五十嵐　有紀子　聖稜リハビリテーション病院

O33-1（挑・調）人工膝関節全置換術後の持続的他動運動（CPM）の回数の検討
関西労災病院リハビリテーション科　**小山　毅**

O33-2（挑）変形性膝関節症患者の歩行時の足関節アライメント矯正のためのインソール型動的アシスト装置開発の報告
岐阜大学医学部整形外科　**高津　吉史**

O33-3（挑）発症早期内側半月板後根断裂症例の荷重管理に影響する骨髄内病変関連因子
東北海道病院　**甲斐　秀顯**

O33-4 演題取り下げ

O33-5（挑）内側半月板後根断裂単独pullout修復術後の早期荷重を行うための工夫　Dual-Tunnel Pullout
岡山大学病院リハビリテーション科／岡山大学病院整形外科　**長谷川　翼**

O33-6（挑）膝蓋骨亜脱臼を伴う変形性膝関節症に対しインプラント外旋設置で人工膝関節置換術を施行した1例
男山病院整形外科　**南　瑠那**

一般口演 34　9:40 ～ 10:40

義肢装具療法2（超・調）

座長：西嶋　一智　宮城県リハビリテーション支援センター

O34-1（超）補装具費支給制度における借受けの実装課題：全国更生相談所アンケート調査
東京大学附属病院リハビリテーション科　**藤原　清香**

O34-2（調）片麻痺者における下肢装具製作後フォローアップの課題
―電話追跡調査85例からみた生活期支援の限界―
株式会社COLABO　**久米　亮一**

O34-3（調）回復期病院退院後の装具フォローに関する実態調査―生活期における管理体制の課題―
千里リハビリテーション病院セラピー部　**増田　知子**

O34-4（超）長下肢装具での歩行練習により反張膝を改善した慢性期脳卒中患者の1例
さいたま岩槻病院リハビリテーション科　**鈴木　英二**

O34-5（調）補装具費支給制度の課題と展望　～オーストラリア NDIS の補装具支援との比較から～
一般社団法人アシスティブテクノロジーリサーチセンター／
佐賀大学大学院医学系研究科／東京大学附属病院リハビリテーション科　**徳井　亜加根**

O34-6 当院における大腿義足患者の特徴と障害福祉での支給継続について
(超)
広島市立リハビリテーション病院　**杉原　勝宣**

一般口演 35　10:50 ～ 11:50

小児疾患 2 (調・挑)

座長：村上　里奈　金城学院大学

O35-1 脳性麻痺患者におけるVirtual reality 技術を用いた体性認知協調療法の即時効果と短期成績についての検討
(挑)
北九州市立総合療育センター整形外科　**畑野　美穂子**

O35-2 自閉症スペクトラム障害をもつ学齢児におけるＴＭＴ検査の可能性について
(挑)
よこはま港南地域療育センター　**山内　裕子**

O35-3 早期療育の現況と課題－社会の変化とともに－
(調)
神奈川県立総合療育相談センター小児リハビリテーション科　**宇高　千恵**

O35-4 先天性食道閉鎖術後児における摂食嚥下障害を主要アウトカムとした後方視的検討
(調)
東京湾岸リハビリテーション病院／
東京都立小児総合医療センターリハビリテーション科　**佐久間　克也**

O35-5 小児下肢装具処方のためのアルゴリズムの考案
(調)
鼓ヶ浦こども医療福祉センター整形外科／山口大学附属病院整形外科　**黒川　陽子**

O35-6 当センターでの選択的後根切断術の導入
(調)
佐賀整肢学園こども発達医療センター整形外科　**杉田　健**

一般口演 36　13:10 ～ 14:10

義肢装具療法 3 (挑・調・超)

座長：大田　哲生　旭川医科大学病院リハビリテーション科

O36-1 超高齢下腿切断者に対し生活実態に即して義足作製を行った１例
(挑・超・調)
初台リハビリテーション病院　**酒井　希望**

O36-2 歩行の獲得に至った高齢大腿切断者の臨床的特徴
(挑)
刈谷豊田総合病院リハビリテーション科　**小島　久典**

O36-3 下肢切断者の歩行自立に関わる入院時予測因子の検討 ―片脚立位保持能力に着目して―
(挑)
兵庫県立リハビリテーション中央病院リハビリテーション科／
兵庫県立リハビリテーション中央病院整形外科　**戸田　光紀**

O36-4 断端浮腫により訓練用仮義足の使用が困難となった下腿切断者の一例
―補装具判定における来所困難の課題―
(調)
株式会社COLABO　**久米　亮一**

O36-5 (調) 多疾患を背景に重複障害を呈した大腿切断症例に対する急性期リハビリテーションの一例

広島大学病院リハビリテーション科　**佐々木　里奈**

O36-6 (挑・超・調) 人畜共通感染症を契機に電撃性紫斑病を発症し両下腿切断に至った一例

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**松原　真穂**

一般口演 37　14:20 ～ 15:20

小児疾患 3（調・挑）

座長：門野　泉　厚生労働省医政局医療経営改革課

O37-1 (調) ゲーミフィケーションによる動機づけ支援を行った就学前小児の右上肢デグロービング損傷の一例

奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座　**堀田　直幹**

O37-2 (調) 術後化学療法中に断端トラブルを生じ追加切断を要した小児・AYA世代脛骨近位骨肉腫大腿切断後の一例

神戸大学医学部附属病院リハビリテーション科　**村井　由佳**

O37-3 (挑) 侵襲性髄膜炎菌感染症後の運動機能障害に対し段階的リハビリテーションが奏功した1例

高知大学医学部附属病院リハビリテーション部／高知大学整形外科　**中前　杏**

O37-4 (挑) 右股関節拘縮・左下腿切断に対し右坐骨支持装具と左下腿義足で歩行器歩行を得た先天性絞扼輪症候群の1例

宮城県立こども病院リハビリテーション科　**芝﨑　真人**

O37-5 (挑・調) 学校不適応を呈する児童に対する学校作業療法の試み―ICT活用と役割創出による活動参加の促進―

名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座　**車井　元樹**

O37-6 (調) びまん性橋膠腫を呈した小児症例に対する生活機能維持を目的としたリハビリテーション医療の介入

新百合ヶ丘総合病院リハビリテーション科／
東京女子医科大学病院リハビリテーション科　**木下　知子**

一般口演 38　8:30 ～ 9:30

高次脳機能障害2（調・挑）

座長：青木　重陽　神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科

O38-1（調）　記憶障害において病態および治療に対する理解が対照的だった2症例の検討
尼崎中央リハビリテーション病院リハビリテーション科　竹内　由起

O38-2（挑）　悪性脳梗塞による重度片麻痺と高次脳機能障害を呈し復職に至るまでの3年の経過報告
広島大学大学院リハビリテーション学／さくらの丘クリニックリハビリテーション科　兼永　幸太郎

O38-3（調）　覚醒下脳手術後の高次脳機能障害に対し職務を想定した訓練により復職に至った一例
日本大学医学部リハビリテーション医学分野リハビリテーション科／川口きゅうぼらリハビリテーション病院　深澤　高広

O38-4（調）　COVID-19ワクチン接種後の脳静脈血栓症及び脳出血による高次脳機能障害に対する就労継続支援の経験
東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座　櫻井　義大

O38-5（調）　頭部外傷後の高次脳機能障害者の復職に長期間を要した一例
大阪急性期・総合医療センター　山中　緑

O38-6（挑・調）　ビデオフィードバックが有効であった高次脳機能障害の一例
川崎市社会福祉事業団れいんぼう川崎　齋藤　薫

一般口演 39　9:40 ～ 10:40

摂食嚥下障害4（調・挑・超）

座長：國枝　顯二郎　関西医科大学リハビリテーション医学講座

O39-1（調）　嚥下障害対策チーム介入高齢者における骨格筋パラメーターと経口摂取再獲得の関連の検討
東北大学大学院医学系研究科臨床障害学分野　宮城　翠

O39-2（調）　入院時経管栄養を要した脳卒中患者の経口摂取回復に関連する因子の後方的観察
広島大学医学部医学科　岡本　佳奈

O39-3（調）　当院における摂食嚥下に問題のあった誤嚥性肺炎患者におけるリハビリテーションの状況
松阪中央総合病院　松尾　宏

O39-4（調）　整形外科入院患者の嚥下障害の頻度と入院期間に及ぼす影響
島根大学医学部リハビリテーション医学講座　馬庭　壮吉

O39-5（挑）　嚥下障害とロコモティブシンドロームとの関連
福島県立医科大学リハビリテーション医学講座　佐藤　真理

O39-6 (挑・超) 当院救急センターに搬送された誤嚥性肺炎患者の分析

昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座／昭和医科大学江東豊洲病院　**真野　英寿**

一般口演 40　10:50 ～ 11:50

摂食嚥下障害 5（挑・超）

座長：松嶋　康之　産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座

O40-1 (挑・超) 口腔内アイスマッサージが嚥下と前頭前野皮質活動に及ぼす影響：fNIRS を用いた検討

群馬大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学　**田澤　昌之**

O40-2 (超) 舌骨挙上障害を伴う脳卒中後摂食嚥下障害に対する反復末梢磁気刺激：ランダム化比較試験

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**森　志乃**

O40-3 (挑) 嚥下関連筋群に対する干渉波刺激と直接嚥下訓練の併用により嚥下機能改善を認めた一例

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学　**白川　紘大**

O40-4 (挑) 嚥下・歩行障害に対する全身連動型トリガーポイント注射の可能性

磐田市立総合病院リハビリテーション科　**有本　直人**

O40-5 (挑) 脳損傷回復期患者における経皮的耳介迷走神経刺激が ADL に与える影響の検討

藤元上町病院／鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学　**原田　雄大**

O40-6 (挑) 誤嚥に対する cough-inducing method using a tartaric acid（CiTA）の有効性と意識障害の影響

聖隷浜松病院リハビリテーション科　**新谷　可恵**

一般口演 41　13:10 ～ 14:10

義肢装具療法 4（挑・調）

座長：和田　義敬　藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

O41-1 (挑) 痙直型両麻痺を伴う前腕形成不全に筋電義手を導入し公的支給に至った一例

東京大学医学部附属病院　**近藤　尚子**

O41-2 (調) 多肢切断患者の特徴とリハビリテーション帰結

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**伊藤　円香**

O41-3 (挑) 腫瘍性上肢切断患者における義手導入の実態と社会参加転帰

浜松医科大学医学部附属病院リハビリテーション科　**磯部　貴之**

O41-4 (挑・調) 上肢切断後疼痛に対する TMR の効果―多面的 PROMs による経時的解析

東京大学医学部附属病院リハビリテーション科　**佐藤　龍太郎**

O41-5 (挑) 社会復帰を目標とした大腿切断症例に対する義足選択の工夫

亀田総合病院リハビリテーション科　**遠藤　実果**

O41-6 植皮後の創治癒遅延を伴う短断端下腿切断に対する外来義足リハビリテーション治療経験
(挑)

筑波大学附属病院総合臨床教育センター　**合田　大輝**

一般口演 42　14:20 ～ 15:10

大腿骨近位部骨折 2 (挑・超・調)

座長：谷口　直史　山梨大学医学部付属病院リハビリテーション科

O42-1 大腿骨近位部骨折入院患者における術前下肢静脈血栓症と危険因子についての検討
(挑)

帝京大学医学部附属病院リハビリテーション科　**山田　敦久**

O42-2 当院における 90 歳以上の超高齢者に発症した大腿骨近位部骨折に対する治療について
(調)

三愛会大分三愛メディカルセンター　**二宮　直俊**

O42-3 超高齢大腿骨近位部骨折に対する手術症例の検討
(超)

関門医療センター整形外科　**山﨑　和大**

O42-4 大腿骨近位部骨折術後患者の術前 CT を用いた股関節周囲筋評価と術後 120 日歩行能力との関連
(挑)

徳島県立中央病院リハビリテーション技術科　**池脇　圭司**

O42-5 仮想現実下座位リーチ運動が大腿骨近位部骨折後の歩行・固有感覚・体幹筋に及ぼす効果：無作為化比較試験
(挑・超)

森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部理学療法学科／
社会医療法人協和会加納総合病院リハビリテーション科　**河西　謙吾**

第11会場（3F　314）

関連専門職口演 9　13:10 ～ 14:20

脳血管障害3（挑・超）

座長：對東　俊介　広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門

KO9-1（超）　脳卒中片麻痺者におけるKAFO膝継手フリー歩行とAFO歩行の比較　－AFO移行期の1症例－

中伊豆リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科　**小林　庸亮**

KO9-2（挑）　歩行自立レベルで退院したゲルストマン症候群2症例における左右識別障害に対する考察

武蔵村山病院リハビリテーションセンター　**沖倉　匠**

KO9-3（挑）　業務内容のリスト化が復職支援に有効であった重度注意障害を呈した両側被殻出血患者の一例

藤田医科大学七栗記念病院リハビリテーション部／藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**洲崎　皓太郎**

KO9-4（挑）　重度上肢麻痺に対し早期から生体信号反応式運動機能改善装置を用い、機能改善を認めた左被殻出血の一例

金沢医科大学病院リハビリテーションセンター　**後藤　宗一郎**

KO9-5（挑）　脳底動脈解離を呈した血管型Ehlers-Danlos症候群患者に対する段階的離床-再解離予防に着目して-

鵜飼リハビリテーション病院リハビリテーション部　**近藤　玲美捺**

KO9-6（挑）　重症脳梗塞症例に対する手指リハビリテーションロボット練習と運動学習成立の工夫

独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院リハビリテーション科　**伊澤　仁美**

KO9-7（挑）　リハビリテーションスタッフにおける手指衛生行動の可視化とフィードバックによる行動変容

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院看護部感染管理室　**木暮　貴幸**

関連専門職口演 10　14:20 ～ 15:20

骨関節疾患（挑・超・調）

座長：堅山　佳美　岡山大学病院総合リハビリテーション部

KO10-1（調）　積雪寒冷地における大腿骨近位部骨折術後患者の自宅復帰に影響する因子の検討

市立横手病院リハビリテーション科　**小坂　洋人**

KO10-2（挑）　大腿骨転子部骨折患者における居宅内移動能力と注意機能の関連
―PASSとTMT-Jを用いた予備的検討―

医療法人幸生会琵琶湖中央リハビリテーション病院／藍野大学大学院健康科学研究科　**栗谷　明至**

KO10-3（挑）　回復期リハビリテーション病棟入院中の大腿骨近位部骨折患者における母趾感覚機能と入院期間の関連

春日井整形あさひ病院リハビリテーション科　**宮﨑　耕輝**

KO10-4 AMIS-THA後患者における術後早期QOLに関連するADLの検討
（超）
八戸市立市民病院リハビリテーション科　福田　圭佑

KO10-5 変形性膝関節症患者に異なる運動の歩行分析計による前向き評価
（挑）
那須中央病院リハビリテーション科　岡　崇明

KO10-6 変形性膝関節症における最大膝伸展角速度がPROMsへ及ぼす影響について
（挑）
中国労災病院　岩見　憲司

ポスター会場（3F　301+302+303+304）

ポスター（一般）5　10:00 ～ 11:00

摂食嚥下障害・栄養（調・挑）

座長：岡崎　英人　瀬尾記念慶友病院

P5-1（挑）
当院における急性冠症候群治療後の心肺運動負荷試験および体組成の推移と相関について
日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科　**諸岡　千暁**

P5-2（調）
Wallenberg症候群による嚥下障害に対し多職種連携と段階的アプローチにより経口摂取を再獲得できた1症例
鎌ヶ谷総合病院　**杉本　耕一**

P5-3（調）
高齢肺炎患者に対する看護師主導嚥下スクリーニングプロトコル導入の効果
千葉市立青葉病院リハビリテーション科　**青墳　佑弥**

P5-4（挑）
重度嚥下障害が反復磁気刺激により経口摂取可能に至った一例
リハビリテーション天草病院内科・リハビリテーション科　**城　崇之**

P5-5（調）
延髄外側症候群による病変部位の違いと嚥下障害
金沢脳神経外科病院リハビリテーション科　**岡本　一也**

P5-6（調）
高齢入院患者における食事自己摂取自立に関連する要因の検討 -高齢者専門病院入院患者での検討-
川崎医科大学リハビリテーション医学教室／
川崎医科大学高齢者医療センター高齢者総合診療科　**安永　雅**

ポスター（一般）6　10:00 ～ 11:00

生活期医療（挑・調）

座長：奥山　亨　長汐病院リハビリテーション科

P6-1（挑）
産業保健分野におけるリハビリテーションの知見を活かした職場内運動介入の試み
日本生命保険相互会社　**屋城　俊洋**

P6-2（挑）
プールリハクラブの誕生と展開～コミュニティーにおけるリハビリテーション科医の挑戦
新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院リハビリテーション科　**大西　康史**

P6-3（挑）
デイケア通所者においてスケトウダラタンパク質摂取が運動機能に及ぼす影響について―フレイルへの効果は？
関西医科大学総合医療センターリハビリテーション科　**菅　俊光**

P6-4（挑）
訪問リハビリテーションが要介護高齢者の日常生活動作に及ぼす影響に関する研究
綾瀬中央診療所訪問診療部　**渡辺　武士**

P6-5（調）
デイケアにおける医師の役割
中野共立病院リハビリテーション科　**山田　智**

P6-6 (調) 当施設におけるCOVID-19発生時の転倒について

介護老人保健施設宏愛苑　根岸　俊文

ポスター（一般）7　10:00 ～ 11:00

症例検討2（調・挑・超）

座長：松岡　美保子　社会医療法人愛仁会愛仁会リハビリテーション病院診療部リハビリテーション科

P7-1 (調) 右内頚動脈閉塞による脳梗塞に対する回復期リハビリテーション中に右腋窩動脈閉塞症を合併した一例

高松協同病院リハビリテーション科　杉本　啓介

P7-2 (調) 補足運動野（SMA）障害に伴うリリース困難を呈した一例

桜橋渡辺リハビリテーション病院脳神経外科　寺田　幸恵

P7-3 (挑) 左橋被蓋内側梗塞後の病側スプリング感：着地時の足底―床角度の左右差に着目して

養和病院リハビリテーション科／鳥取大学医学部付属病院リハビリテーション科　枡井　遥己

P7-4 (超) ギランバレー症候群で筋緊張が亢進する症例とリハビリテーション訓練

国立障害者リハビリテーションセンター病院　前野　崇

P7-5 (調) 脊椎手術後疼痛症候群に対する脊髄刺激療法の治療経験

久留米大学医学部整形外科　佐藤　公昭

P7-6 (挑) 完全脊髄損傷に対する経皮的迷走神経刺激装置を用いた治療戦略

埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科　栗原　寛幸

ポスター（一般）8　10:00 ～ 10:50

骨・関節疾患（調・挑・超）

座長：堀内　博志　鹿教湯三才山リハビリテーションセンター整形外科

P8-1 (調) 回復期病院における人工膝関節全置換術後患者の退院時バランス能力と入院時歩行能力の関連

埼玉みさと総合リハビリテーション病院リハビリテーション科　木内　仁志

P8-2 (挑・超・調) 動脈硬化症によると思われる大腿骨頭壊死症の一例

大原医療センターリハビリテーション科　萩原　賢一

P8-3 (挑・超・調) 大腿骨頭壊死症の一例

大原医療センターリハビリテーション科　萩原　賢一

P8-4 (調) 大腿骨近位部骨折患者における骨密度と脊椎圧迫骨折既往の検討

三豊総合病院整形外科　塩崎　泰之

P8-5 (調) 大腿骨転子部骨折術後患者の歩行自立関連因子の検討―整復位と骨折不安定性に着目して―

滋賀医科大学脊椎・関節機能再建学講座　入山　圭司

関連専門職ポスター 23　10:00 ～ 11:20

脳血管障害 3（挑・超・調）

座長：君浦　隆ノ介　社会医療法人ささき会藍の都脳神経外科病院リハビリテーション部

KP23-1（挑）低用量ピル内服中に右中大脳動脈閉塞を発症した若年患者に対する急性期リハビリテーション治療の一症例

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部　**武　瞳**

KP23-2（挑）音楽療法を併用したリハビリテーション療法の効果

東京ちどり病院／明治学院大学教養教育センター／大和慶友整形外科リハビリテーション科　**岩坂　憂児**

KP23-3（挑）左BAD放線冠梗塞により歩行速度低下を呈した一症例

一般財団法人岸和田農友協会岸和田平成病院リハビリテーション科　**田中　ヒカル**

KP23-4（挑）急性期脳卒中患者におけるトイレ使用開始判断のための予備的検討

さいたま市立病院リハビリテーション科　**鳥居　誠志**

KP23-5（挑）SCU患者におけるトイレ移動ピクトグラムの運用実績と実態把握

高槻病院リハビリテーションセンター　**内田　周汰**

KP23-6（超）回復期脳卒中患者に対する臨床的体幹アプローチの効果：傾向スコアマッチングを用いた後方視的コホート

十勝リハビリテーションセンター先進リハビリテーション推進室／十勝リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科　**髙橋　良輔**

KP23-7（調）回復期脳卒中患者のトイレ自立を数分で予測する簡便な予測モデルの作成とNon-fittersの特徴

福島県立医科大学保健科学部作業療法学科　**藤田　貴昭**

KP23-8（挑）認知症診断の有無ならびに入棟時認知機能低下の有無が機能予後に与える影響について

医療法人康生会泉佐野優人会病院リハビリテーション部　**吉谷　貴大**

関連専門職ポスター 25　10:00 ～ 11:00

自動車運転支援（挑・調）

座長：小林　康孝　福井医療大学大学院保健医療学研究科

KP25-1（挑）自動車運転評価による自動二輪車運転リスク予測の可能性：外傷性脳損傷を呈した1例の追跡経過から

公立陶生病院中央リハビリテーション部作業療法室　**横内　想真**

KP25-2（挑）脳卒中後の自動車運転再開可否に関連する神経心理学的指標およびドライングシミュレーター指標の探索的検討

医療法人田中会武蔵ヶ丘病院リハビリテーション部　**池田　奈央**

KP25-3（挑）道徳的価値観の違いによる運転行動と脳活動部位の関係～fMRIを用いた研究～

福井総合クリニックリハビリテーション課作業療法室　**増村　海吏**

KP25-4 (挑) 外来診療でAttention Process Trainingを実施し，運転免許を再取得し復職を果たした症例

公益財団法人横浜勤労者福祉協会汐田総合病院リハビリテーション課　齋藤　宥真

KP25-5 (挑) 当院における運転再開支援と自動車教習所との連携

国際医療福祉大学塩谷病院リハビリテーション室　千吉良　知映

KP25-6 (調) 高次脳機能障害を呈する症例に対する自動車運転支援～教習所との緊密な連携と現地での助言の重要性～

医療法人社団永生会永生クリニックリハビリテーション科　中里　創

関連専門職ポスター 27　10:00 ～ 11:20

電気刺激（挑・調）

座長：吉田　啓晃　東京慈恵会医科大学附属柏病院リハビリテーション科

KP27-1 (挑) 不全頚髄損傷者における生体信号反応式運動機能改善装置を用いた肘関節運動の効果 -3例のケースシリーズ-

筑波大学システム情報系／茨城県立医療大学学外共同研究員　高橋　一史

KP27-2 (挑) 50～79歳健常成人における家庭用骨格筋電気刺激装置の下肢機能および歩行能力への効果

株式会社MTGWELLNESS事業本部メディカル部エビデンス課　杉山　統哉

KP27-3 (調) FESを用いた起立訓練がトイレ動作の向上に寄与した１例

社会医療法人財団池友会新小文字病院リハビリテーション科　池田　穂香

KP27-4 (挑) 神経生理学的所見を踏まえ保存療法により機能改善を認めた頚椎症性筋萎縮症遠位型の一例

獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科　加納　彰人

KP27-5 (挑) 筋電図を判断材料とした自主訓練設定における一考察

株式会社STROKELAB　中村　謙志

KP27-6 (挑) 急性期頚髄損傷に伴う起立性低血圧に対しベルト電極式骨格筋電気刺激を併用して早期離床を図った一例

獨協医科大学病院リハビリテーション科　紺野　卓

KP27-7 (挑) 脊髄不全損傷患者の下肢痙縮に対する経皮的電気刺激療法の効果-アルコール依存症の既往が影響した症例-

福井総合病院診療支援部リハビリテーション課理学療法室　保科　啓人

KP27-8 (挑) 機能的電気刺激を病棟生活での歩行の自主訓練に長時間使用した亜急性期脳卒中後片麻痺の１例

がくさい病院回復期リハビリテーション部　松下　樹生

関連専門職ポスター 29　10:00 ～ 11:10

骨関節疾患 2（調・挑・超）

座長：森泉　茂宏　森山メモリアル病院リハビリテーション科

KP29-1（挑）脆弱性骨盤輪骨折保存療法の型別ADL推移
医療法人敬仁会八代敬仁病院総合リハビリテーション部　**永松　太希**

KP29-2（挑）T字杖歩行獲得が困難であった大腿骨転子部骨折患者の一症例　-動的荷重の変化-
タムスさくら病院江戸川リハビリテーション科　**水品　紘史郎**

KP29-3（超）療法士装着型スマートグラス歩行情報提示システムを用いた歩行訓練効果―大腿骨頚部骨折症例による検討―
京都地域医療学際研究所がくさい病院回復期リハビリテーション部　**西尾　大智**

KP29-4（超）両側大腿骨転子部骨折を同時受傷した後期高齢患者リハビリテーションの２症例
横浜旭中央総合病院リハビリテーションセンター　**瀬川　光汰**

KP29-5（調）人工股関節全置換術後坐骨神経麻痺生じるも麻痺側積極使用により早期に麻痺改善し、早期復職できた一例
那須中央病院リハビリテーション科　**菊池　啓太**

KP29-6（調）右寛骨臼骨折患者の治療方針決定に理学療法評価が有益であった一症例
相澤病院整形外科リハ科　**三澤　勇真**

KP29-7（調）大腿骨近位部骨折患者における座位行動時間に影響する術前因子の調査
社会医療法人財団慈泉会相澤病院　**阿部　育良**

関連専門職ポスター 31　10:00 ～ 11:10

VR・MR（挑・調）

座長：渡部　喬之　昭和医科大学横浜市北部病院リハビリテーション室

KP31-1（挑）Mixed Reality（MR）訓練後の認知機能変化　―MMSEおよびTMTを用いた後方視的検討―
医療法人篤友会関西リハビリテーション病院　**井上　裕也**

KP31-2（挑）脳卒中患者に対する歩行リハビリテーションロボットを用いたVRベース推進力フィードバック訓練：症例報告
Curexo Inc.／University of Texas Medical Branch　**黄　善熙**

KP31-3（挑）異なる視覚刺激を用いたVisual Motor Illusionが脳卒中患者の手指機能に及ぼす影響
医療法人社団鎮誠会令和リハビリテーション病院リハビリテーション療法科　**近藤　希和**

KP31-4（挑）Virtual reality を用いたリハビリテーションにてすくみ足が改善した脳血管性パーキンソン症候群の一例
聖隷浜松病院リハビリテーション部　**山下　峻矢**

KP31-5 (挑) 多機関連携によるVRを用いた介助犬普及啓発システムの構築

松山リハビリテーション病院リハビリテーション部理学療法科　**鈴木　裕一**

KP31-6 (挑) 仮想現実技術を用いたリハビリテーション医療が訓練意欲と書字動作改善に寄与した脳卒中の一例

滋賀県立総合病院リハビリテーションセンター医療部リハビリテーション科　**風間　祐輝**

KP31-7 (調) 当院における測定機能付自動運動訓練装置の導入経過と初年度の使用実態

甲州リハビリテーション病院リハビリテーション部作業療法科　**杉山　雄太**

関連専門職ポスター 33　10:00 ～ 11:10

外傷・熱傷・切断（挑・超）

座長：稲見　州治　稲城市立病院リハビリテーション科

KP33-1 (挑･超) 熱傷面積80%の広範囲重症熱傷者に対しICUから自作の訓練道具や装具を用いた作業療法でのADL再獲得の一症例

和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション部　**坂本　あきな**

KP33-2 (挑) 植皮術後の熱傷患者に対する適切な運動療法による急性期および1年後の運動機能の変化：症例報告

岩手医科大学附属病院リハビリテーション部　**齋藤　玲**

KP33-3 (挑) 日中の外固定を除いた手指伸筋腱断裂に対する縫合術の早期リハビリテーション

山口県済生会下関総合病院リハビリテーション科　**椙田　芳徳**

KP33-4 (挑) 段階的介入により,義手と手先具装着動作の獲得及びADL介助量軽減に至った多肢切断者の一例

吉備高原医療リハビリテーションセンター中央リハビリテーション部　**上山　実波**

KP33-5 (挑) 橈骨遠位端骨折後の前腕回旋拘縮に対しスプリント療法が有効であった一例

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部　**徳田　継祐**

KP33-6 (挑) 多指切断後の下衣操作獲得を目指した作業療法介入
-課題指向型アプローチによる把持力の向上と再学習-

公益財団法人仁泉会北福島医療センター診療技術部リハビリテーション科／
福島県立医科大学大学院保健科学研究科　**渡邉　美智子**

KP33-7 (超) 義手・義足製作によりトイレ動作自立に至った電撃性紫斑病四肢切断者の一例

吉備高原医療リハビリテーションセンター中央リハビリテーション部　**柳田　麻優香**

関連専門職ポスター 35　10:00 ～ 11:10

切断（挑・調・超）

座長：村田　和樹　佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科

KP35-1（挑）
中高年股関節離断者に対する高頻度起立着席運動の試み
～早期歩行獲得と義足の継続使用に至った２症例～
浅木病院リハビリテーション科　**永冨　太一**

KP35-2（超）
運転補助装置使用なしの自動車運転が可能となった両下腿切断者の経験
医療法人社団アールアンドオー静清リハビリテーション病院リハビリテーション部　**楠　勇輝**

KP35-3（挑）
高次脳機能障害と手指変形を有した血管性下腿切断例に対して下腿義足を改良し、自宅退院に至った一例
発寒リハビリテーション病院　**細川　桜里奈**

KP35-4（挑）
股関節伸展モーメントに着目した介入および自己断端管理指導により，自宅退院に至った右下腿切断の一症例
岸和田平成病院リハビリテーション部理学療法士　**有村　知真**

KP35-5（調）
下肢閉塞性動脈疾患による大腿切断後の義足装着困難者に対するADL改善支援
クリケア訪問看護ステーション　**林田　太助**

KP35-6（挑）
劇症型Ａ群溶血性連鎖球菌感染症を呈し、股関節離断術を施行された一例
西広島リハビリテーション病院リハビリテーション部　**笹井　涼那**

KP35-7（調）
劇症型Ａ群溶血性連鎖球菌感染症による右下腿切断患者に対し，多職種連携で社会復帰を達成した一例
獨協医科大学病院リハビリテーション科　**影山　昌一**

関連専門職ポスター 19　14:00 ～ 15:10

症例検討１（挑・超）

座長：望月　碧　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

KP19-1（挑･超）
自宅類似環境下での動作訓練により独自の生活動作を再獲得した一症例：頚髄損傷を有した脳出血患者
武蔵ヶ丘病院リハビリテーション部／
医療法人田中会武蔵ヶ丘病院武蔵ヶ丘臨床研究センター　**下田　翔大**

KP19-2（挑）
ペダリング運動により外側広筋の歩行時異常筋電図が即時的に消失した一例
福井総合病院リハビリテーション課理学療法室　**阪野　嶺王**

KP19-3（挑）
TWSITに基づき早期歩行獲得可能と判断し，上肢機能介入を実施した右MCA領域梗塞の一症例
金沢医科大学病院リハビリテーションセンター　**新谷　海斗**

KP19-4 (挑) 心不全を合併した心原性脳塞栓症患者における急性期理学療法とリスク管理：離床基準を構築した一症例

日本医科大学付属病院リハビリテーション科　**北村　愛理**

KP19-5 (挑) 歩行能力が向上した麻痺側THA施行後橋梗塞症例の理学療法介入

千里リハビリテーション病院セラピー部　**山本　勝義**

KP19-6 (挑) 長期間の急性期病院入院後に当院へ転院となった若年小脳出血患者に対するリハビリテーション治療の経験

医療法人ちゅうざん会ちゅうざん病院リハビリテーション療法部　**友寄　理乃**

KP19-7 (挑) 小脳失調者に対する免荷式トレッドミルトレーニングへの聴覚リズム刺激併用効果－N-of-1 trialによる検討－

医療法人社団苑田会花はたリハビリテーション病院リハビリテーション科　**小山田　光希**

関連専門職ポスター 20　14:00 ～ 15:20

神経難病（挑・調）

座長：稲田　莉乃　近畿大学病院リハビリテーション科

KP20-1 (調) 抗GFAP抗体陽性自己免疫性脳脊髄炎における下肢筋力および排尿機能の回復過程
―若年発症例の症例報告―

名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院リハビリテーション技術科理学療法係／
名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院リハビリテーション科／
名古屋市立大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野　**遠藤　雄太**

KP20-2 (調) 芳香族アミノ酸脱炭酸酵素欠損症者に対する作業や役割を見いだした一症例

地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター
リハビリテーション部作業療法科　**金子　拓海**

KP20-3 (調) 長期入院より回復が遷延したギラン・バレー症候群に対する介入経験した1例　食事動作自立から活動性向上へ

社会医療法人愛仁会尼崎だいもつ病院リハ技術部作業療法科　**田淵　晃人**

KP20-4 (挑) 嚥下機能評価からパーキンソン症候群が疑われ、包括的アプローチにより日常生活動作が改善した1例

日本大学医学部附属板橋病院リハビリテーション科　**中野　あずさ**

KP20-5 (調) 異なる転帰となった神経難病による2型呼吸不全症例

獨協医科大学病院リハビリテーション科　**高根　和希**

KP20-6 (挑) 重度起立性低血圧に対する理学療法
～自己免疫性自律神経節障害併存の多系統萎縮症の一例～

山口県立総合医療センターリハビリテーション部　**橋本　実央**

KP20-7 (挑) 重症疾患多発ニューロパチー症例に対してレール走行式免荷リフトを用いた歩行練習を実施した治療経験

大雄会第一病院リハビリテーションセンター　**尾関　健至**

KP20-8 (挑) アート活動の取り組みがレノックス・ガストー症候群を伴う知的障害者の自発画に与えた影響

ココロネ板橋リハビリテーション部　**中村　亜純**

関連専門職ポスター 21　14:00 ～ 15:10

急性期医療（調・超・挑）

座長：牧上　久仁子　東京品川病院リハビリテーション科

KP21-1 (挑・超) 新規身体活動量推定手法の開発とその妥当性の検証-健常者を対象とした予備的検証-

藤田医科大学病院リハビリテーション部　**伊藤　翔太**

KP21-2 (調) 身体拘束カンファレンスの電子データ活用による記録分析と部署フィードバックの効果

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院看護部　**阿部　朋晋**

KP21-3 (調) 急性期病院における集団リハビリテーションの効果

安城更生病院　**蜂谷　幸希子**

KP21-4 (超) 呼吸器外科，消化器外科術後患者における手術日端坐位離床と臨床アウトカムとの関連：後ろ向き観察研究

明石医療センター技術部リハビリテーション科　**金光谷　樹**

KP21-5 (調) 急性期患者のBarthel Index変化量とリハビリテーション介入時期および実施量との関連

徳島県鳴門病院リハビリテーション技術科　**金澤　佳弘**

KP21-6 (調) 救命救急センターにおける入院2日目の車椅子離床とHAD発生の関連

済生会熊本病院リハビリテーション部　**浦川　隆司**

KP21-7 (調) 急性期病院における理学療法士・作業療法士増員および介入開始時期と在院日数との関連

金沢医科大学病院リハビリテーションセンター　**栗原　義宣**

関連専門職ポスター 22　14:00 ～ 14:50

評価・デジタル技術（挑・超・調）

座長：豊島　修　横浜旭中央総合病院リハビリテーション科

KP22-1 (調) 脳卒中入院患者の身体活動に影響を及ぼす要因：病院内生活をセッティングとしたスコーピングレビュー

東京都立大学大学院人間健康科学研究科理学療法科学域　**今井　亮太**

KP22-2 (挑) パーキンソン病の日内変動の自己管理を目的とした症状管理アプリケーションの開発 — feasibility report

リモネック株式会社／世田谷区社会福祉事業団訪問看護ステーション三軒茶屋　**白石　哲也**

KP22-3 (挑) ローカル大規模言語モデルとRAGを用いたICF自動コーディングの妥当性検討

医療法人篤友会関西リハビリテーション病院　**荒川　達彌**

KP22-4 (挑) 加速度計を用いたグリーン・ファーム・リハビリテーション(GFR)効果の検証　第三報　5点による活動量計測

京都大原記念病院リハビリテーション部　**吉原　賢悟**

KP22-5 (超) 地域在住高齢者の中高強度身体活動に関連する身体機能因子の検討―性差に着目して―

星城大学リハビリテーション学部理学療法学専攻　**越智　亮**

関連専門職ポスター 24　14:00 ～ 15:10

生活期医療・支援２(挑・調)

座長：大西　康史　新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院リハビリテーション科

KP24-1 (調) 回復期における終末期支援としての作業療法実践―ACPに関与した１事例―

社会福祉法人聖隷福祉事業団浜松市リハビリテーション病院　**廣野　新**

KP24-2 (挑) 回復期リハビリテーションにおける趣味活動再開を目指した症例に対する訓練について

旭川三愛病院リハビリテーション科　**関口　瑞穂**

KP24-3 (挑) 当院退院後の理学療法施行状況に関する調査

社会医療法人三和会永山病院リハビリテーション部　**加島　知明**

KP24-4 (挑) 退院後生活における主体性向上を目指した脳卒中利用者への訪問リハビリテーションの一例

間中記念御幸の浜リハビリテーション病院リハビリテーション部　**大脇　燿**

KP24-5 (挑) 若年性免疫介在性壊死性ミオパチーに対し多面的な運動機能評価を用いて生活支援を行った一症例

広島大学診療支援部リハビリテーション部門　**小柳　翔太郎**

KP24-6 (挑) 脳卒中発症１年後のフォローアップ外来から見えた社会参加の課題

脳神経センター大田記念病院　**柳生　英子**

KP24-7 (挑) 細胞治療等を受けた慢性期脳卒中者への保険外リハビリテーションの実践的経過：3症例によるケースシリーズ

株式会社スターパートナーズ　**齋藤　直路**

関連専門職ポスター 26　14:00 ～ 15:10

脊髄損傷(挑・超・調)

座長：横山　修　神奈川県総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科

KP26-1 (挑) 頸椎症性脊髄症術後の遺残した痙性歩行に対して、ボツリヌス毒素療法が有効であった症例

東邦大学医療センター大橋病院リハビリテーション部／
東邦大学医療センター大橋病院整形外科　**篠田　達也**

KP26-2 (挑) ステミラック投与後に理学療法を継続した外傷性頸髄損傷症例の経過

京都第一赤十字病院リハビリテーション科　**加藤　大策**

KP26-3 (超) 頚髄損傷後に脳脊髄液循環障害と脳血流量低下が示唆され高次脳機能障害様症状を呈した一例

小金井リハビリテーション病院リハビリテーション科　**小川　洋介**

KP26-4 (挑) 脊髄症による感覚障害に対しての振動刺激の効果～歩幅と歩隔に着目して～

特定医療法人社団春日会黒木記念病院　**渡邉　美幸**

KP26-5 (挑) 急性期不全頚髄損傷患者における箸操作獲得因子の検討

社会医療法人財団池友会新小文字病院リハビリテーション科　**後藤　正喜**

KP26-6 演題取り下げ

KP26-7 (調) 回復期リハビリテーション病棟から自宅退院した外傷性脊髄損傷例の退院時SCIMIII下位項目の満点到達状況

千里リハビリテーション病院　**夏原　耀一**

関連専門職ポスター 28　14:00 ～ 15:00

高次脳機能障害２（挑・調）

座長：早乙女　貴子　東京都立神経病院リハビリテーション科

KP28-1 (挑) 語新作ジャルゴンの１例 -語新作の発現の機序の検討-

国立病院機構東名古屋病院リハビリテーション科　**武田　一貴**

KP28-2 (調) 失語症患者と周囲のコミュニケーションに伴走する、音声視覚化AIアプリケーションの試み

株式会社こどもめせん　**塙　孝哉**

KP28-3 (挑) fMRIに基づき右半球言語関連領域を標的とした高頻度rTMSを併用した回復期ブローカ失語例

藍の都脳神経外科病院リハビリテーション部　**伊藤　海人**

KP28-4 (挑) Apathyに伴う先行期嚥下障害に対し内科的治療と運動療法が奏功した慢性期両側前頭葉外傷の１例

釧路孝仁会記念病院リハビリテーション部／愛知学院大学心身科学研究所　**澤木　優治**

KP28-5 (挑) 脳腫瘍術後の左視野欠損領域に出現した人物様幻視症状を呈した症例のリハビリテーション治療

日本大学医学部附属板橋病院リハビリテーション科　**畠中　雅利**

KP28-6 (挑) 視覚性注意課題中の脳活動～近赤外分光法による検討～

新田塚医療福祉センター福井総合病院リハビリテーション課作業療法室　**城戸　亨輔**

関連専門職ポスター 30　14:00 ～ 15:00

運動療法（挑・調・超）

座長：本島　直之　昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科

KP30-1（挑・調）
側方荷重制御練習が片麻痺歩行の運動学的因子に及ぼす影響
福井総合病院診療支援部リハビリテーション課理学療法室　笹岡　柊汰

KP30-2（挑）
慣性センサデータに基づく歩行サイクル検知－歩行リハビリテーション支援に向けて－
京セラ株式会社研究開発本部フューチャーデザインラボ　西田　尚樹

KP30-3（挑）
重篤な患者に対して適切な用法および至適用量による運動療法を実践した一例
岩手医科大学附属病院　田中　康久

KP30-4（調）
解剖学的人工骨頭置換術が施行された高齢上腕骨近位端骨折患者の治療成績
相澤病院リハビリテーションセンター整形外科リハ科　関崎　研八

KP30-5（挑）
腰椎すべり症合併THA症例の乗馬復帰-Hip-Spine協調再構築とセルフマネジメント型理学療法-
医療法人ひまわり会八家病院リハビリテーション部　河合　和之

KP30-6（超）
悪性軟部腫瘍により骨盤半裁術後にゴルフ練習再開に至った１症例
防衛医科大学校病院リハビリテーション部　松本　和絵

関連専門職ポスター 32　14:00 ～ 15:00

先端機器・ニューロモデュレーション（挑・超）

座長：松本　憲二　関西リハビリテーション病院リハビリテーション科

KP32-1（挑）
脳卒中後の手の麻痺性浮腫に対する反復末梢磁気刺激 －ランダム化比較試験－
藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科　藤村　健太

KP32-2（超）
能動型展伸・屈伸回転運動装置による段階的な歩行アシストが実用歩行の獲得に有効であった一症例
新横浜リハビリテーション病院リハビリテーション部　阿部　遥夏

KP32-3（挑）
体幹前傾角度に応じた音フィードバックが起立動作に与えた影響―脳出血後片麻痺患者１症例―
藤田医科大学七栗記念病院リハビリテーション部　杉浦　健太

KP32-4（超）
回復期脳卒中症例におけるBrain-Machine Interface訓練と効果への影響因子の検討
名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院
リハビリテーション技術科作業療法係　阿部　希春

KP32-5（挑）
機能的電気刺激療法により歩行時の前脛骨筋機能の再獲得を認めた一例
大雄会第一病院リハビリテーションセンター　木村　公栄

KP32-6 (挑) 脳卒中後下垂足患者に対する歩行神経筋電気刺激装置の刺激強度調整が歩容に及ぼす影響

新上三川病院リハビリテーション科　**山下　大詞**

関連専門職ポスター 34　14:00 ～ 15:00

症例検討 2（挑・超・調）

座長：仲保　徹　昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科

KP34-1 (挑･超) 心理的準備性を背景にBMIが奏功した脳血管疾患患者の一例

東京ちどり病院　**阿諏訪　公子**

KP34-2 (挑) 水治療法を通して実用歩行を獲得した脊髄脂肪腫の一例

農協共済中伊豆リハビリテーションセンターリハビリテーション部理学療法科　**佐野　晃平**

KP34-3 (調) 脳梗塞後の意識的な反復運動に難渋した症例
～動作訓練を通じた筋発揮向上と廃用性筋力低下への介入～

医療法人社団淡路平成会東浦平成病院リハビリテーション科　**津村　嶺空**

KP34-4 (挑) 重度感覚失調により歩行自立獲得に難渋した感覚性運動失調型Guillain-Barré症候群の１例

和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション部　**安岡　良訓**

KP34-5 (挑) 突発性頸椎硬膜外血腫術後症例に対する理学療法
―配送業復職を目標とした１症例―

主体会病院総合リハビリテーションセンター　**泉沢　祐樹**

KP34-6 (挑) 若年Bickerstaff型脳幹脳炎患者に対する姿勢制御訓練と早期復職に向けた課題特異的訓練

札幌医科大学附属病院リハビリテーション部／
札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座　**山下　達郎**

関連専門職ポスター 36　14:00 ～ 15:00

神経疾患（挑・超・調）

座長：佐久間　香那　昭和医科大学医学部リハビリテーション医学講座

KP36-1 (超) 課題や注意の向け方により運動出力が変動した両側腓骨神経麻痺の一症例 ―ABABデザインによる症例研究―

なにわ病院リハビリテーション部　**西北　健治**

KP36-2 (調) stiff-person症候群による慢性的筋攣縮が姿勢および腰痛へ影響した一症例

北陸中央病院医療技術部リハビリ技術科　**濱田　隼輔**

KP36-3 (挑) 人工股関節置換術後、坐骨神経麻痺となり足関節背屈不能となったが、４ヵ月後装具OFFで歩行自立した症例

済生会松阪市民病院リハビリテーション室　**田垣　幸真**

KP36-4 (調) 糖尿病性神経障害を合併した１型糖尿病患者に対する足部・足趾機能へのリハビリテーション治療の経験

群馬大学医学部付属病院リハビリテーション部　**浅野　翔平**

KP36-5 (挑) 視覚-前庭覚の再重み付けを目的とした介入を契機に行動変容を認めた持続性知覚性姿勢誘発めまい疑いの1例

東京医科大学病院リハビリテーションセンター　岩崎　龍太郎

KP36-6 (挑・超) Miller Fisher 症候群により複視を呈した症例における動作解析を用いて眼球運動の経時的変化に着目した1例

国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部　竹垣　未結

本学術集会の開催にあたり，皆様より多数のご協力を賜りました．
ここに深甚なる感謝の意を表します．

第 10 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
会長　川手 信行

ご協賛・ご支援一覧

株式会社IFG
合同会社ICQ
株式会社アイビジョン　メディカル事業部
株式会社朝日ラバー
AssistMotion株式会社
アステラス製薬株式会社
社会福祉法人あそか会 あそか病院
アナトマージ ジャパン株式会社
アニマ株式会社
アライヴワーク株式会社
株式会社医学書院
医歯薬出版株式会社
株式会社INOMER
株式会社インターネットインフィニティー
インターリハ株式会社
株式会社インボディ・ジャパン
オージー技研株式会社
株式会社大塚製薬工場
社会医療法人財団互恵会 大船中央病院
オットーボック・ジャパン株式会社
株式会社CaTe
株式会社ガリバー
医療法人社団輝生会
キッセイコムテック株式会社
CUREXO
株式会社グッドライフデザイン
グラクソ・スミスクライン株式会社
株式会社クレアクト
医療法人社団神星会 港北ニュータウン診療所
医療法人社団広優会
一般財団法人国際医学情報センター
株式会社COLABO
株式会社コンフォートジャパン
CYBERDYNE株式会社
酒井医療株式会社
有限会社相模原ブレース
三洲電線株式会社
株式会社 三電
サンバイオ株式会社
株式会社gene
シスネット株式会社
SIXPAD
silvereye株式会社
神宮医院
ストルツメディカルジャパン株式会社
株式会社SPLYZA
セコム医療システム株式会社
株式会社ゼットメディケア
株式会社 全日本病院出版会
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
第一三共株式会社
タック株式会社
株式会社タニタ
一般社団法人地域医療未来創造ネットワーク
中央法規出版株式会社
株式会社ツムラ
帝人ファーマ株式会社
株式会社テクリコ
株式会社デザインマインドカンパニー
公益財団法人鉄道弘済会
電気通信大学
東名ブレース株式会社
株式会社トータルブレインケア
トヨタ自動車株式会社
有限会社長野製作所
株式会社南江堂
株式会社日本文化科学社
ネスレ日本株式会社
パシフィックサプライ株式会社
原田産業株式会社
株式会社VIPグローバル
フィンガルリンク株式会社
株式会社PRIDIST
フランスベッド株式会社
FrontAct株式会社
社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院
医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院
株式会社マネージビジネス
三菱電機エンジニアリング株式会社
株式会社三輪書店
株式会社メディアート
株式会社mediVR
株式会社モリトー
株式会社LIFESCAPES
ラックヘルスケア株式会社
株式会社レイマック

2026 年 10 月 1 日現在　五十音順

複写される方へ

○公益社団法人日本リハビリテーション医学会では，複写複製およびAI利用に係る著作権を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。

○本誌に掲載された著作物を複写したい方は，公益社団法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り，一般社団法人学術著作権協会（https://www.jaacc.org/）が提供している許諾システムを通じてご申請ください。

○著作物の転載・翻訳のような，複写以外の許諾は，直接本医学会へご連絡ください。

The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine

編集・発行／第10回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会運営事務局

VOL.63 秋季特別号　　ホームページ https://site.convention.co.jp/jarma10/

2026年（令和8年）10月6日発行

Published by The 10th Academic Conference of the Japanese Association of Rehabilitation Medicine
Printed in Japan.

本誌の内容の無断複写・複製・転載は，著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください.

MEMO

PT OT ST のための 配信動画サービス

リハノメ

会員数 9万人 突破!

初月限定 980円(税込) 見放題

動画数	カテゴリ	登壇講師
2500本 以上	35分野 以上	300名 以上

脳卒中 / 運動器 / 呼吸リハ etc

まずは無料動画をチェック ▶▶▶



もう評価・臨床に迷わない!

法人向けサービス「はぐくも」はこちら ▶

コルセット・補装具・義肢

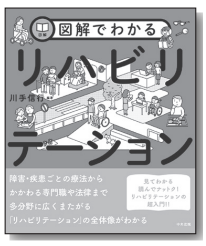
有限会社 長野製作所

東京都文京区湯島2丁目10番6号

Tel：03(3811)2218

大会長・川手信行先生編著！

図解でわかるリハビリテーション



●川手信行=編著
●定価2,420円（税込）
●B5変形判・192頁
●2025年3月発行

多分野にまたがるリハビリテーションについて、豊富な図とイラストで視覚的に理解できる。リハビリテーションの本来の意味から、基盤となる「参加」や「エンパワメント」などの理念、疾患・障害ごとのリハビリテーションや各療法をわかりやすく解説。リハビリテーションの全体像を押さえたい専門職、学生にもおすすめの入門書。

ISBN978-4-8243-0205-2

2026年9月発行の新刊！

図説 精神障害リハビリテーション

理論がわかる　実践がみえる



●二本柳　覚=編著
●定価2,640円（税込）
●A5判・202頁
●2026年9月発行

精神障害リハビリテーションの理論と実践を多彩な図説で「見える化」！リハビリテーション技術から医療機関でのリハビリテーション、退院と地域生活の支援、就労支援まで、精神障害者を支える支援者に必要不可欠な知識を網羅した一冊。

ISBN978-4-8243-0502-2



ICF国際生活機能分類 ―国際障害分類改定版―

●障害者福祉研究会=編集
●定価3,850円（税込）　B5判・286頁　2002年8月発行

WHOが国際障害分類（IIDH）として発表し、後に改定された国際生活機能分類（ICF）標準訳のフルバージョン。

ISBN978-4-8058-4417-5



プロとして知っておきたい！

障害福祉サービスのしくみと使い方

●中央法規「ケアマネジャー」編集部=編集
　福島敏之=著
●定価2,640円（税込）　B5判・196頁　2024年9月発行

障害者総合支援制度のしくみ、利用方法、各サービスの内容や使い方、利用料金等についてわかりやすく解説。

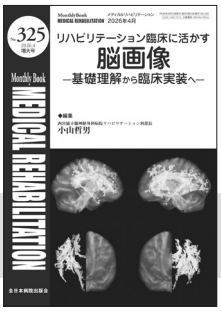
ISBN978-4-8243-0123-9

中央法規 Chuohoki Publishing Co.,Ltd.　〒110-0016 東京都台東区台東3-29-1　TEL. 03-6387-3196（代表）　https://www.chuohoki.co.jp/

MonthlyBook
MEDICAL REHABILITATION

No.325
2026年4月増大号

リハビリテーション臨床に活かす脳画像
―基礎理解から臨床実装へ―



小山哲男
（西宮協立脳神経外科病院）　定価 4,400 円（本体 4,000 円＋税）　B5 判／120 頁

脳画像の基礎から臨床まで徹底解説。MRI・DTI・fMRI を駆使したリハビリテーション戦略を幅広く紹介し、臨床に役立つ知見を凝縮しました。

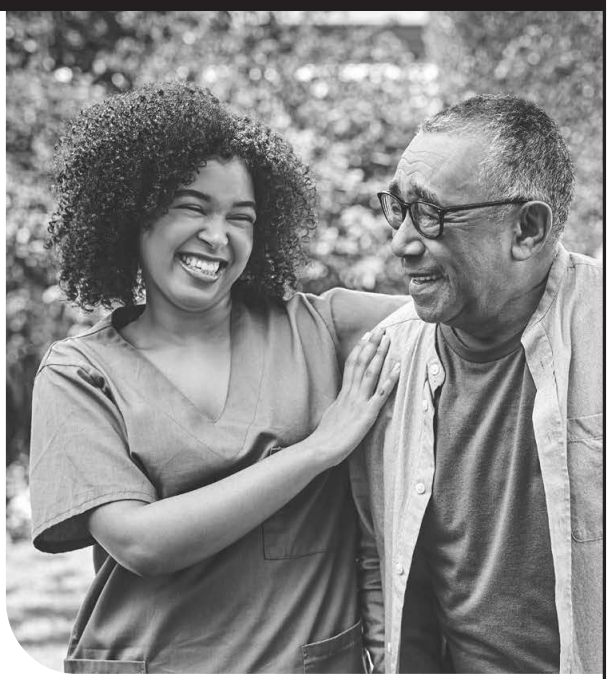
目次

リハビリテーション医療の脳画像
簡単な脳の理解
脳卒中リハビリテーション治療に活かす脳画像
認知症リハビリテーションに活かす脳画像
脳画像解析：構造 MRI 画像
脳画像解析：拡散テンソル画像
機能的 MRI：賦活 fMRI と安静時 fMRI
上肢機能障害に対する脳画像の活用
脳画像と下肢運動機能障害，歩行障害およびバランス障害
脳画像と言語機能
脳画像と空間認知機能―半側空間無視を中心に―
脳画像と摂食嚥下機能
脳画像と日常生活動作：脳卒中後の予後予測とリハビリテーション計画への応用
市中民間病院での脳画像の活用
リハビリテーション専門職における脳画像の位置づけ

全日本病院出版会
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-16-4　Tel:03-5689-5989
www.zenniti.com　Fax:03-5689-8030

変化する
医療の最先端へ

私たちにとって、患者さんは常にすべての中心です。アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓する、私たちの取り組みの原動力が患者さんです。



私たちは、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えるグローバルライフサイエンス企業です。

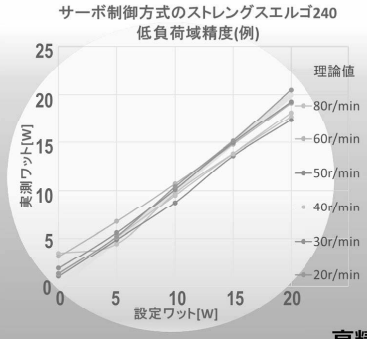
詳細はastellas.comをご覧ください

astellas

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

StrengthErgo®

お使いのエルゴメータの負荷は **正確** ですか？



サーボ制御技術により
１ワット単位で
低負荷領域から
回転数に依存しない
高精度な**負荷制御**を**実現**

StrengthErgo240*Plus*　-様々な疾患のリハビリテーションに-

BK-ERG-003

- この**１台**で**トレーニング**から**測定・評価**まで可能
- **随意的**に**自力運動**ができる**ニューロアシスト機能**
- **麻痺足**の**強化**に適した**ワンレッグ運動**にも**対応**

搭載機能：　0W負荷制御 / アシスト制御 / フルフラットシート / 逆回転 /筋力測定機能 … 等





StrengthErgo8 V2　-正確な心肺運動負荷試験(CPX)に-

BK-ERG-121

- **自動較正(動的キャリブレーション)**により、経年変化による負荷のズレを調整
- **－５０～６００ワット**まで**正確**な負荷で運動

搭載機能：　0W負荷制御 / アシスト制御 / 逆回転負荷 / 電動サドル …等

StrengthErgo5　-低体力者の正確な運動療法に-

BK-ERG-051
BK-ERG-151

- 単独で**心拍数、血圧監視**が可能
- **４つ**の**運動モード**
  （定ワット、定トルク、等速度、定心拍）を搭載

搭載機能：　自動較正(動的キャリブレーション) / 脈拍センサー …等



アップライトモデル
・ウォークスルー機構・電動サドル

リカンベントモデル
・回転シート機構・筋力測定機能

[お問合せ先]
三菱電機エンジニアリング(株)名古屋事業所
〒452-0805　愛知県名古屋市西区市場木町383番地
TEL:052-502-1652
mail:mee.mei.mkt_ergo@mp.mee.co.jp

StrengthErgo Website

三菱電機エンジニアリング株式会社

濃厚流動食品　ハイネックス®シリーズのラインアップ

ハイネックス®リニュート

栄養再開初期にタンパク質・エネルギー等を
補給する液体タイプ



ハイネックスリニュート

ハイネックス®イーゲル　ハイネックス®イーゲルLCエルシー

ペクチンを含有した酸性下ゲル化タイプ



ハイネックスイーゲル



ハイネックスイーゲルLC

ハイネックス®ゼリー
ハイネックス®ゼリーアクア

寒天で固めたゼリータイプ



ハイネックスゼリー



ハイネックスゼリーアクア

Otsuka
販 売 者　株式会社大塚製薬工場
販売提携　大塚製薬株式会社

お問い合わせ
株式会社大塚製薬工場 お客様相談センター
0120-872-873

<'25.08作成>

各製品の詳細は
こちらから

医歯薬出版　好評関連書のご案内



新刊

「CLINICAL REHABILITATION」臨時増刊号 第35巻13号

実践！ 生活期リハビリテーション

菊池尚久　編著
定価 3,520 円（本体 3,200 円＋税 10%）
B5 判　148 頁　　注文コード　786150

◆本臨時増刊号では生活期リハビリテーションの現況，
医療・福祉・介護それぞれの分野における生活期リハビリテーション，
各疾患・障害に対する生活期リハビリテーションとその課題について，
各分野のエキスパートが最新の知見を解説した必読の 1 冊である．



新刊

嚥下障害 ポケットマニュアル 第5版

聖隷嚥下チーム　執筆
定価 3,520 円（本体 3,200 円＋税 10%）
新書判　376 頁　ISBN978-4-263-26705-9

◆第５版では最新の知見で評価・治療の考え方をアップデート．臨床体制や関連制度の変化．現代の現場ニーズに即して刷新．
◆医師，歯科医師，ST・OT・PT，看護師，栄養士など，多職種医療チームで共有したい知識を収載．
◆実際の臨床場面をイメージしやすい構成とし，「わかる」「みえる」を重視．



新刊

動画とフローチャートで学ぶ 摂食嚥下機能評価 GOLD STANDARD

青柳陽一郎　編著
定価 5,940 円（本体 5,400 円＋税 10%）
B5 判　212 頁　ISBN978-4-263-21889-1

◆摂食嚥下機能評価においては病態や評価法の知識が必要なだけでなく，評価の流れやポイントをおさえることが重要．
◆本書では動画とフローチャートを用いて視覚的に解説している．
◆最終章では症例を取り上げ，実践にも適した内容となっている．



新刊

義肢装具便覧

芳賀信彦・高嶋孝倫　編
定価 14,300 円（本体 13,000 円＋税 10%）
A5 判　368 頁　ISBN978-4-263-26700-4

◆義肢／装具に関連する約 2,600 の用語をコンパクトに解説した，待望の一冊．
◆500 以上の豊富なイラストで分かりやすく解説．
◆義肢装具の用語の他，解剖学，運動学，工学，リハビリテーション医学など関連領域まで収載．
◆臨床でも携帯しやすいコンパクトな A5 判．
◆英語・略語から用語検索できる便利な索引付き．



脳卒中 第2版

基礎知識から最新リハビリテーションまで

正門由久・高木 誠　編著
定価 8,360 円（本体 7,600 円＋税 10%）
B5 判　600 頁　ISBN978-4-263-26704-2

◆脳卒中チーム医療の必携書，待望の改訂発行．
◆疫学など新しいデータを基に更新．
◆薬剤を含めた最新治療を更新・追加．
◆リハビリテーションの最新情報を追加．
◆診療報酬，介護保険など制度改定を基に更新．
◆脳卒中治療ガイドライン 2021［2025］に対応．



イラストによる 安全な動作介助のてびき

飛松好子　編著／岩﨑 洋・吉田由美子・井上美紀・明﨑禎輝　著　第4版
定価 4,400 円（本体 4,000 円＋税 10%）
A4 判　152 頁　ISBN978-4-263-26701-1

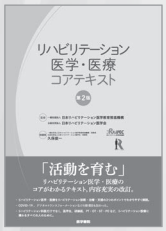
◆移動時の介助に重点を置き，対象者の身体能力に留意し，安全を考慮した方法を多数のわかりやすいイラストを用いて具体的に解説．
◆現代にマッチした道具，介助用具を利用し，日常ですぐ役立つ介助法を中心に紹介．
◆改訂第４版では，旧版までの記載を踏襲しつつ補充すべき内容を追加した．

医歯薬出版株式会社　https：//www.ishiyaku.co.jp/　〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10　TEL03-5395-7610　FAX03-5395-7611

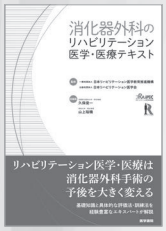
「活動を育む」リハビリテーション医学・医療のスタンダードを示すテキストシリーズ

シリーズの詳細はこちら ▶

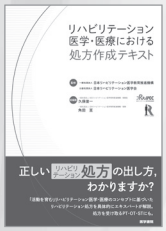
監修 日本リハビリテーション医学教育推進機構／日本リハビリテーション医学会



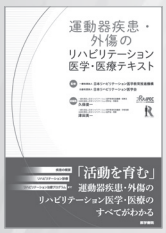
リハビリテーション医学・医療コアテキスト第2版



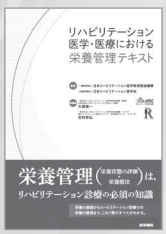
消化器外科のリハビリテーション医学・医療テキスト



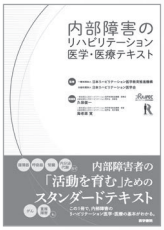
リハビリテーション医学・医療における処方作成テキスト



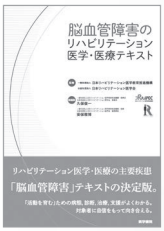
運動器疾患・外傷のリハビリテーション医学・医療テキスト



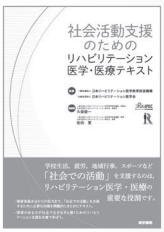
リハビリテーション医学・医療における栄養管理テキスト



内部障害のリハビリテーション医学・医療テキスト



脳血管障害のリハビリテーション医学・医療テキスト

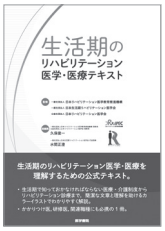


社会活動支援のためのリハビリテーション医学・医療テキスト



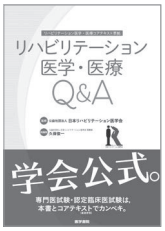
回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト

監修：日本リハビリテーション医学教育推進機構／回復期リハビリテーション病棟協会／地域包括ケア病棟協会／日本リハビリテーション医学会



生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト

監修：日本リハビリテーション医学教育推進機構
日本生活期リハビリテーション医学会
日本リハビリテーション医学会



リハビリテーション医学・医療コアテキスト準拠

リハビリテーション医学・医療Q&A

監修：日本リハビリテーション医学会

医学書院 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] https://www.igaku-shoin.co.jp

DTVPフロスティッグ視知覚発達検査の最新日本版

DTVP-3 視知覚発達検査

Developmental Test of Visual Perception - Third Edition



○5つの下位検査(「目と手の協応」「模写」「図と地」「視覚形態完成」「形の恒常性」)から3つの合成指標得点(視覚運動統合、非運動視知覚、全般性視知覚)を算出することで、非運動そして運動を取り入れた条件での視知覚能力を評価することができます。

○日本で標準化され、信頼性と妥当性のエビデンスが示された視知覚発達検査として、心理、教育、医療などの分野で活用が見込まれます。

コンプリートセット **49,500円**(税込)
(図版、検査マニュアル 1冊、記録用紙／ワークシート各20名分、模写採点シート)

検査マニュアル 14,300円(税込)
記録用紙／ワークシート(各20名分) 13,200円(税込)

原著者	Donald D. Hammill、Nils A. Pearson、Judith K. Voress
原版出版社	PRO-ED
日本版作成	篁 倫子、奥村 智人、三浦 朋子、室橋 弘人
適用範囲	4歳0カ月～12歳11カ月
実施時間	20分～40分

日本文化科学社

日本版DTVP-3視知覚発達検査は、PRO-ED, Inc. との契約に基づいて作成されたものです。

CaTe inc.

CONNECTING HEALTHCARE, CREATING A BETTER TOMORROW

すべての人がテクノロジーの力で、
より良い医療を受けられる世界を実現します。



運動療法　食事療法　服薬管理　遠隔モニタリング　遠隔指導　患者教育

株式会社CaTeは、在宅での運動療法等を支援する心疾患管理プログラム医療機器の研究開発を行っています。NEDO（国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構）等の支援のもと、日本国内でのPhase3治験の開始、および米国をはじめとする世界展開に向けた事業を進めています。

株式会社CaTe
HPはこちら